

令和6年度生涯学習・社会教育総合調査研究事業

ふるさと青森を愛する心と行動に関する  
県民の意識調査報告書

令和7年3月  
青森県教育委員会

## はじめに

令和6年度から5年間の県行政運営の基本方針である「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」では、本県の2040年のめざす姿として「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」を掲げており、その実現に向けて、青森県教育施策の大綱(あおもり未来教育ビジョン Ver1.0)では、県民の多様な「学び」の充実に向け、「ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実」を設定しています。

その中では、本県が人口減少に伴う様々な課題を乗り越え、持続可能な社会を実現していくためには、ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりを進めていくことが重要であり、こどもたちに、本県の価値や魅力を伝え、青森で生き生きと暮らす大人と関わる機会を増やす取組などを通じ、次世代の青森県を担う人財を育てていく必要があるとの考え方が示されています。

このような中、県教育委員会では、令和6年12月に県生涯学習審議会に「ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策」について諮問するとともに、「ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識調査」を実施しました。

本調査では、県内在住の20代～70代の一般県民2,500人を対象として、誇りを感じる地域資源、地域への愛着度、住んでいる地域に対する意識、住んでいる地域での行動、地域に関する情報の入手方法等について質問を設け、研究を行いました。調査結果については、今後、ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実に向けた施策や事業構築等に生かしていくほか、県内各市町村における取組の参考となれば幸いです。

最後に、本調査に御回答いただいた皆様に心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

令和7年3月

青森県教育庁

生涯学習課長 小 舘 孝 浩

## 目 次

I	調査概要	1
1	調査の名称	
2	調査の趣旨	
3	調査対象	
4	調査方法	
5	回収方法	
6	研究顧問	
7	調査結果の見方	
II	属性	2
III	調査結果	6
1	誇りを感じる地域資源	6
2	地域資源を誇りに思うとき	7
3	地域への愛着度	8
4	地域への愛着を持った時期	11
5	地域への愛着を持った理由	12
6	地域に愛着がない理由	13
7	住んでいる地域に対する意識	14
8	住んでいる地域での行動	17
9	地域に関する情報の入手方法	24
10	地域情報に関するインターネットの活用方法	25
11	県教育委員会に期待する今後の取組	26
12	自由記述	29

IV	考察	41
1	調査結果から見る「地域への愛着と地域活動」に関する考察 (八戸学院大学 地域経営学部 准教授 井上 丹)	41
2	「ふるさと青森」に対する県民の意識と県教育委員会への期待 (弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英)	48
V	資料	56
○	調査結果単純集計表	56
○	調査票	67

## I 調査概要

### 1 調査の名称

ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識調査

### 2 調査の趣旨

本調査は、ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識、現状や課題などを把握し、ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実に向けた生涯学習振興関連施策の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として実施するものである。

### 3 調査対象

県内在住の20代～70代の一般県民 2,500人

### 4 調査方法

住民基本台帳及び選挙人名簿抄本に記載のある県民を対象に、県内市町村の人口構成比に応じて配分した人数を等間隔で抽出した。なお、調査票の印刷・発送・回収、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・調査業務委託先 BREST
- ・調査票の発送 令和6年12月2日
- ・回答期限 令和6年12月20日

### 5 回収結果

有効回答数(率) : 878 (35.12%)

### 6 研究顧問

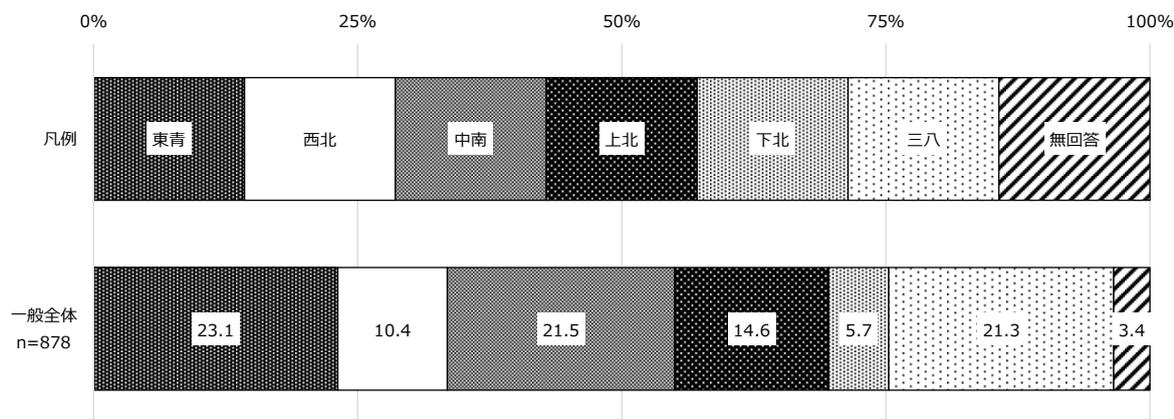
- ・越村 康英 氏 (弘前大学教育学部 准教授)
- ・井上 丹 氏 (八戸学院大学地域経営学部 准教授)

### 7 調査結果の見方

- ・グラフの中の「n=」は、設問に関する回答者を表している。
- ・結果数値(パーセント)は、小数第2位を四捨五入しており、合計が100%にならないこともある。

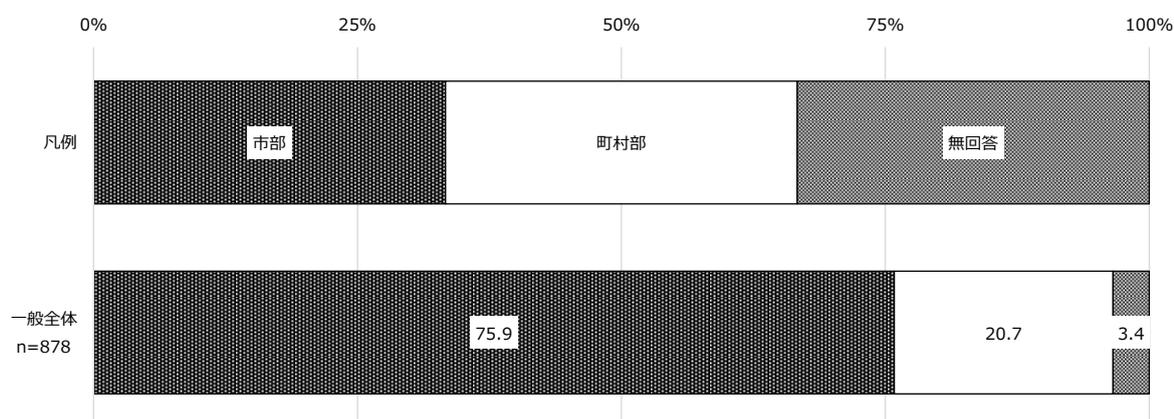
## II 回答者の属性

### (1)住んでいる地域 ※問1



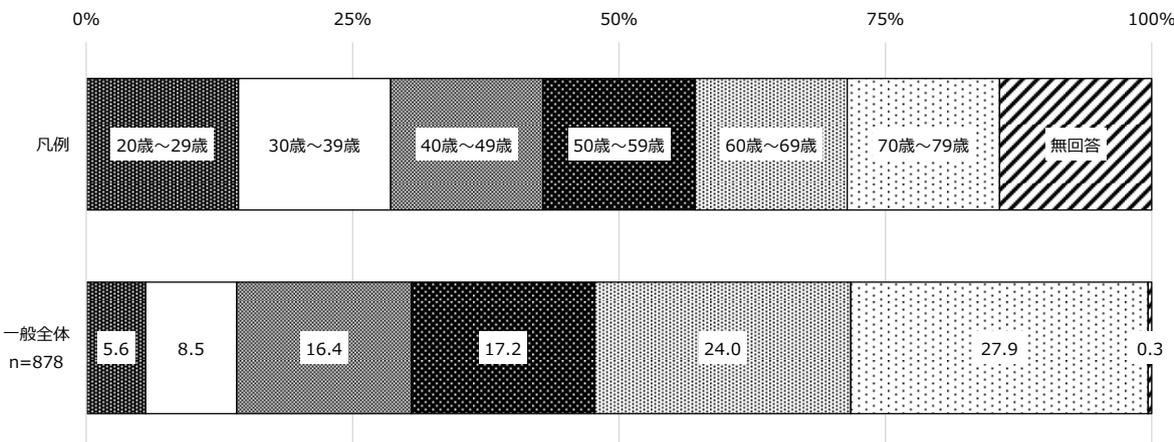
○図1 回答者の住んでいる地域

### (2)住んでいる地域の区分 ※問1



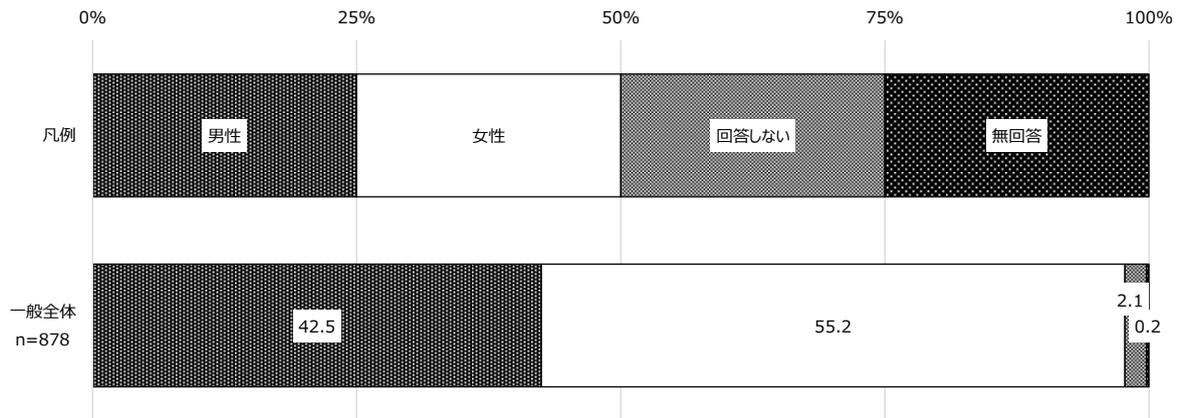
○図2 回答者の住んでいる地域の区分

### (3)年齢 ※問2



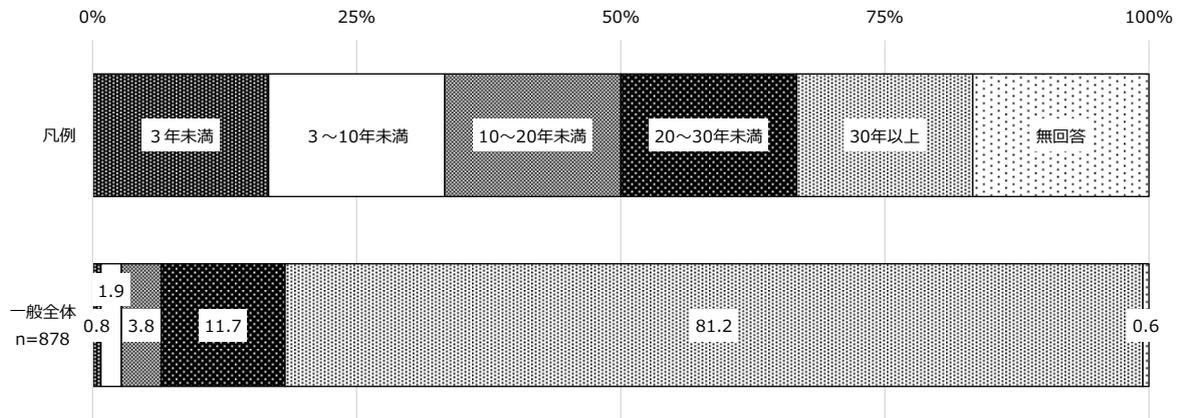
○図3 回答者の年齢

(4)性別 ※問3



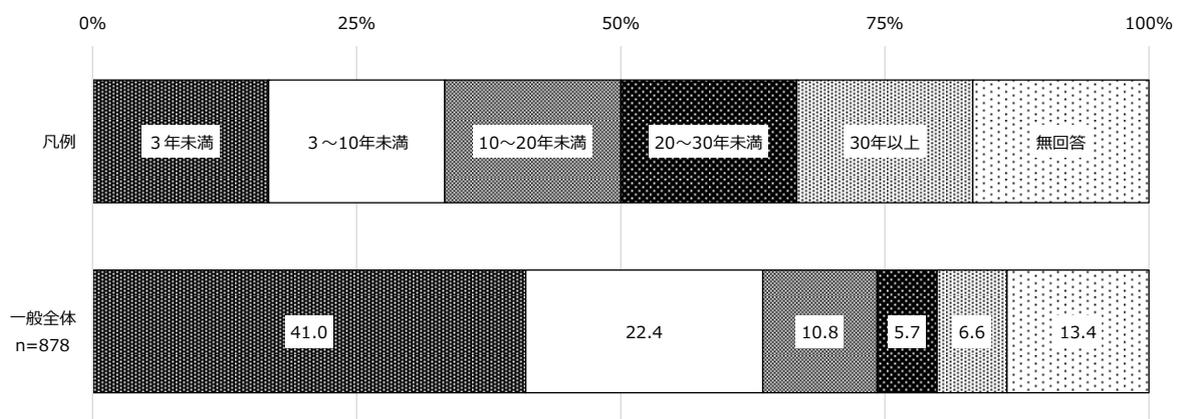
○図4 回答者の性別

(5)県内居住年数 ※問4



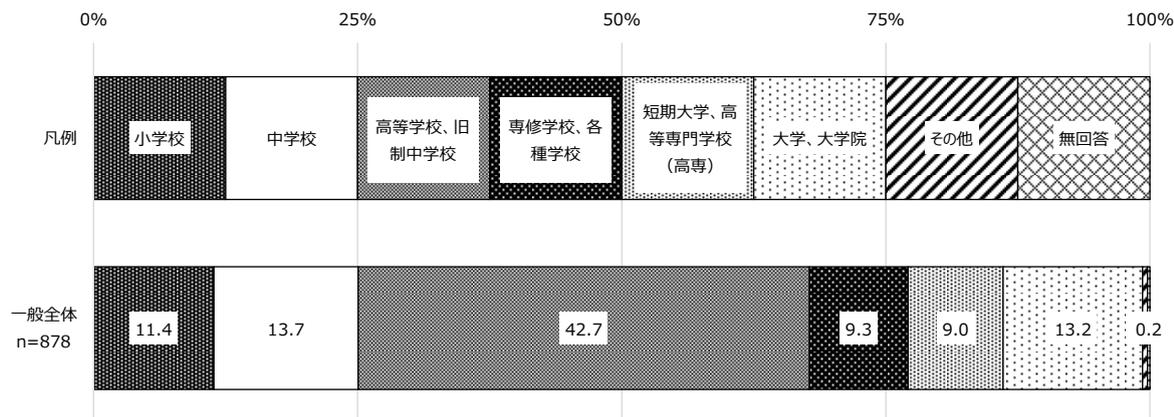
○図5 回答者の県内居住年数

(6)県外居住年数 ※問5



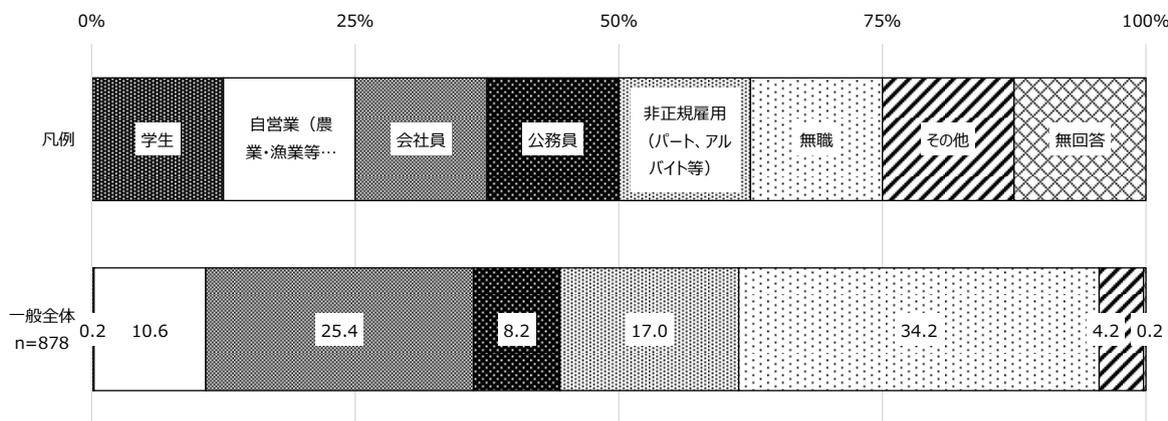
○図6 回答者の県外居住年数

(7)最終学歴 ※問6



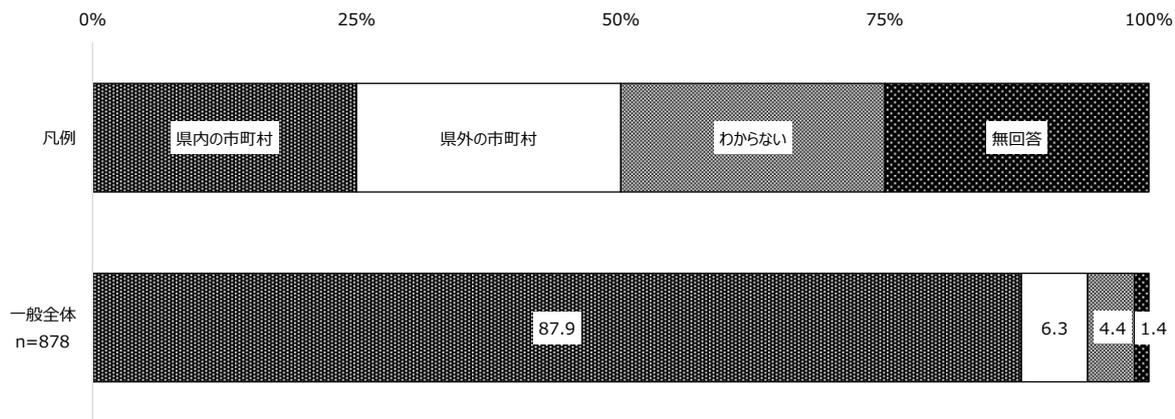
○図7 回答者の最終学歴

(8)職業 ※問7

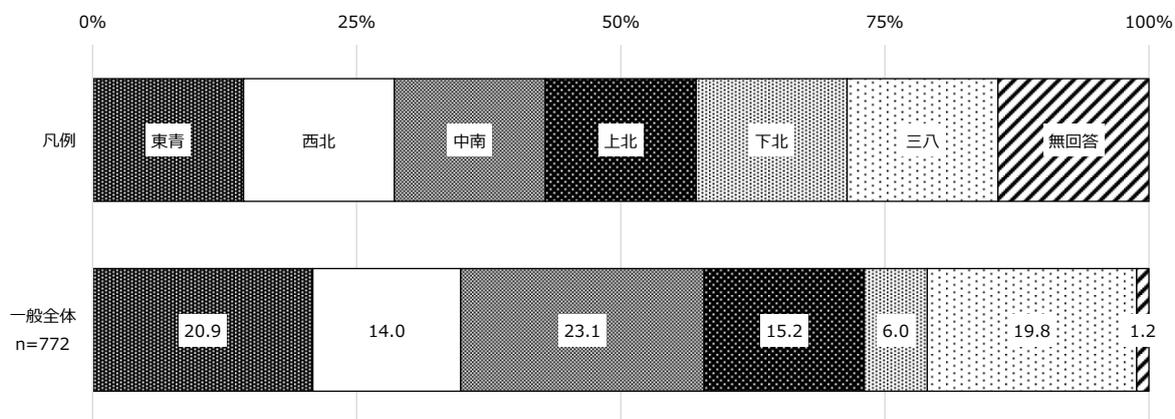


○図8 回答者の職業

(9)ふるさとだと考えているところ ※問8



○図9 回答者がふるさとだと考えているところ（県内・県外）

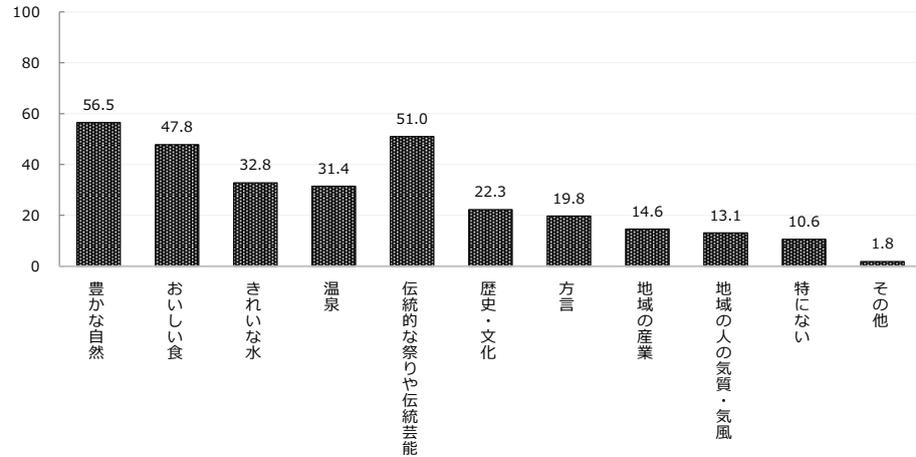


○図10 回答者がふるさとだと考えているところ（県内地区別）

### Ⅲ 調査結果

#### 1. 誇りを感じる地域資源

問9 次の項目のうち、あなたがいま住んでいる地域(市町村)で「気に入っている」または「大事にしたい（誇りだ）」と思うものをお選びください。（複数回答可）



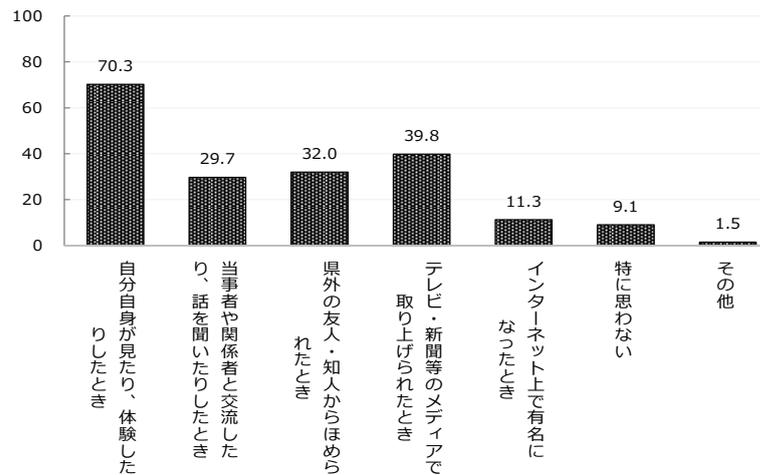
	一般全体 n=875	56.5	47.8	32.8	31.4	51.0	22.3	19.8	14.6	13.1	10.6	1.8
地域	東青 n=203	65.5	64.5	56.7	35.0	64.0	17.7	25.6	12.3	10.8	5.9	0.5
	西北 n=91	61.5	27.5	17.6	19.8	39.6	17.6	18.7	9.9	13.2	16.5	1.1
	中南 n=189	55.6	48.7	27.0	52.4	60.8	40.7	31.2	20.6	16.4	6.3	1.6
	上北 n=128	46.9	24.2	27.3	27.3	20.3	10.2	6.3	9.4	13.3	15.6	4.7
	下北 n=50	64.0	38.0	36.0	24.0	46.0	18.0	12.0	8.0	14.0	16.0	2.0
	三八 n=187	47.6	57.8	23.0	19.3	58.3	20.9	15.5	20.3	13.4	12.8	2.1
	無回答 n=30	63.3	40.0	30.0	13.3	23.3	16.7	6.7	3.3	3.3	6.7	0.0
区分	市部 n=666	57.2	53.0	38.0	35.7	58.7	26.1	23.4	15.9	13.1	8.6	1.5
	町村部 n=182	51.6	29.1	13.7	18.1	26.4	8.8	8.2	11.5	14.8	18.7	3.3
	無回答 n=30	63.3	40.0	30.0	13.3	23.3	16.7	6.7	3.3	3.3	6.7	0.0
年齢	20歳～29歳 n=49	38.8	51.0	24.5	24.5	46.9	18.4	24.5	14.3	10.2	18.4	0.0
	30歳～39歳 n=75	42.7	46.7	30.7	24.0	54.7	22.7	26.7	17.3	12.0	13.3	4.0
	40歳～49歳 n=144	54.2	53.5	36.1	33.3	52.8	19.4	24.3	18.1	15.3	13.2	2.1
	50歳～59歳 n=151	46.4	49.0	27.8	29.8	51.7	25.2	23.8	15.9	10.6	11.9	0.7
	60歳～69歳 n=211	64.0	49.8	33.2	34.1	48.8	21.8	15.6	14.7	14.2	6.6	3.3
	70歳～79歳 n=245	64.9	40.8	35.5	32.2	50.6	23.3	14.7	10.6	13.1	9.4	0.8
	無回答 n=3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
性別	男性 n=373	55.2	43.7	30.3	33.2	48.8	21.2	18.2	16.4	12.1	11.5	1.1
	女性 n=485	57.7	51.1	34.8	30.7	53.6	23.5	21.2	13.8	14.0	9.5	2.3
	回答しない n=18	38.9	38.9	27.8	11.1	16.7	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	5.6
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満 n=7	57.1	57.1	57.1	42.9	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3
	3～10年未満 n=17	41.2	41.2	11.8	23.5	47.1	11.8	5.9	0.0	35.3	23.5	5.9
	10～20年未満 n=33	54.5	42.4	33.3	33.3	48.5	24.2	21.2	18.2	12.1	12.1	3.0
	20～30年未満 n=103	43.7	48.5	26.2	25.2	48.5	17.5	19.4	14.6	7.8	13.6	1.9
	30年以上 n=713	58.5	47.8	33.9	32.1	51.3	23.0	20.1	14.6	13.3	9.8	1.5
	無回答 n=5	60.0	40.0	20.0	40.0	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
県外居住年数	3年未満 n=360	55.6	49.2	32.2	29.7	52.5	21.4	22.2	15.6	13.6	10.8	1.9
	3～10年未満 n=197	50.3	50.8	38.1	34.0	54.3	25.4	20.8	12.2	11.2	7.6	1.5
	10～20年未満 n=95	54.7	47.4	27.4	31.6	47.4	21.1	15.8	20.0	13.7	12.6	2.1
	20～30年未満 n=50	64.0	34.0	22.0	32.0	50.0	22.0	20.0	16.0	14.0	16.0	4.0
	30年以上 n=58	58.6	39.7	29.3	29.3	41.4	20.7	15.5	12.1	15.5	17.2	1.7
	無回答 n=118	65.3	47.5	35.6	32.2	47.5	21.2	15.3	11.9	12.7	7.6	0.8
職業	学生 n=2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	自営業（農業・漁業等含む） n=93	60.2	49.5	36.6	36.6	47.3	22.6	22.6	22.6	12.9	3.2	1.1
	会社員 n=223	51.1	48.4	30.5	34.5	52.0	19.3	24.2	15.7	11.7	12.6	2.2
	公務員 n=72	54.2	38.9	27.8	26.4	37.5	12.5	15.3	15.3	5.6	19.4	0.0
	非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	55.0	47.0	28.2	26.2	47.0	20.8	17.4	8.7	14.1	10.1	4.0
	無職 n=300	60.7	48.0	37.0	30.3	55.7	27.0	18.3	14.7	15.0	9.7	1.0
	その他 n=37	54.1	56.8	29.7	35.1	54.1	21.6	16.2	10.8	18.9	8.1	0.0
	無回答 n=2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

○図11 誇りを感じる地域資源

誇りを感じる地域資源について、全体では「豊かな自然」が56.5%と最も多く、次いで「伝統的な祭りや伝統芸能」が51.0%となっている。

## 2.地域資源を誇りに思うとき

問10 「問9」について、あなたが「気に入っている」または「大事にしたい（誇りだ）」と思うのはどんな時ですか。  
（複数回答可）



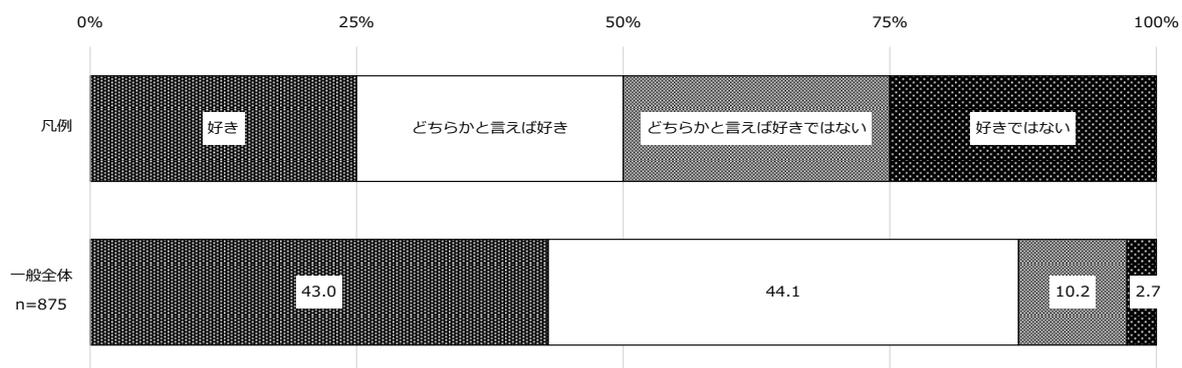
	一般全体 n=844	70.3	29.7	32.0	39.8	11.3	9.1	1.5
地域	東青 n=203	75.9	30.5	39.9	41.9	17.7	4.9	2.0
	西北 n=91	58.2	34.1	27.5	42.9	8.8	9.9	1.1
	中南 n=189	73.0	31.7	32.8	48.1	15.9	6.9	0.5
	上北 n=128	60.2	21.1	15.6	18.8	5.5	18.0	1.6
	下北 n=50	66.0	26.0	24.0	20.0	0.0	14.0	2.0
	三八 n=187	65.2	28.3	33.7	41.7	7.5	6.4	1.6
	無回答 n=30	53.3	16.7	23.3	30.0	0.0	10.0	3.3
区分	市部 n=666	71.5	29.0	34.2	42.0	12.8	8.0	1.5
	町村部 n=182	55.5	29.1	19.2	25.8	5.5	11.5	1.1
	無回答 n=30	53.3	16.7	23.3	30.0	0.0	10.0	3.3
年齢	20歳～29歳 n=49	61.2	16.3	30.6	51.0	22.4	6.1	2.0
	30歳～39歳 n=75	69.3	29.3	32.0	45.3	26.7	12.0	0.0
	40歳～49歳 n=144	72.9	32.6	40.3	40.3	19.4	10.4	1.4
	50歳～59歳 n=151	70.9	24.5	28.5	34.4	7.3	7.9	2.0
	60歳～69歳 n=211	66.4	32.7	29.4	38.4	8.1	8.5	1.4
	70歳～79歳 n=245	64.1	27.3	27.3	35.1	3.3	8.2	1.6
無回答 n=3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性 n=373	65.4	29.0	28.7	38.1	11.0	9.9	0.3
	女性 n=485	69.3	28.5	32.8	39.0	10.5	7.4	2.5
	回答しない n=18	66.7	22.2	22.2	22.2	16.7	22.2	0.0
	無回答 n=2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満 n=7	71.4	28.6	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
	3～10年未満 n=17	70.6	47.1	23.5	35.3	11.8	0.0	0.0
	10～20年未満 n=33	66.7	36.4	42.4	27.3	15.2	12.1	3.0
	20～30年未満 n=103	64.1	19.4	29.1	42.7	17.5	10.7	1.0
	30年以上 n=713	68.0	28.9	30.6	38.1	9.5	8.6	1.5
	無回答 n=5	60.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
県外居住年数	3年未満 n=360	71.9	27.5	32.2	40.0	12.8	8.9	0.8
	3～10年未満 n=197	69.5	28.9	32.5	36.0	10.7	5.6	3.0
	10～20年未満 n=95	58.9	31.6	29.5	36.8	11.6	10.5	2.1
	20～30年未満 n=50	68.0	28.0	26.0	30.0	6.0	14.0	0.0
	30年以上 n=58	62.1	29.3	29.3	37.9	6.9	8.6	0.0
	無回答 n=118	60.2	28.8	27.1	41.5	8.5	10.2	1.7
職業	学生 n=2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	自営業（農業・漁業等含む） n=93	67.7	39.8	30.1	29.0	6.5	7.5	1.1
	会社員 n=223	71.7	26.5	32.7	41.3	15.7	6.7	1.3
	公務員 n=72	61.1	23.6	26.4	34.7	11.1	15.3	2.8
	非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	61.7	22.1	28.9	36.9	12.8	10.1	2.7
	無職 n=300	68.0	30.0	32.0	41.3	8.3	9.0	0.7
	その他 n=37	73.0	37.8	27.0	32.4	2.7	5.4	0.0
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

○図12 地域資源を誇りに思うとき

地域資源を誇りに思うときについて、全体では「自分自身が見たり、体験したりしたとき」が70.3%と最も多く、次いで「テレビ・新聞等のメディアで取り上げられたとき」が39.8%となっている。

### 3.地域への愛着度

問11 あなたはいま住んでいる地域(市町村)が好きですか。(○は1つだけ)



○図13 地域への愛着度

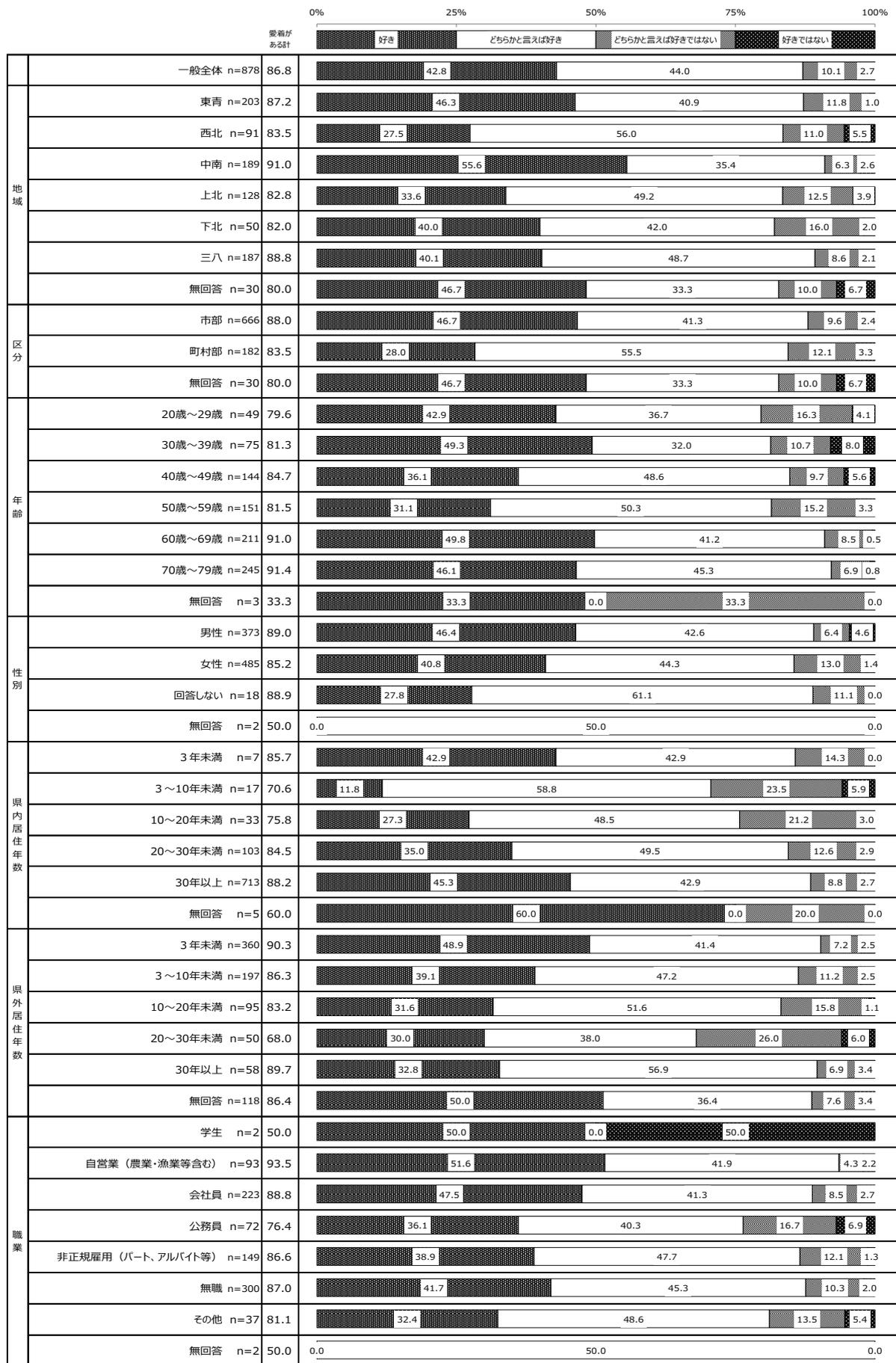
地域への愛着度について、「どちらかと言えば好き」が44.1%と最も多く、次いで「好き」が43.0%となっている。「好き」と「どちらかと言えば好き」を合わせた『好き計』は87.1%となっている。

#### < 地域への愛着度が高い属性 >

順位	属性	%
1	いま住んでいる地域(市町村)に対する意識： (4) ずっと住み続けたい	98.7
2	いま住んでいる地域(市町村)に対する意識： (3) 自分とのつながりを感じる	98.5
3	いま住んでいる地域(市町村)に対する意識： (2) 友人や知人に自慢できる	98.3
4	いま住んでいる地域(市町村)に対する意識： (1) 暮らしやすい	97.4
5	いま住んでいる地域(市町村)での行動： (4) 友人や知人に話すことがある	94.4

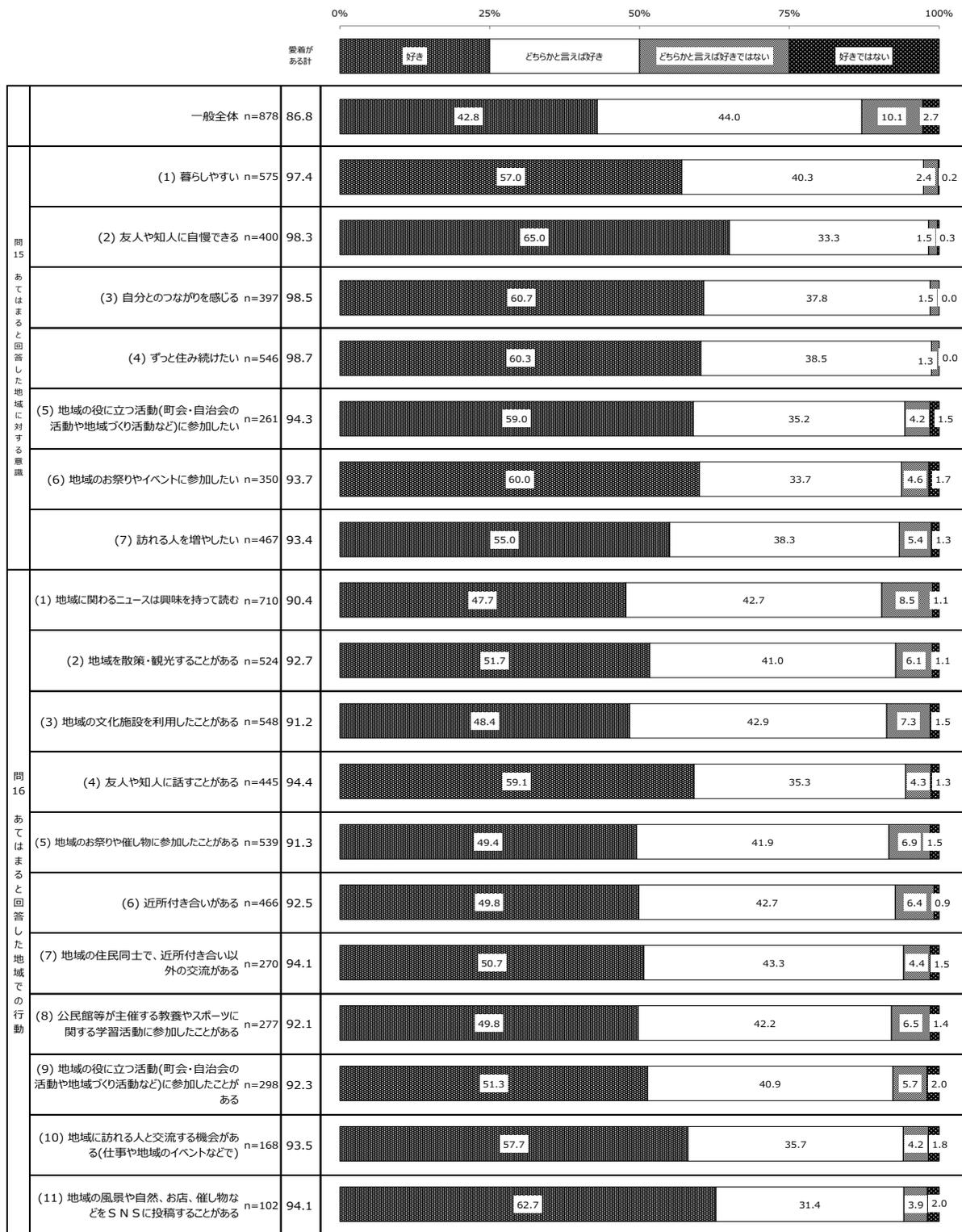
#### < 地域への愛着度が低い属性 >

順位	属性	%
1	年齢：無回答	33.3
2	性別：無回答	50.0
2	県外移住年数：学生	50.0
2	県内移住年数：無回答	50.0
5	県内移住年数：無回答	60.0



※ 愛着のある計：「好き」+「どちらかと言えば好き」

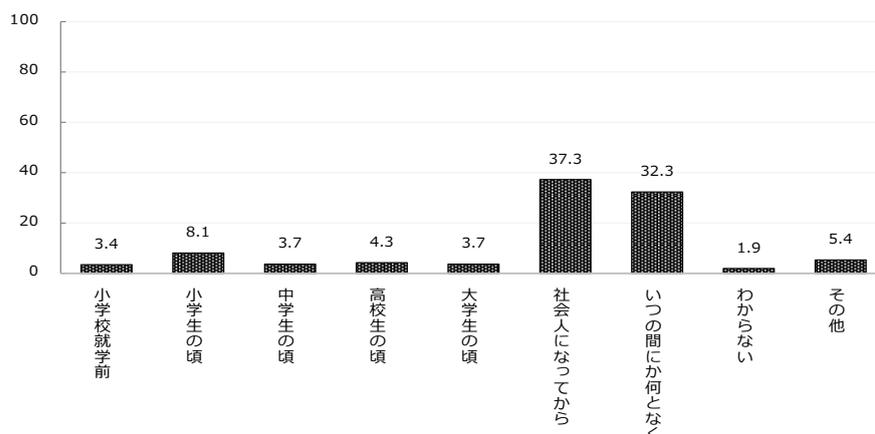
○図14 地域への愛着度の属性別比較（1）



○図15 地域への愛着度の属性別比較 (2)

#### 4.地域への愛着を持った時期

問12 【「問11」で「1 好き」または「2 どちらかと言えば好き」と答えた方にうかがいます。】それはいつ頃からだと思いますか。(○は1つだけ)



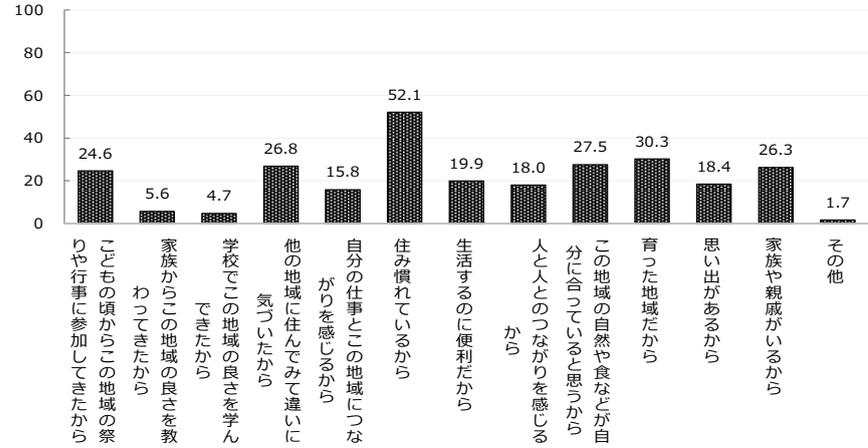
	一般全体 n=727	3.4	8.1	3.7	4.3	3.7	37.3	32.3	1.9	5.4
地域	東青 n=203	3.0	6.9	3.0	2.0	3.9	32.5	24.6	0.5	6.9
	西北 n=91	2.2	6.6	2.2	5.5	1.1	34.1	22.0	1.1	7.7
	中南 n=189	3.2	5.8	4.8	4.8	4.8	36.0	23.3	1.6	3.2
	上北 n=128	2.3	3.1	1.6	1.6	3.1	24.2	32.8	4.7	3.9
	下北 n=50	6.0	10.0	6.0	8.0	0.0	30.0	16.0	0.0	0.0
	三八 n=187	2.1	8.0	2.1	2.7	2.7	29.9	32.6	1.1	3.2
	無回答 n=30	3.3	13.3	3.3	6.7	0.0	13.3	33.3	3.3	3.3
区分	市部 n=666	2.9	5.9	3.6	3.6	3.6	33.5	24.9	1.4	4.5
	町村部 n=182	2.7	8.8	1.1	2.7	1.6	24.2	32.4	2.2	4.4
	無回答 n=30	3.3	13.3	3.3	6.7	0.0	13.3	33.3	3.3	3.3
年齢	20歳～29歳 n=49	0.0	14.3	4.1	10.2	6.1	18.4	22.4	4.1	0.0
	30歳～39歳 n=75	9.3	8.0	2.7	2.7	6.7	22.7	21.3	1.3	4.0
	40歳～49歳 n=144	2.1	5.6	4.2	2.1	3.5	32.6	23.6	2.1	4.9
	50歳～59歳 n=151	4.6	5.3	1.3	2.0	4.0	33.1	23.8	0.7	2.0
	60歳～69歳 n=211	1.9	8.1	3.3	3.8	1.4	33.2	28.9	1.9	4.7
	70歳～79歳 n=245	1.6	5.3	3.3	4.1	2.0	31.8	31.0	1.2	6.5
無回答 n=3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
性別	男性 n=373	2.4	8.3	4.6	5.4	3.5	35.9	22.0	1.3	1.3
	女性 n=485	3.3	5.6	1.9	2.3	2.9	27.4	29.9	1.4	7.0
	回答しない n=18	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	22.2	38.9	11.1	0.0
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満 n=7	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6
	3～10年未満 n=17	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	11.8	23.5	5.9	11.8
	10～20年未満 n=33	0.0	3.0	3.0	3.0	6.1	27.3	21.2	0.0	3.0
	20～30年未満 n=103	1.0	10.7	2.9	5.8	3.9	32.0	18.4	3.9	3.9
	30年以上 n=713	3.4	6.3	3.2	3.1	2.7	31.6	28.5	1.3	4.1
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0
県外居住年数	3年未満 n=360	4.7	8.1	3.1	3.1	2.2	29.4	29.7	1.4	4.4
	3～10年未満 n=197	2.5	7.1	3.6	4.6	6.6	31.5	22.3	1.5	2.5
	10～20年未満 n=95	0.0	6.3	4.2	2.1	3.2	44.2	15.8	2.1	2.1
	20～30年未満 n=50	0.0	4.0	2.0	2.0	2.0	22.0	20.0	2.0	8.0
	30年以上 n=58	0.0	1.7	0.0	5.2	3.4	32.8	27.6	3.4	15.5
	無回答 n=118	2.5	5.9	3.4	4.2	0.0	26.3	36.4	0.8	2.5
職業	学生 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	自営業（農業・漁業等含む） n=93	1.1	7.5	4.3	2.2	3.2	34.4	35.5	1.1	2.2
	会社員 n=223	4.9	6.3	2.7	4.0	2.2	33.2	25.1	1.8	3.1
	公務員 n=72	0.0	9.7	2.8	1.4	1.4	40.3	16.7	0.0	2.8
	非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	3.4	6.0	4.0	3.4	3.4	26.2	28.2	2.7	7.4
	無職 n=300	2.7	6.3	2.7	4.0	3.7	29.7	27.0	1.7	4.3
	その他 n=37	0.0	8.1	2.7	5.4	5.4	21.6	27.0	0.0	10.8
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○図16 地域への愛着を持った時期

地域への愛着を持った時期について、全体では「社会人になってから」が37.3%と最も多く、次いで「いつの間にか何となく」が32.3%となっている。

## 5.地域への愛着を持った理由

問13 【「問11」で「1 好き」または「2 どちらかと言えば好き」と答えた方にうかがいます。】振り返ってみて、あなたはなぜこの地域が好きと感じるようになったと思われますか。（複数回答可）



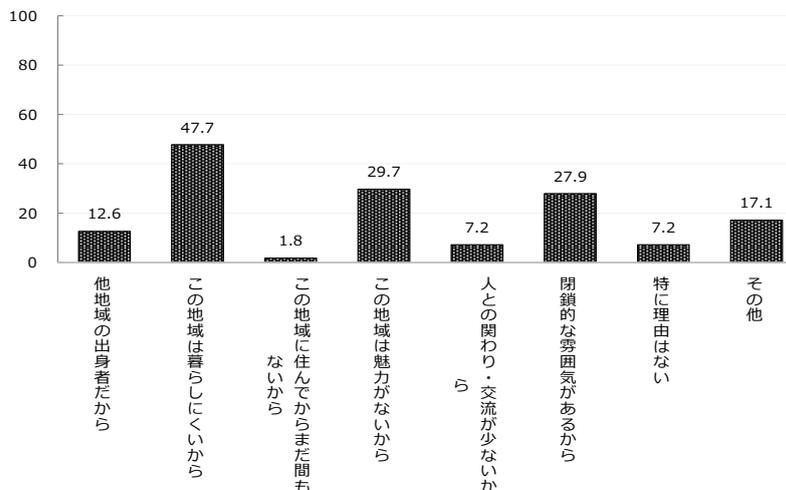
属性	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	
一般全体	n=727	24.6	5.6	4.7	26.8	15.8	52.1	19.9	18.0	27.5	30.3	18.4	26.3	1.7	
地域	東青	n=203	30.0	4.4	3.4	21.7	8.4	42.9	11.3	13.8	26.6	25.6	14.8	20.2	1.5
	西北	n=91	15.4	4.4	3.3	18.7	22.0	39.6	16.5	16.5	15.4	26.4	16.5	25.3	0.0
	中南	n=189	24.3	4.8	2.6	26.5	13.2	48.1	22.8	15.3	27.5	25.4	19.6	22.8	1.1
	上北	n=128	8.6	0.8	4.7	16.4	16.4	38.3	16.4	13.3	14.1	19.5	7.0	14.8	1.6
	下北	n=50	24.0	14.0	0.0	28.0	10.0	34.0	6.0	16.0	28.0	20.0	18.0	16.0	0.0
	三八	n=187	15.5	4.3	5.9	24.1	12.8	44.9	19.3	13.4	22.5	28.3	16.0	26.2	2.7
	無回答	n=30	20.0	10.0	6.7	13.3	10.0	50.0	13.3	30.0	20.0	26.7	13.3	26.7	0.0
区分	市部	n=666	22.1	5.1	4.4	24.0	12.3	41.9	17.7	13.8	24.9	25.7	16.8	22.1	1.5
	町村部	n=182	14.3	2.2	1.6	17.0	16.5	46.7	12.6	16.5	15.4	22.5	9.9	19.8	1.1
	無回答	n=30	20.0	10.0	6.7	13.3	10.0	50.0	13.3	30.0	20.0	26.7	13.3	26.7	0.0
年齢	20歳~29歳	n=49	30.6	4.1	12.2	12.2	10.2	30.6	6.1	8.2	10.2	20.4	10.2	18.4	0.0
	30歳~39歳	n=75	29.3	9.3	9.3	17.3	6.7	37.3	16.0	10.7	17.3	21.3	24.0	29.3	0.0
	40歳~49歳	n=144	20.1	1.4	1.4	27.8	5.6	29.2	13.2	10.4	17.4	20.1	12.5	17.4	2.1
	50歳~59歳	n=151	19.2	4.6	1.3	21.9	9.9	33.8	9.3	7.9	15.9	18.5	10.6	17.2	2.0
	60歳~69歳	n=211	18.5	5.7	2.4	21.3	18.5	53.6	17.1	17.5	23.7	31.3	15.2	21.3	0.5
	70歳~79歳	n=245	18.4	4.5	4.5	23.3	17.6	53.1	24.9	22.0	33.5	28.6	18.4	25.7	2.0
	無回答	n=3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
性別	男性	n=373	20.4	4.0	4.6	27.1	15.3	37.8	14.7	14.7	19.8	24.9	15.0	17.4	1.3
	女性	n=485	21.2	5.4	3.5	17.9	11.5	47.8	18.1	15.7	25.2	25.6	15.7	25.2	1.4
	回答しない	n=18	0.0	0.0	0.0	38.9	5.6	27.8	11.1	0.0	22.2	16.7	11.1	16.7	0.0
	無回答	n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
県内居住年数	3年未満	n=7	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	57.1	14.3	14.3	42.9	0.0
	3~10年未満	n=17	5.9	0.0	5.9	23.5	11.8	11.8	17.6	11.8	5.9	5.9	17.6	0.0	
	10~20年未満	n=33	12.1	0.0	3.0	33.3	9.1	18.2	6.1	9.1	12.1	3.0	9.1	15.2	6.1
	20~30年未満	n=103	17.5	3.9	7.8	26.2	6.8	33.0	14.6	12.6	12.6	20.4	7.8	19.4	2.9
	30年以上	n=713	21.6	5.0	3.2	21.3	14.0	46.7	17.3	15.3	24.7	27.3	16.7	22.3	1.0
	無回答	n=5	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	60.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
県外居住年数	3年未満	n=360	26.9	5.0	3.6	16.7	14.4	48.3	17.8	14.2	23.9	28.3	15.8	24.7	0.8
	3~10年未満	n=197	18.3	3.0	3.0	34.0	10.7	36.5	8.6	15.7	16.8	20.3	14.2	16.8	0.0
	10~20年未満	n=95	10.5	4.2	5.3	29.5	9.5	34.7	16.8	11.6	21.1	17.9	12.6	17.9	4.2
	20~30年未満	n=50	4.0	8.0	2.0	26.0	8.0	24.0	20.0	4.0	20.0	10.0	16.0	14.0	2.0
	30年以上	n=58	10.3	5.2	5.2	31.0	8.6	31.0	22.4	13.8	27.6	22.4	13.8	20.7	5.2
無回答	n=118	23.7	5.1	5.1	7.6	20.3	59.3	21.2	23.7	29.7	36.4	17.8	28.0	0.8	
職業	学生	n=2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業 (農業・漁業等含む)	n=93	21.5	6.5	3.2	25.8	38.7	47.3	17.2	25.8	37.6	37.6	15.1	21.5	0.0
	会社員	n=223	25.6	5.4	3.6	21.5	10.8	39.9	16.6	11.2	18.8	20.6	17.0	17.5	0.9
	公務員	n=72	13.9	2.8	4.2	25.0	15.3	30.6	11.1	9.7	15.3	16.7	12.5	12.5	1.4
	非正規雇用 (パート、アルバイト等)	n=149	21.5	2.7	4.0	12.8	8.7	42.3	12.8	12.1	16.1	29.5	11.4	25.5	2.0
	無職	n=300	17.0	4.7	3.7	25.0	8.0	47.0	19.7	15.7	25.7	24.3	16.0	25.3	1.3
	その他	n=37	24.3	8.1	8.1	24.3	18.9	51.4	16.2	24.3	29.7	27.0	21.6	21.6	2.7
無回答	n=2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	

○図17 地域への愛着を持った理由

地域への愛着を持った理由について、全体では「住み慣れているから」が52.1%と最も多く、次いで「育った地域だから」が30.3%となっている。

## 6.地域に愛着がない理由

問14 【「問11」で「3 どちらかと言えば好きではない」または「4 好きではない」と答えた方にうかがいます。】それはなぜだと思いますか。あてはまると思うものをお選びください。（複数回答可）



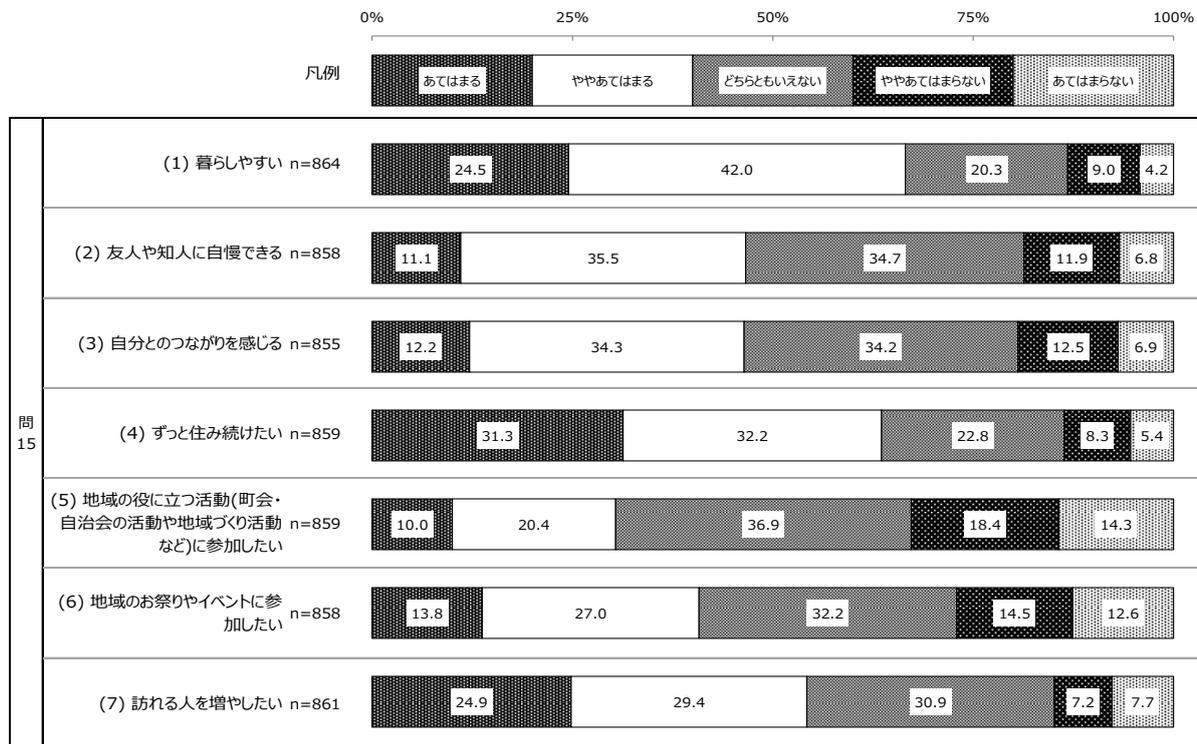
	一般全体 n=111	12.6	47.7	1.8	29.7	7.2	27.9	7.2	17.1
地域	東青 n=203	2.0	4.9	0.0	3.9	1.0	4.9	0.5	2.5
	西北 n=91	1.1	9.9	0.0	3.3	1.1	4.4	2.2	1.1
	中南 n=189	0.5	4.2	0.0	3.2	0.5	1.6	0.5	1.6
	上北 n=128	3.1	7.8	1.6	3.1	0.8	3.1	2.3	0.8
	下北 n=50	4.0	6.0	0.0	2.0	0.0	6.0	0.0	6.0
	三八 n=187	0.5	5.9	0.0	4.3	1.6	3.2	0.5	2.7
	無回答 n=30	3.3	6.7	0.0	10.0	0.0	3.3	0.0	3.3
区分	市部 n=666	1.5	5.1	0.3	3.0	0.8	3.3	0.9	2.1
	町村部 n=182	1.6	9.3	0.0	5.5	1.6	4.4	1.1	2.2
	無回答 n=30	3.3	6.7	0.0	10.0	0.0	3.3	0.0	3.3
年齢	20歳～29歳 n=49	2.0	8.2	2.0	4.1	2.0	4.1	0.0	6.1
	30歳～39歳 n=75	4.0	12.0	1.3	4.0	0.0	4.0	0.0	5.3
	40歳～49歳 n=144	1.4	6.3	0.0	5.6	0.7	2.1	1.4	1.4
	50歳～59歳 n=151	0.7	11.9	0.0	5.3	1.3	6.6	2.0	2.6
	60歳～69歳 n=211	1.4	3.3	0.0	2.8	0.5	3.3	0.5	1.9
	70歳～79歳 n=245	1.6	2.0	0.0	2.4	1.2	2.4	0.8	0.8
	無回答 n=3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性 n=373	1.1	4.8	0.5	3.5	0.8	2.7	0.8	2.1
	女性 n=485	2.1	7.2	0.0	3.9	1.0	4.1	1.0	2.3
	回答しない n=18	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満 n=7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	3～10年未満 n=17	11.8	17.6	0.0	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0
	10～20年未満 n=33	3.0	6.1	6.1	3.0	6.1	6.1	0.0	9.1
	20～30年未満 n=103	1.9	8.7	0.0	3.9	0.0	3.9	0.0	1.9
	30年以上 n=713	1.3	5.5	0.0	3.8	0.7	3.2	1.0	1.8
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
県外居住年数	3年未満 n=360	1.1	5.0	0.0	3.6	0.3	2.5	0.6	1.1
	3～10年未満 n=197	1.0	7.1	0.0	3.0	2.0	2.5	0.5	3.0
	10～20年未満 n=95	2.1	7.4	1.1	4.2	1.1	5.3	1.1	4.2
	20～30年未満 n=50	10.0	14.0	2.0	6.0	0.0	12.0	2.0	6.0
	30年以上 n=58	0.0	1.7	0.0	3.4	1.7	3.4	1.7	1.7
	無回答 n=118	0.8	5.1	0.0	4.2	0.8	3.4	1.7	0.8
職業	学生 n=2	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	自営業（農業・漁業等含む） n=93	0.0	4.3	0.0	1.1	0.0	3.2	1.1	1.1
	会社員 n=223	0.9	6.3	0.0	3.6	0.0	1.8	0.0	1.8
	公務員 n=72	4.2	12.5	2.8	5.6	0.0	1.4	0.0	2.8
	非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	1.3	6.7	0.0	4.0	0.7	4.7	0.7	3.4
	無職 n=300	1.7	4.0	0.0	3.0	1.7	4.0	2.0	1.3
	その他 n=37	2.7	8.1	0.0	10.8	2.7	8.1	0.0	8.1
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○図18 地域に愛着がない理由

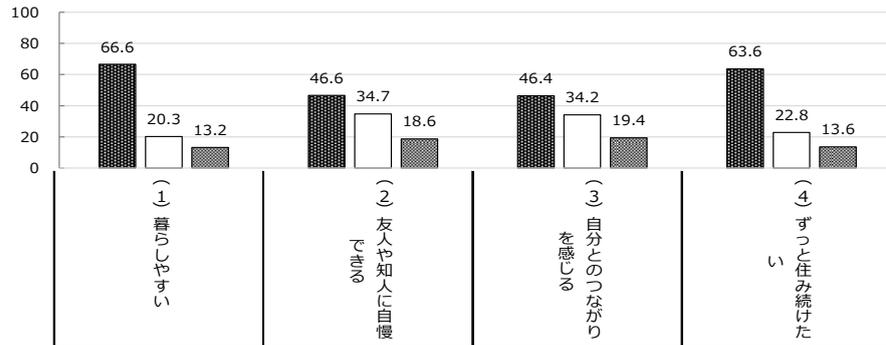
地域に愛着がない理由について、全体では「この地域は暮らしにくいから」が47.4%と最も多く、次いで「この地域は魅力がないから」が29.7%となっている。

## 7.住んでいる地域に対する意識

問15 あなたがいま住んでいる地域(市町村)に対する意識についてお聞きます。以下のことは、どの程度あてはまりますか。それぞれの項目について○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)



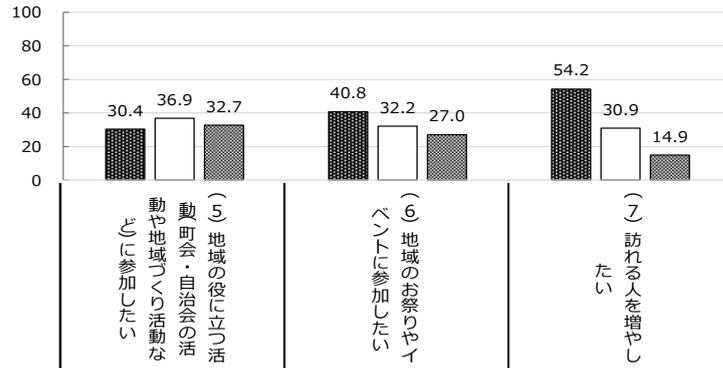
○図19 住んでいる地域に対する意識 (1)



※ あてはまる：  
「あてはまる」+「ややあてはまる」  
※ あてはまらない：  
「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

項目	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない
一般全体 n=878	66.6	20.3	13.2
地域			
東青 n=203	60.1	24.6	13.3
西北 n=91	56.0	24.2	16.5
中南 n=189	76.7	13.8	9.0
上北 n=128	64.8	18.8	14.8
下北 n=50	50.0	28.0	22.0
三八 n=187	70.6	18.2	10.2
無回答 n=30	56.7	16.7	20.0
区分			
市部 n=666	67.7	19.5	11.6
町村部 n=182	58.8	22.0	17.0
無回答 n=30	56.7	16.7	20.0
年齢			
20歳～29歳 n=49	61.2	20.4	18.4
30歳～39歳 n=75	65.3	8.0	22.7
40歳～49歳 n=144	60.4	22.9	16.0
50歳～59歳 n=151	57.6	23.8	17.2
60歳～69歳 n=211	72.5	17.5	9.5
70歳～79歳 n=245	68.6	21.6	7.3
無回答 n=3	33.3	0.0	33.3
性別			
男性 n=373	64.6	19.3	15.0
女性 n=485	67.0	19.6	11.8
回答しない n=18	50.0	38.9	5.6
無回答 n=2	0.0	50.0	0.0
県内居住年数			
3年未満 n=7	57.1	28.6	14.3
3～10年未満 n=17	47.1	23.5	23.5
10～20年未満 n=33	57.6	24.2	18.2
20～30年未満 n=103	54.4	21.4	22.3
30年以上 n=713	67.9	19.5	11.2
無回答 n=5	80.0	0.0	0.0
県外居住年数			
3年未満 n=360	71.1	18.1	10.3
3～10年未満 n=197	62.9	20.8	13.2
10～20年未満 n=95	58.9	20.0	21.1
20～30年未満 n=50	46.0	28.0	22.0
30年以上 n=58	60.3	27.6	12.1
無回答 n=118	68.6	16.9	11.0
職業			
学生 n=2	50.0	0.0	50.0
自営業（農業・漁業等含む） n=93	66.7	20.4	9.7
会社員 n=223	65.9	18.4	13.9
公務員 n=72	58.3	16.7	25.0
非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	65.1	21.5	13.4
無職 n=300	67.0	21.3	10.0
その他 n=37	67.6	18.9	10.8
無回答 n=2	0.0	0.0	50.0

○図20 住んでいる地域に対する意識（2）



※ あてはまる：  
「あてはまる」+「ややあてはまる」  
※ あてはまらない：  
「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

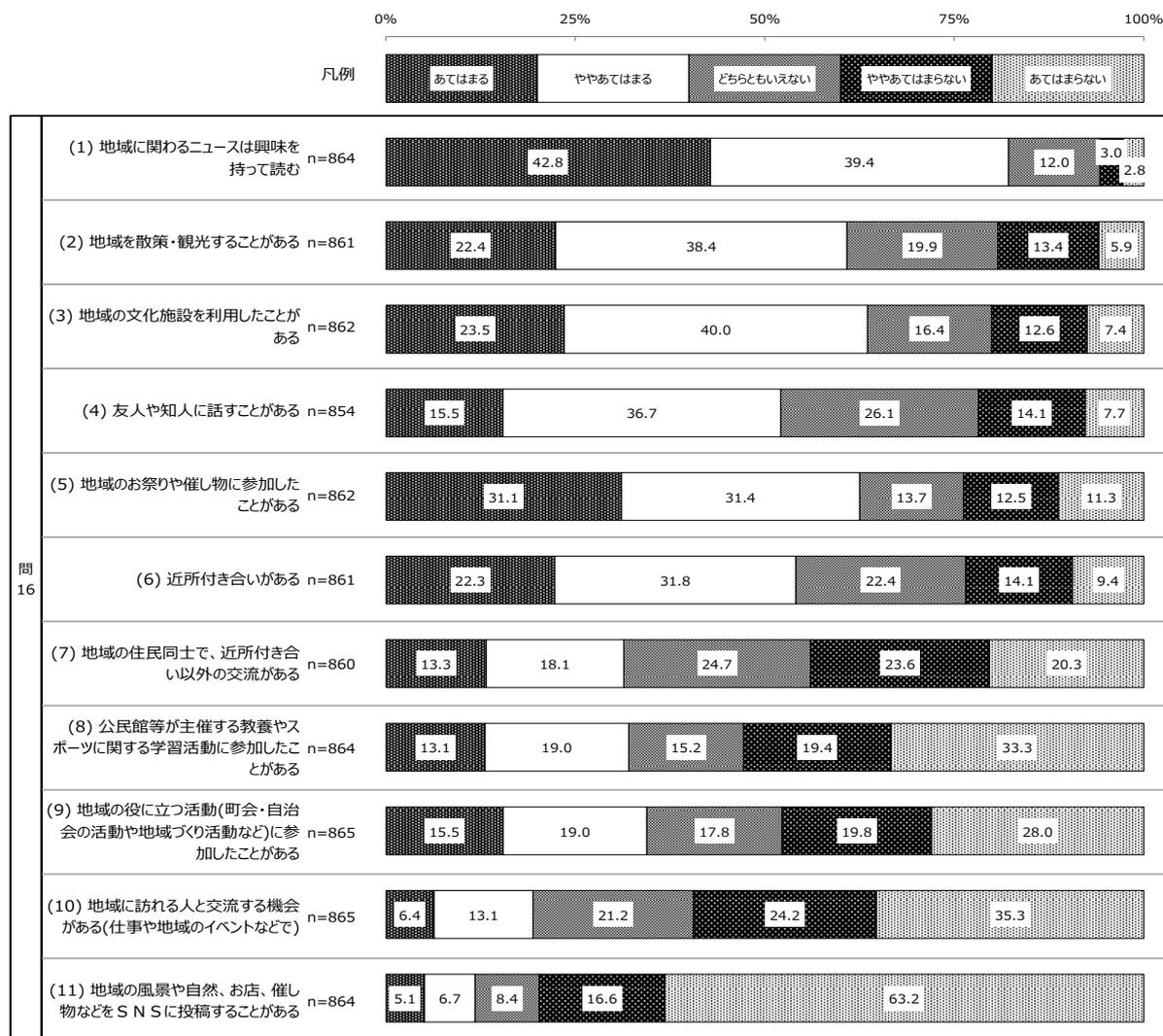
	n	(5) 地域の役に立つ活動や地域づくり活動などに参加したい			(6) 地域のお祭りやイベントに参加したい			(7) 訪れる人を増やしたい			
		あてはまる	あてはまらない	どちらでも	あてはまる	あてはまらない	どちらでも	あてはまる	あてはまらない	どちらでも	
一般全体	878	30.4	36.9	32.7	40.8	32.2	27.0	54.2	30.9	14.9	
地域	東青	203	31.0	34.5	31.5	50.2	26.1	20.7	57.1	27.1	34.0
	西北	91	30.8	29.7	35.2	39.6	33.0	22.0	47.3	33.0	39.6
	中南	189	27.5	38.6	33.3	39.2	29.6	30.7	57.1	27.0	35.4
	上北	128	26.6	33.6	37.5	27.3	32.8	37.5	41.4	35.9	43.0
	下北	50	38.0	40.0	22.0	48.0	28.0	24.0	50.0	36.0	44.0
	三八	187	29.4	39.6	29.4	35.3	38.5	24.6	59.4	28.3	33.2
	無回答	30	33.3	33.3	26.7	43.3	30.0	20.0	36.7	40.0	53.3
区分	市部	666	28.7	37.2	32.3	40.4	32.0	25.8	55.7	29.0	35.6
	町村部	182	33.0	32.4	31.9	37.4	29.7	29.7	46.7	33.0	40.7
	無回答	30	33.3	33.3	26.7	43.3	30.0	20.0	36.7	40.0	53.3
年齢	20歳～29歳	49	28.6	20.4	51.0	40.8	26.5	32.7	61.2	18.4	20.4
	30歳～39歳	75	22.7	32.0	41.3	54.7	18.7	22.7	44.0	34.7	42.7
	40歳～49歳	144	29.9	37.5	31.9	48.6	25.0	25.7	59.7	24.3	29.9
	50歳～59歳	151	25.2	37.1	36.4	37.1	36.4	25.2	57.0	27.8	35.1
	60歳～69歳	211	32.7	39.8	27.0	37.9	36.0	25.1	52.1	36.5	43.1
	70歳～79歳	245	32.7	35.9	26.9	33.9	33.5	28.2	49.8	30.6	39.6
	無回答	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3
性別	男性	373	32.7	35.1	30.8	39.9	31.1	27.6	53.1	30.6	36.5
	女性	485	28.2	36.3	33.2	39.8	32.0	25.8	54.0	29.9	37.5
	回答しない	18	5.6	55.6	27.8	38.9	27.8	22.2	33.3	33.3	50.0
	無回答	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満	7	28.6	28.6	42.9	71.4	14.3	14.3	42.9	42.9	57.1
	3～10年未満	17	23.5	23.5	47.1	41.2	11.8	41.2	29.4	35.3	41.2
	10～20年未満	33	36.4	18.2	45.5	45.5	30.3	21.2	51.5	36.4	39.4
	20～30年未満	103	24.3	31.1	41.7	40.8	30.1	26.2	58.3	24.3	30.1
	30年以上	713	30.3	38.1	29.6	39.1	32.4	26.5	53.3	30.6	37.9
	無回答	5	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0
県外居住年数	3年未満	360	29.4	40.0	29.2	44.2	31.4	23.1	54.2	30.0	36.7
	3～10年未満	197	28.4	33.5	35.0	41.1	29.4	26.4	52.3	29.9	38.6
	10～20年未満	95	33.7	29.5	36.8	36.8	30.5	32.6	58.9	26.3	30.5
	20～30年未満	50	24.0	30.0	42.0	22.0	34.0	38.0	46.0	30.0	40.0
	30年以上	58	34.5	34.5	29.3	31.0	41.4	25.9	51.7	34.5	39.7
	無回答	118	29.7	37.3	28.8	39.0	29.7	27.1	50.8	32.2	39.8
職業	学生	2	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	自営業（農業・漁業等含む）	93	38.7	34.4	23.7	47.3	31.2	18.3	59.1	24.7	33.3
	会社員	223	26.0	39.9	32.3	40.8	30.9	26.5	53.8	31.8	36.3
	公務員	72	29.2	27.8	41.7	37.5	30.6	31.9	50.0	31.9	41.7
	非正規雇用（パート、アルバイト等）	149	26.2	40.9	32.9	37.6	35.6	26.8	51.0	35.6	42.3
	無職	300	32.0	34.0	31.0	39.0	29.7	27.7	52.3	29.0	37.0
	その他	37	29.7	35.1	32.4	40.5	32.4	24.3	59.5	18.9	27.0
	無回答	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0

○図21 住んでいる地域に対する意識（3）

住んでいる地域に対する意識について、全体では「暮らしやすい」が66.6%と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が63.6%となっている。

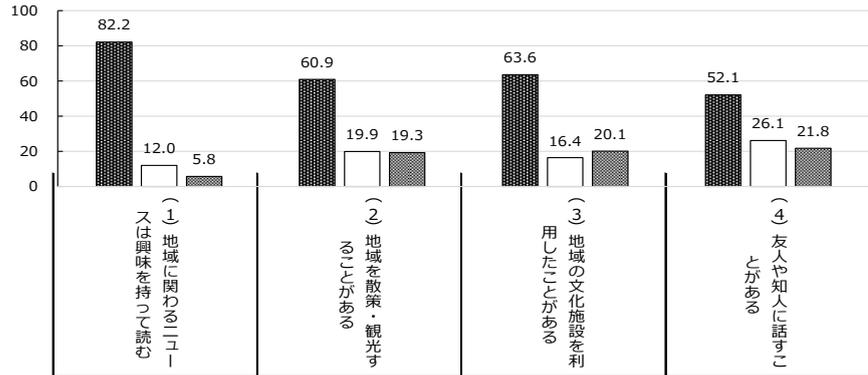
## 8.住んでいる地域での行動

問16 あなたが住んでいる地域(市町村)での行動についてお聞きします。以下のことは、どの程度あてはまりますか。それぞれの項目について○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)



○図22 住んでいる地域での行動 (1)

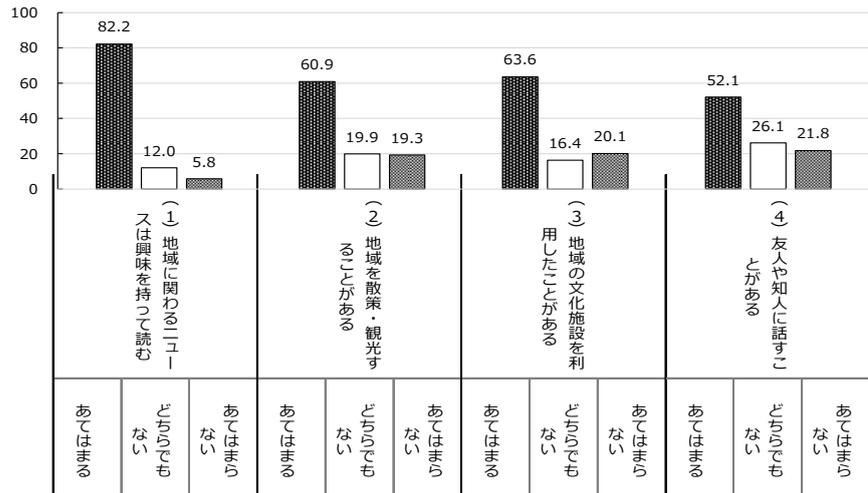
住んでいる地域に対する行動について、「地域に関わるニュースは興味を持って読む」が42.8%と最も多く、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた『あてはまる計』は82.2%となっている。



※ あてはまる：「あてはまる」+「ややあてはまる」  
 ※ あてはまらない：「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

		(1) 地域に関わるニューズに興味を持って読む			(2) 地域を散策・観光する情報があふれている			(3) 地域の文化施設を利用了していることがある			(4) 友人や知人に話していることがある		
		あてはまる	あてはまらない	どちらでもない	あてはまる	あてはまらない	どちらでもない	あてはまる	あてはまらない	どちらでもない	あてはまる	あてはまらない	どちらでもない
地域	一般全体 n=878	82.2	12.0	5.8	60.9	19.9	19.3	63.6	16.4	20.1	52.1	26.1	21.8
	東青 n=203	83.3	11.3	3.9	67.5	15.3	15.8	70.9	13.8	13.8	55.7	24.6	17.7
	西北 n=91	80.2	12.1	6.6	50.5	19.8	27.5	48.4	24.2	25.3	40.7	25.3	31.9
	中南 n=189	79.4	13.8	6.9	62.4	22.2	15.3	65.1	15.9	18.5	50.3	30.2	19.0
	上北 n=128	72.7	10.9	11.7	44.5	25.8	24.2	48.4	20.3	26.6	42.2	24.2	27.3
	下北 n=50	82.0	14.0	4.0	56.0	30.0	14.0	62.0	18.0	20.0	62.0	20.0	16.0
	三八 n=187	86.1	10.7	2.1	69.5	13.4	16.0	69.0	11.2	19.3	53.5	25.1	19.3
	無回答 n=30	76.7	10.0	6.7	26.7	23.3	40.0	50.0	16.7	23.3	50.0	16.7	20.0
区分	市部 n=666	82.4	10.4	5.7	65.3	18.2	14.7	65.8	15.6	17.1	51.7	26.4	19.5
	町村部 n=182	75.8	17.6	5.5	44.5	23.6	30.8	52.2	17.6	28.6	47.3	23.1	27.5
	無回答 n=30	76.7	10.0	6.7	26.7	23.3	40.0	50.0	16.7	23.3	50.0	16.7	20.0
年齢	20歳～29歳 n=49	53.1	22.4	24.5	51.0	18.4	30.6	57.1	16.3	26.5	57.1	8.2	34.7
	30歳～39歳 n=75	76.0	13.3	10.7	58.7	14.7	25.3	60.0	17.3	21.3	44.0	30.7	24.0
	40歳～49歳 n=144	79.2	14.6	6.3	58.3	20.1	21.5	62.5	18.1	19.4	47.2	30.6	22.2
	50歳～59歳 n=151	84.8	10.6	4.6	62.9	20.5	16.6	64.2	20.5	15.2	51.7	27.8	19.9
	60歳～69歳 n=211	84.4	11.4	2.8	59.2	22.3	16.6	64.5	15.6	18.0	51.2	27.0	19.0
	70歳～79歳 n=245	84.1	9.0	2.9	61.2	17.6	16.7	61.2	12.2	22.4	52.7	21.6	19.6
	無回答 n=3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
性別	男性 n=373	79.4	14.2	5.9	58.4	21.2	19.6	58.4	18.2	22.3	46.9	26.3	25.5
	女性 n=485	82.3	9.7	5.8	61.0	17.9	18.6	65.6	14.2	18.1	53.2	24.9	18.4
	回答しない n=18	77.8	22.2	0.0	50.0	27.8	16.7	61.1	22.2	11.1	61.1	22.2	11.1
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満 n=7	71.4	0.0	28.6	57.1	14.3	28.6	57.1	14.3	28.6	85.7	14.3	0.0
	3～10年未満 n=17	52.9	29.4	17.6	58.8	35.3	5.9	58.8	23.5	17.6	47.1	29.4	23.5
	10～20年未満 n=33	72.7	24.2	3.0	66.7	12.1	21.2	69.7	6.1	24.2	57.6	15.2	27.3
	20～30年未満 n=103	70.9	16.5	11.7	54.4	18.4	26.2	59.2	18.4	22.3	54.4	22.3	21.4
	30年以上 n=713	83.6	10.2	4.5	60.2	19.8	18.0	62.8	15.8	19.2	49.5	26.5	21.0
	無回答 n=5	60.0	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	60.0	0.0	20.0
県外居住年数	3年未満 n=360	81.9	10.6	7.2	55.8	23.3	20.3	63.9	15.3	20.3	47.2	28.9	21.9
	3～10年未満 n=197	84.8	11.7	2.5	68.0	15.7	15.2	66.0	18.3	14.7	53.3	25.4	19.3
	10～20年未満 n=95	77.9	14.7	5.3	64.2	13.7	18.9	58.9	14.7	24.2	53.7	17.9	25.3
	20～30年未満 n=50	78.0	12.0	6.0	56.0	18.0	22.0	56.0	16.0	24.0	38.0	30.0	28.0
	30年以上 n=58	70.7	20.7	6.9	65.5	13.8	19.0	55.2	22.4	20.7	60.3	20.7	17.2
	無回答 n=118	79.7	9.3	5.9	52.5	22.0	19.5	61.0	12.7	20.3	55.1	21.2	17.8
職業	学生 n=2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	自営業（農業・漁業等含む） n=93	82.8	12.9	1.1	50.5	24.7	19.4	61.3	18.3	15.1	54.8	22.6	18.3
	会社員 n=223	77.6	13.0	9.0	61.0	18.8	19.7	57.8	19.7	22.4	53.4	24.2	21.1
	公務員 n=72	80.6	13.9	5.6	59.7	22.2	18.1	70.8	16.7	12.5	43.1	31.9	25.0
	非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	83.2	10.1	5.4	58.4	20.1	20.1	59.7	20.1	18.8	47.7	31.5	18.8
	無職 n=300	82.0	11.3	4.3	63.0	16.0	18.3	65.3	11.7	20.3	51.0	22.3	22.7
	その他 n=37	81.1	10.8	8.1	54.1	32.4	13.5	64.9	8.1	27.0	51.4	29.7	16.2
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

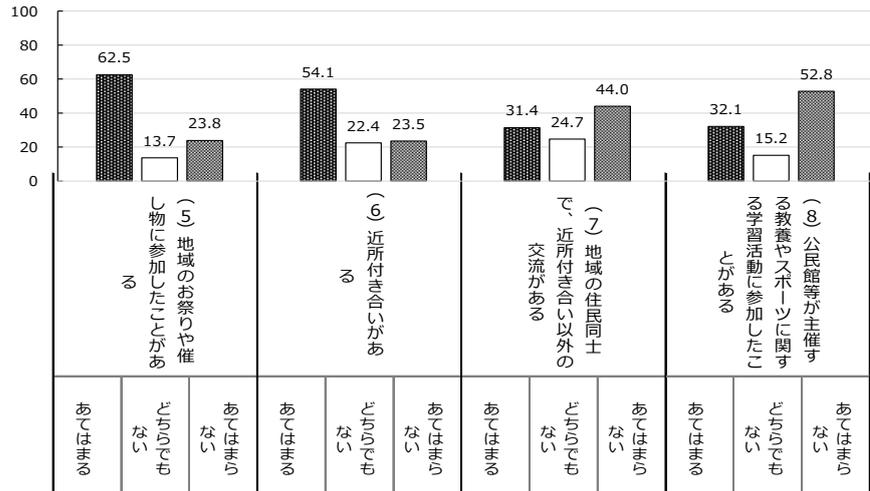
○図23 住んでいる地域での行動（2）



※ あてはまる：「あてはまる」+「ややあてはまる」  
 ※ あてはまらない：「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

問15	Item	Response	Category 1			Category 2			Category 3			Category 4		
			あてはまる	どちらでもない	あてはまらない									
(1) 暮らしやすい		あてはまる n=575	88.5	7.8	3.3	67.5	17.4	14.3	69.2	14.8	15.1	58.8	24.0	15.7
		どちらでもない n=175	68.0	24.0	4.6	46.9	28.0	22.3	49.1	22.3	25.7	38.9	33.1	24.0
		あてはまらない n=114	64.0	14.9	19.3	43.0	18.4	36.8	51.8	14.0	32.5	31.6	22.8	43.0
(2) 友人や知人に自慢できる		あてはまる n=400	92.8	6.3	0.5	77.8	14.3	7.8	76.3	13.8	9.5	73.3	17.5	7.5
		どちらでもない n=298	80.2	13.8	4.7	51.0	27.9	19.1	58.7	22.1	17.8	41.6	36.9	19.5
		あてはまらない n=160	55.0	23.1	20.0	33.8	17.5	46.9	38.1	11.9	47.5	14.4	26.3	56.9
(3) 自分とのつながりを感じる		あてはまる n=397	92.2	5.8	1.3	74.6	15.4	9.3	77.8	13.9	7.3	68.8	20.2	8.8
		どちらでもない n=292	78.1	15.8	5.1	52.4	25.0	20.9	55.1	18.5	25.3	43.8	32.5	21.9
		あてはまらない n=166	60.8	20.5	16.9	38.6	21.1	39.2	41.6	16.9	39.8	21.7	28.3	48.2
(4) ずっと住み続けたい		あてはまる n=546	90.1	7.1	1.8	67.4	18.1	13.7	69.8	14.7	14.8	60.4	23.1	14.5
		どちらでもない n=196	69.9	21.9	6.6	52.0	26.0	19.4	53.1	20.4	24.5	38.3	34.2	25.5
		あてはまらない n=117	59.0	18.8	21.4	39.3	17.1	42.7	47.9	16.2	34.2	29.1	23.9	45.3
(5) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい		あてはまる n=261	93.1	5.4	1.1	78.9	11.5	8.8	82.8	10.0	6.5	73.9	15.7	9.6
		どちらでもない n=317	85.8	11.0	2.2	58.0	27.1	13.6	58.7	22.1	18.3	47.9	36.3	12.6
		あてはまらない n=281	65.5	19.2	13.5	44.8	19.2	34.5	49.1	15.7	33.5	33.5	23.5	41.3
(6) 地域のお祭りやイベントに参加したい		あてはまる n=350	91.1	6.3	2.0	77.4	13.4	8.6	80.0	11.7	7.7	71.1	18.9	9.1
		どちらでもない n=276	83.7	13.8	1.8	56.5	26.8	15.9	57.6	22.5	18.8	44.6	34.4	18.1
		あてはまらない n=232	63.8	18.5	15.5	38.4	21.1	37.9	43.5	15.9	38.4	29.3	26.3	41.8
(7) 訪れる人を増やしたい		あてはまる n=467	91.2	6.0	2.4	73.9	15.4	10.3	75.6	12.4	11.6	65.3	21.0	11.6
		どちらでもない n=266	77.1	17.7	3.0	48.9	29.7	19.2	54.9	22.9	20.3	37.2	38.0	22.6
		あてはまらない n=128	53.1	21.9	22.7	32.0	14.8	50.0	32.8	16.4	47.7	27.3	18.0	52.3

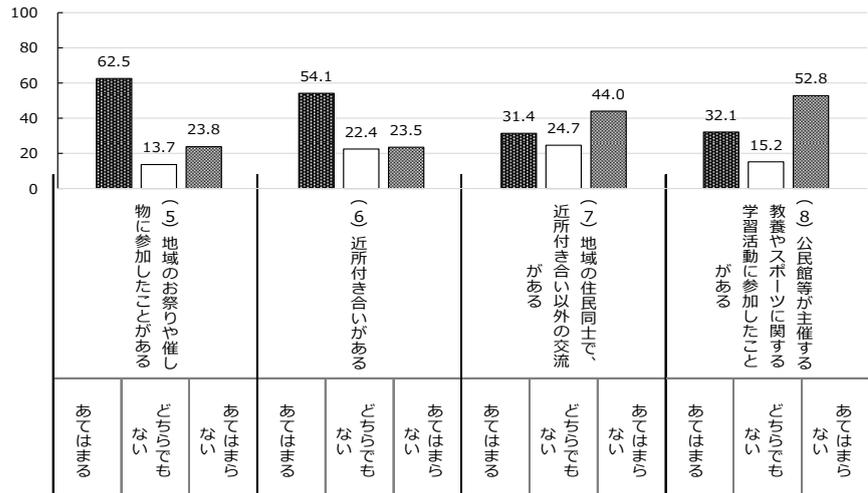
○図24 住んでいる地域での行動 (3)



※ あてはまる：  
「あてはまる」+「ややあてはまる」  
※ あてはまらない：  
「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

		(5) 地域のお祭りや催し物に参加したことがある			(6) 近所付き合いがある			(7) 地域の住民同士で、近所付き合い以外の交流がある			(8) 公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある		
		あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない
	一般全体 n=878	62.5	13.7	23.8	54.1	22.4	23.5	31.4	24.7	44.0	32.1	15.2	52.8
地域	東青 n=203	72.9	9.4	16.3	48.8	26.1	24.1	28.1	25.6	44.8	34.0	14.3	50.7
	西北 n=91	59.3	7.7	30.8	57.1	22.0	19.8	34.1	24.2	39.6	24.2	16.5	57.1
	中南 n=189	61.9	13.8	24.3	57.1	20.6	21.2	29.1	25.9	45.0	28.6	19.6	51.9
	上北 n=128	54.7	15.6	25.8	53.9	17.2	24.2	32.8	18.8	43.8	29.7	15.6	50.8
	下北 n=50	74.0	12.0	14.0	74.0	14.0	10.0	38.0	28.0	32.0	48.0	10.0	42.0
	三八 n=187	52.4	18.7	27.3	44.4	25.7	28.3	27.8	24.1	46.5	32.6	10.7	55.6
	無回答 n=30	50.0	16.7	23.3	60.0	13.3	20.0	46.7	20.0	23.3	30.0	16.7	43.3
区分	市部 n=666	61.9	14.1	22.5	48.3	24.0	25.8	27.2	24.9	46.2	30.9	14.3	53.5
	町村部 n=182	61.5	10.4	26.4	69.2	15.9	13.2	41.2	22.0	34.6	34.1	17.0	47.8
	無回答 n=30	50.0	16.7	23.3	60.0	13.3	20.0	46.7	20.0	23.3	30.0	16.7	43.3
年齢	20歳～29歳 n=49	65.3	10.2	24.5	44.9	12.2	42.9	20.4	18.4	59.2	18.4	14.3	67.3
	30歳～39歳 n=75	66.7	10.7	21.3	40.0	22.7	37.3	22.7	20.0	57.3	18.7	13.3	66.7
	40歳～49歳 n=144	63.9	13.2	22.9	41.7	26.4	31.3	27.1	28.5	44.4	31.3	18.8	50.0
	50歳～59歳 n=151	66.9	15.2	17.9	45.7	28.5	25.8	24.5	27.2	48.3	30.5	16.6	53.0
	60歳～69歳 n=211	63.0	13.7	20.4	61.6	22.7	13.3	34.6	27.5	35.5	33.2	14.7	50.7
	70歳～79歳 n=245	53.1	13.9	29.8	62.9	16.7	16.3	38.0	19.6	38.0	37.6	12.7	46.1
	無回答 n=3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
性別	男性 n=373	56.0	16.9	26.3	53.4	23.1	22.5	33.2	26.3	39.9	26.5	22.0	51.2
	女性 n=485	66.0	10.1	21.6	52.6	21.2	23.7	29.5	21.6	46.0	35.1	9.7	53.0
	回答しない n=18	50.0	33.3	11.1	66.7	22.2	11.1	16.7	50.0	27.8	38.9	11.1	44.4
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満 n=7	71.4	0.0	28.6	42.9	0.0	57.1	42.9	0.0	57.1	28.6	0.0	71.4
	3～10年未満 n=17	52.9	11.8	35.3	35.3	5.9	58.8	17.6	11.8	64.7	17.6	17.6	64.7
	10～20年未満 n=33	54.5	18.2	24.2	27.3	24.2	48.5	30.3	21.2	48.5	27.3	21.2	51.5
	20～30年未満 n=103	57.3	14.6	27.2	45.6	18.4	35.0	24.3	26.2	48.5	21.4	12.6	65.0
	30年以上 n=713	62.3	13.3	22.6	55.8	23.0	19.1	31.8	24.5	41.5	33.5	15.1	49.6
	無回答 n=5	80.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	40.0
県外居住年数	3年未満 n=360	64.7	13.6	21.4	54.7	23.3	21.1	32.5	26.1	40.6	31.7	16.7	51.4
	3～10年未満 n=197	71.6	13.2	13.7	54.8	21.3	21.8	30.5	21.8	45.7	32.0	16.2	50.8
	10～20年未満 n=95	51.6	8.4	37.9	41.1	27.4	29.5	27.4	25.3	45.3	37.9	9.5	50.5
	20～30年未満 n=50	40.0	18.0	38.0	44.0	14.0	38.0	18.0	20.0	58.0	24.0	10.0	62.0
	30年以上 n=58	41.4	24.1	31.0	44.8	22.4	32.8	27.6	24.1	46.6	27.6	20.7	50.0
	無回答 n=118	61.0	10.2	23.7	62.7	17.8	14.4	35.6	22.9	36.4	30.5	11.0	53.4
職業	学生 n=2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	自営業（農業・漁業等含む） n=93	66.7	8.6	20.4	66.7	19.4	9.7	45.2	30.1	21.5	38.7	22.6	35.5
	会社員 n=223	65.9	12.6	20.6	47.1	24.2	27.8	23.3	29.1	46.6	23.8	17.5	58.3
	公務員 n=72	58.3	13.9	27.8	40.3	23.6	36.1	25.0	20.8	54.2	25.0	15.3	59.7
	非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	63.8	12.8	22.1	54.4	23.5	20.8	30.9	24.2	41.6	32.2	9.4	57.0
	無職 n=300	55.7	16.0	26.0	56.3	20.7	20.3	32.7	20.0	45.0	36.3	13.7	47.7
	その他 n=37	64.9	13.5	21.6	51.4	18.9	29.7	35.1	21.6	43.2	29.7	13.5	56.8
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

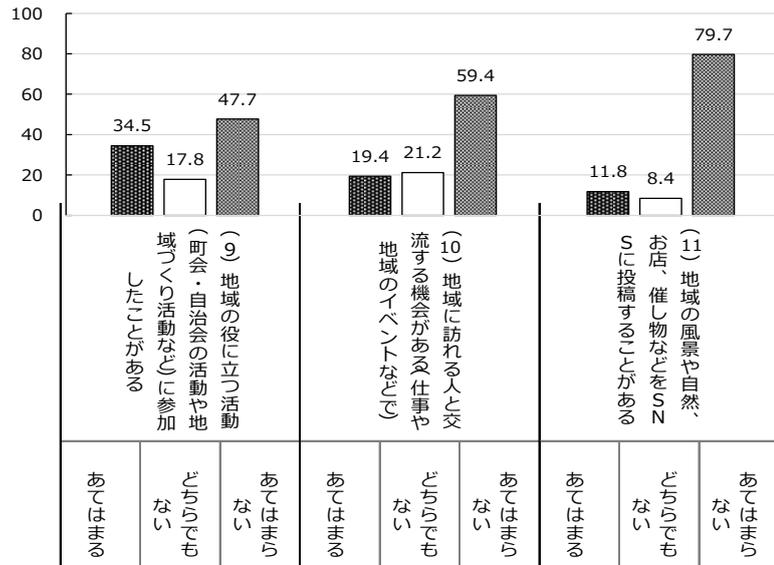
○図25 住んでいる地域での行動（4）



※ あてはまる：  
「あてはまる」+「ややあてはまる」  
※ あてはまらない：  
「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

問 15	項目	あてはまる n	あてはまる			どちらでもない			あてはまらない				
			あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない		
(1) 暮らしやすい	あてはまる n=575	65.4	13.2	20.7	57.6	21.7	19.7	34.3	23.5	41.2	34.6	16.0	48.9
	どちらでもない n=175	58.3	17.7	21.7	48.6	23.4	25.1	26.3	33.1	37.7	27.4	17.1	53.1
	あてはまらない n=114	48.2	9.6	39.5	38.6	22.8	36.8	20.2	16.7	60.5	24.6	7.9	65.8
(2) 友人や知人に自慢できる	あてはまる n=400	72.0	12.5	15.0	62.8	19.3	17.5	37.8	25.0	36.3	39.0	16.3	44.5
	あてはまらない n=160	40.0	11.9	46.3	33.8	19.4	45.0	15.6	15.0	66.9	20.0	5.0	73.1
(3) 自分とのつながりを感じる	あてはまる n=397	73.0	12.3	13.6	67.3	18.6	13.1	43.6	21.4	33.8	40.3	17.4	41.6
	どちらでもない n=292	58.6	15.8	24.7	45.2	28.8	24.0	22.3	33.9	42.8	27.1	17.8	54.5
	あてはまらない n=166	40.4	13.3	45.2	33.7	19.9	45.2	15.1	14.5	68.1	19.9	6.0	72.9
(4) ずっと住み続けたい	あてはまる n=546	68.5	13.0	17.8	61.4	20.7	16.8	36.1	25.5	37.5	36.8	15.2	47.4
	どちらでもない n=196	56.1	16.3	25.5	45.4	28.1	24.5	21.4	30.1	45.4	24.0	21.4	53.1
	あてはまらない n=117	39.3	12.8	47.0	29.1	19.7	49.6	20.5	11.1	67.5	21.4	4.3	73.5
(5) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい	あてはまる n=261	78.9	9.6	11.1	76.6	11.9	11.1	59.0	21.5	18.8	57.9	16.9	24.9
	どちらでもない n=317	62.8	19.6	16.7	50.5	30.9	16.7	21.1	35.3	42.6	23.7	21.8	53.9
	あてはまらない n=281	45.2	10.7	42.3	34.9	22.1	41.3	14.9	15.7	66.9	17.4	6.0	75.1
(6) 地域のお祭りやイベントに参加したい	あてはまる n=350	86.3	7.1	6.3	68.6	17.4	13.7	46.6	23.7	29.1	46.9	16.6	36.3
	どちらでもない n=276	53.6	23.2	22.1	48.9	28.6	21.0	23.6	33.0	42.0	27.5	21.0	50.7
	あてはまらない n=232	35.3	12.1	50.4	36.2	22.0	38.8	15.5	16.4	65.5	15.1	6.5	76.7
(7) 訪れる人を増やしたい	あてはまる n=467	75.4	9.6	14.3	62.3	19.1	17.8	38.8	24.6	35.8	39.6	16.5	43.5
	どちらでもない n=266	53.4	21.4	22.9	47.4	30.8	19.5	24.4	28.9	44.0	27.1	18.0	53.0
	あてはまらない n=128	28.9	11.7	57.8	32.8	15.6	49.2	14.1	15.6	68.0	13.3	4.7	80.5

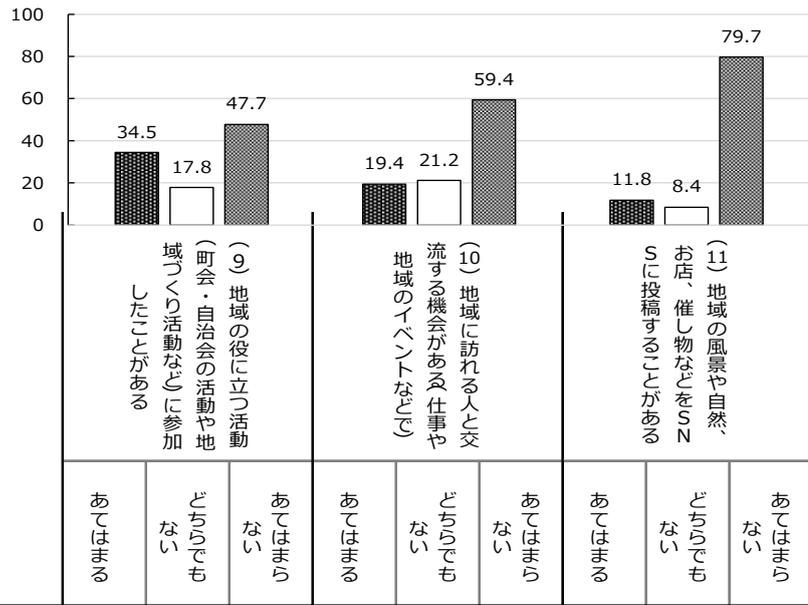
○図26 住んでいる地域での行動 (5)



※ あてはまる：  
「あてはまる」+「ややあてはまる」  
※ あてはまらない：  
「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

	一般全体 n=878	あてはまる (%)	どちらでも (%)	あてはまらない (%)	あてはまる (%)	どちらでも (%)	あてはまらない (%)	あてはまる (%)	どちらでも (%)	あてはまらない (%)
地域	一般全体 n=878	34.5	17.8	47.7	19.4	21.2	59.4	11.8	8.4	79.7
	東青 n=203	28.1	18.7	52.2	17.2	18.7	63.1	15.3	7.4	76.4
	西北 n=91	33.0	17.6	47.3	22.0	16.5	59.3	4.4	8.8	84.6
	中南 n=189	30.7	20.6	48.7	16.9	23.8	59.3	13.2	7.9	78.8
	上北 n=128	42.2	16.4	37.5	16.4	27.3	53.1	10.9	9.4	75.8
	下北 n=50	42.0	20.0	38.0	30.0	22.0	48.0	16.0	8.0	76.0
	三八 n=187	36.9	10.7	51.3	20.9	19.3	58.8	9.1	9.6	79.7
	無回答 n=30	30.0	33.3	30.0	20.0	10.0	60.0	10.0	3.3	80.0
区分	市部 n=666	30.2	16.8	51.7	18.5	19.2	61.0	12.3	8.9	77.3
	町村部 n=182	48.4	17.6	33.0	21.4	28.6	49.5	9.3	7.1	82.4
	無回答 n=30	30.0	33.3	30.0	20.0	10.0	60.0	10.0	3.3	80.0
年齢	20歳～29歳 n=49	12.2	22.4	65.3	12.2	12.2	75.5	30.6	14.3	55.1
	30歳～39歳 n=75	18.7	10.7	70.7	22.7	10.7	65.3	34.7	4.0	61.3
	40歳～49歳 n=144	25.7	22.2	52.1	21.5	21.5	56.9	16.0	13.9	70.1
	50歳～59歳 n=151	29.8	17.2	53.0	18.5	21.9	59.6	11.3	7.9	80.8
	60歳～69歳 n=211	42.2	20.4	36.0	20.4	23.2	55.0	8.5	8.1	82.0
	70歳～79歳 n=245	43.3	13.9	39.2	17.1	22.9	56.7	1.2	5.7	89.0
	無回答 n=3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
性別	男性 n=373	37.0	19.6	43.2	22.0	24.9	52.8	12.9	12.1	74.8
	女性 n=485	31.5	15.3	50.9	17.1	17.5	63.3	10.5	5.4	81.6
	回答しない n=18	33.3	38.9	27.8	16.7	27.8	50.0	16.7	11.1	72.2
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
県内居住年数	3年未満 n=7	14.3	0.0	85.7	0.0	14.3	85.7	14.3	0.0	85.7
	3～10年未満 n=17	23.5	11.8	64.7	11.8	17.6	70.6	17.6	11.8	70.6
	10～20年未満 n=33	27.3	12.1	60.6	24.2	12.1	63.6	30.3	6.1	63.6
	20～30年未満 n=103	22.3	18.4	58.3	19.4	9.7	69.9	19.4	14.6	65.0
	30年以上 n=713	36.5	18.0	44.0	19.2	23.0	56.2	9.5	7.4	81.3
	無回答 n=5	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	60.0
県外居住年数	3年未満 n=360	33.3	21.1	45.3	18.1	25.0	56.7	13.6	8.3	77.5
	3～10年未満 n=197	33.5	19.3	46.2	19.8	19.3	59.9	12.2	11.7	75.1
	10～20年未満 n=95	28.4	14.7	54.7	25.3	13.7	58.9	14.7	7.4	75.8
	20～30年未満 n=50	32.0	12.0	52.0	14.0	12.0	70.0	10.0	10.0	76.0
	30年以上 n=58	41.4	13.8	43.1	12.1	25.9	60.3	3.4	8.6	86.2
	無回答 n=118	38.1	10.2	47.5	22.0	17.8	55.9	6.8	2.5	86.4
職業	学生 n=2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	自営業(農業・漁業等含む) n=93	55.9	15.1	25.8	31.2	26.9	38.7	11.8	16.1	68.8
	会社員 n=223	25.1	21.5	52.9	19.7	20.6	59.2	19.3	11.2	69.1
	公務員 n=72	26.4	20.8	52.8	22.2	20.8	56.9	11.1	6.9	81.9
	非正規雇用(パート、アルバイト等) n=149	32.2	14.8	51.7	16.1	18.1	64.4	11.4	7.4	79.9
	無職 n=300	36.3	16.7	45.0	16.3	20.7	61.0	6.3	5.3	86.0
	その他 n=37	37.8	13.5	48.6	16.2	21.6	62.2	10.8	2.7	86.5
	無回答 n=2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

○図27 住んでいる地域での行動(6)



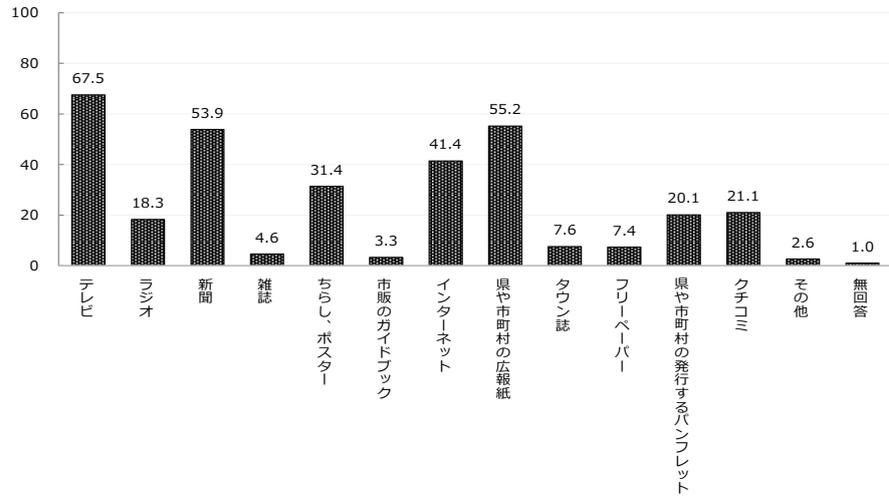
※ あてはまる：  
「あてはまる」+「ややあてはまる」  
※ あてはまらない：  
「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

問 15	項目	n	あてはまる			あてはまらない		
			あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない
(1) 暮らしやすい	あてはまる	n=575	36.9	18.1	44.5	21.7	22.8	55.0
	どちらでもない	n=175	32.0	18.9	46.9	13.7	23.4	61.1
	あてはまらない	n=114	22.8	14.9	60.5	14.9	8.8	74.6
(2) 友人や知人に自慢できる	あてはまる	n=400	39.3	17.0	43.5	27.8	21.8	50.3
	どちらでもない	n=298	31.9	23.8	43.3	13.8	26.8	58.7
	あてはまらない	n=160	24.4	9.4	64.4	8.8	8.8	80.6
(3) 自分とのつながりを感じる	あてはまる	n=397	43.1	16.6	39.5	27.7	23.4	48.1
	どちらでもない	n=292	30.5	21.9	46.9	14.0	25.3	60.3
	あてはまらない	n=166	18.7	13.9	66.3	7.2	8.4	83.1
(4) ずっと住み続けたい	あてはまる	n=546	39.4	17.0	43.0	22.5	22.7	54.2
	どちらでもない	n=196	28.1	23.5	46.9	14.3	25.0	59.7
	あてはまらない	n=117	18.8	12.0	68.4	11.1	6.0	82.1
(5) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい	あてはまる	n=261	65.1	13.8	20.7	39.8	28.0	31.8
	どちらでもない	n=317	27.1	23.0	49.2	13.6	25.9	60.3
	あてはまらない	n=281	12.8	16.0	69.8	6.8	9.3	82.6
(6) 地域のお祭りやイベントに参加したい	あてはまる	n=350	47.7	15.4	36.6	33.4	23.1	43.1
	どちらでもない	n=276	30.4	23.2	45.7	12.7	29.0	58.0
	あてはまらない	n=232	18.1	15.5	64.7	6.0	8.6	83.6
(7) 訪れる人を増やしたい	あてはまる	n=467	41.1	15.8	42.6	28.7	22.9	48.0
	どちらでもない	n=266	28.9	22.9	46.2	10.2	25.9	62.4
	あてはまらない	n=128	18.8	14.8	64.8	3.9	3.9	90.6

○図28 住んでいる地域での行動 (7)

## 9.地域に関する情報の入手方法

問17 あなたはいま住んでいる地域(市町村)の話題や新しい情報を、普段どんな媒体から得ることが多いと感じますか。(複数回答可)



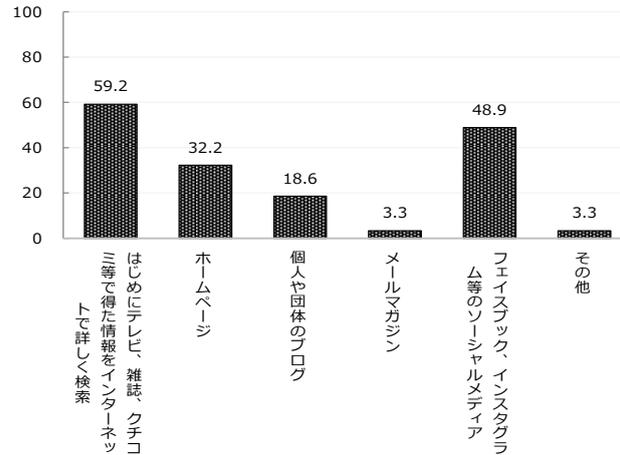
	一般全体 n=869	67.5	18.3	53.9	4.6	31.4	3.3	41.4	55.2	7.6	7.4	20.1	21.1	2.6	1.0
地域	東青 n=203	81.3	19.7	53.7	3.9	30.5	3.4	48.8	47.3	8.9	10.8	16.7	20.2	2.5	0.5
	西北 n=91	67.0	13.2	53.8	4.4	36.3	1.1	28.6	65.9	3.3	1.1	23.1	17.6	6.6	1.1
	中南 n=189	70.4	29.6	52.4	4.8	29.6	4.2	46.6	57.1	8.5	6.3	20.6	18.0	2.1	0.0
	上北 n=128	50.8	8.6	39.1	1.6	27.3	1.6	39.1	57.8	0.8	2.3	16.4	23.4	1.6	2.3
	下北 n=50	54.0	6.0	50.0	6.0	34.0	6.0	28.0	62.0	4.0	0.0	26.0	34.0	6.0	0.0
	三八 n=187	66.3	18.2	66.3	7.0	31.0	4.3	41.7	50.8	13.4	13.4	21.9	19.3	1.1	0.5
無回答 n=30	40.0	10.0	40.0	3.3	40.0	0.0	16.7	53.3	3.3	3.3	20.0	30.0	3.3	10.0	
区分	市部 n=666	71.5	20.0	55.4	5.3	31.7	3.8	47.3	52.9	8.6	9.2	19.2	20.0	2.7	0.6
	町村部 n=182	54.4	12.6	47.8	2.2	27.5	2.2	22.0	61.5	4.4	1.1	22.5	22.5	2.2	1.1
	無回答 n=30	40.0	10.0	40.0	3.3	40.0	0.0	16.7	53.3	3.3	3.3	20.0	30.0	3.3	10.0
年齢	20歳~29歳 n=49	69.4	12.2	14.3	2.0	16.3	2.0	57.1	32.7	4.1	4.1	6.1	18.4	4.1	0.0
	30歳~39歳 n=75	70.7	9.3	21.3	4.0	24.0	1.3	66.7	34.7	6.7	8.0	6.7	16.0	9.3	1.3
	40歳~49歳 n=144	63.9	12.5	40.3	6.9	27.1	1.4	58.3	45.1	13.9	16.0	13.2	23.6	3.5	0.0
	50歳~59歳 n=151	68.2	15.9	51.7	4.0	29.1	2.0	54.3	48.3	7.9	11.3	17.9	24.5	2.6	0.0
	60歳~69歳 n=211	62.1	19.9	63.0	4.7	37.0	4.7	34.6	63.5	5.2	3.8	22.3	20.9	1.4	1.4
	70歳~79歳 n=245	70.6	24.9	71.0	4.1	35.1	4.9	17.1	66.9	6.5	3.3	30.2	19.2	0.8	1.6
	無回答 n=3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
性別	男性 n=373	70.8	21.2	56.0	6.2	24.9	3.8	45.0	48.5	6.7	4.8	18.2	19.0	2.4	0.5
	女性 n=485	64.3	16.3	51.1	3.5	36.3	3.1	37.9	59.2	8.5	9.3	21.6	22.3	2.9	1.0
	回答しない n=18	55.6	5.6	55.6	0.0	22.2	0.0	44.4	61.1	0.0	5.6	11.1	22.2	0.0	5.6
	無回答 n=2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
県内居住年数	3年未満 n=7	42.9	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	42.9	57.1	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0
	3~10年未満 n=17	41.2	5.9	17.6	0.0	29.4	0.0	52.9	52.9	11.8	11.8	0.0	29.4	17.6	0.0
	10~20年未満 n=33	54.5	9.1	27.3	3.0	33.3	0.0	57.6	45.5	3.0	12.1	24.2	24.2	0.0	0.0
	20~30年未満 n=103	68.0	8.7	33.0	1.9	20.4	1.9	57.3	46.6	5.8	7.8	9.7	25.2	3.9	0.0
	30年以上 n=713	68.3	20.2	58.5	5.0	32.7	3.6	37.9	56.2	7.7	6.6	21.6	19.6	2.1	1.1
	無回答 n=5	40.0	20.0	60.0	20.0	40.0	20.0	0.0	60.0	20.0	20.0	40.0	60.0	0.0	20.0
県外居住年数	3年未満 n=360	70.8	19.4	48.6	5.0	33.6	3.9	43.3	53.1	7.5	7.5	18.3	22.8	1.9	0.3
	3~10年未満 n=197	65.5	12.7	56.9	3.6	25.4	2.0	48.7	54.8	6.1	5.6	23.9	16.2	3.6	0.5
	10~20年未満 n=95	65.3	21.1	51.6	6.3	27.4	3.2	49.5	47.4	9.5	10.5	15.8	25.3	1.1	2.1
	20~30年未満 n=50	66.0	22.0	52.0	4.0	30.0	0.0	34.0	54.0	6.0	10.0	20.0	14.0	6.0	4.0
	30年以上 n=58	56.9	10.3	53.4	1.7	36.2	5.2	31.0	55.2	13.8	12.1	17.2	29.3	1.7	0.0
無回答 n=118	63.6	22.9	63.6	5.1	33.9	4.2	22.0	65.3	5.9	3.4	22.9	17.8	3.4	2.5	
職業	学生 n=2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	自営業(農業・漁業等含む) n=93	59.1	29.0	62.4	1.1	31.2	3.2	26.9	58.1	3.2	5.4	26.9	22.6	4.3	2.2
	会社員 n=223	67.7	17.5	39.9	5.4	22.4	3.1	54.7	42.2	7.2	7.6	9.9	22.0	4.5	0.0
	公務員 n=72	66.7	9.7	40.3	4.2	31.9	1.4	55.6	56.9	11.1	8.3	22.2	16.7	1.4	0.0
	非正規雇用(パート、アルバイト等) n=149	65.1	15.4	48.3	4.0	41.6	1.3	38.9	55.0	8.7	10.7	20.8	22.8	2.7	1.3
	無職 n=300	70.3	19.0	66.0	5.3	32.3	4.7	34.0	61.3	7.3	5.3	23.7	16.7	1.0	1.3
	その他 n=37	62.2	13.5	59.5	5.4	29.7	5.4	32.4	62.2	8.1	8.1	24.3	40.5	2.7	0.0
無回答 n=2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	

○図29 地域に関する情報の入手方法

地域に関する情報の入手方法について、全体では「テレビ」が67.5%と最も多く、次いで「県や市町村の広報紙」が55.2%となっている。

## 10. 地域情報に関するインターネットの活用方法

問18 【「問17」で「7 インターネット」と答えた方にかがいます。】あなたが地域の新しい情報等をインターネットで得る場合、どれが役に立っていると思いますか。（複数回答可）



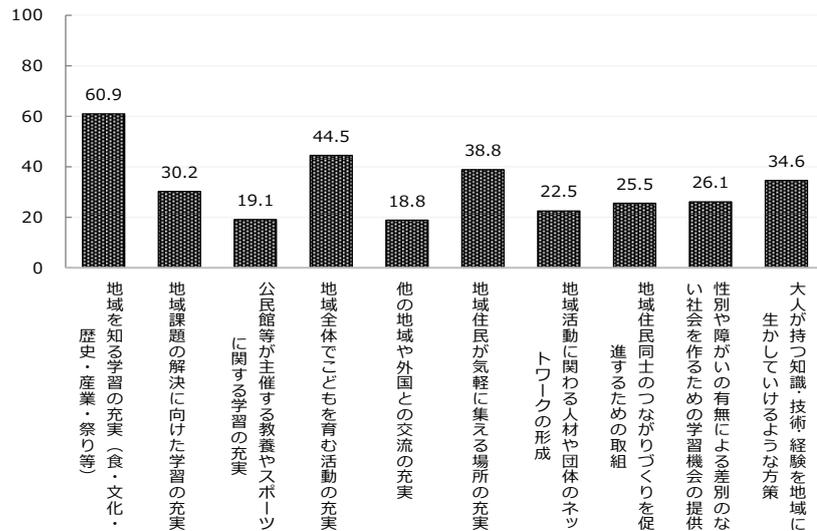
	一般全体 n=360	59.2	32.2	18.6	3.3	48.9	3.3
地域	東青 n=203	33.0	17.7	9.9	1.5	26.1	1.0
	西北 n=91	17.6	9.9	1.1	2.2	13.2	0.0
	中南 n=189	27.5	10.6	9.0	2.1	22.8	1.1
	上北 n=128	18.8	14.1	4.7	0.8	16.4	3.1
	下北 n=50	12.0	6.0	6.0	0.0	10.0	0.0
	三八 n=187	24.1	14.4	10.2	1.1	20.3	2.1
	無回答 n=30	10.0	10.0	3.3	0.0	13.3	0.0
	区分	市部 n=666	28.5	14.6	9.0	1.7	23.0
町村部 n=182		11.0	8.8	3.3	0.5	10.4	1.1
無回答 n=30		10.0	10.0	3.3	0.0	13.3	0.0
年齢	20歳～29歳 n=49	16.3	14.3	4.1	0.0	44.9	2.0
	30歳～39歳 n=75	32.0	16.0	10.7	0.0	53.3	2.7
	40歳～49歳 n=144	32.6	14.6	16.7	2.1	34.7	2.1
	50歳～59歳 n=151	33.8	16.6	9.9	2.0	21.2	2.6
	60歳～69歳 n=211	22.7	15.2	7.1	1.4	10.0	0.5
	70歳～79歳 n=245	13.9	7.3	1.2	1.2	4.5	0.4
	無回答 n=3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性 n=373	29.8	14.2	7.2	1.9	20.4	1.6
	女性 n=485	20.8	12.4	8.2	1.0	19.4	1.2
	回答しない n=18	5.6	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満 n=7	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0
	3～10年未満 n=17	35.3	5.9	5.9	0.0	47.1	5.9
	10～20年未満 n=33	18.2	15.2	12.1	0.0	45.5	3.0
	20～30年未満 n=103	24.3	17.5	6.8	2.9	34.0	1.0
	30年以上 n=713	24.5	12.8	7.7	1.3	16.3	1.3
	無回答 n=5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県外居住年数	3年未満 n=360	24.7	14.2	8.9	1.7	23.1	0.8
	3～10年未満 n=197	26.4	11.7	6.1	1.0	23.4	1.5
	10～20年未満 n=95	31.6	14.7	11.6	0.0	20.0	5.3
	20～30年未満 n=50	26.0	18.0	8.0	2.0	18.0	0.0
	30年以上 n=58	22.4	15.5	5.2	5.2	12.1	1.7
無回答 n=118	13.6	8.5	4.2	0.0	10.2	0.0	
職業	学生 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業（農業・漁業等含む） n=93	18.3	7.5	5.4	1.1	16.1	0.0
	会社員 n=223	28.7	14.8	11.7	1.3	31.8	1.3
	公務員 n=72	27.8	15.3	6.9	2.8	25.0	4.2
	非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	20.8	14.1	6.0	1.3	18.8	1.3
	無職 n=300	25.0	13.7	5.7	1.0	12.0	1.3
	その他 n=37	16.2	8.1	10.8	2.7	18.9	0.0
	無回答 n=2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

○図30 地域情報に関するインターネットの活用方法

地域情報に関するインターネットの活用方法について、全体では「はじめにテレビ、雑誌、クチコミ等で得た情報をインターネットで詳しく検索」が59.2%と最も多く、次いで「フェイスブック、インスタグラム等のソーシャルメディア」が48.9%となっている。

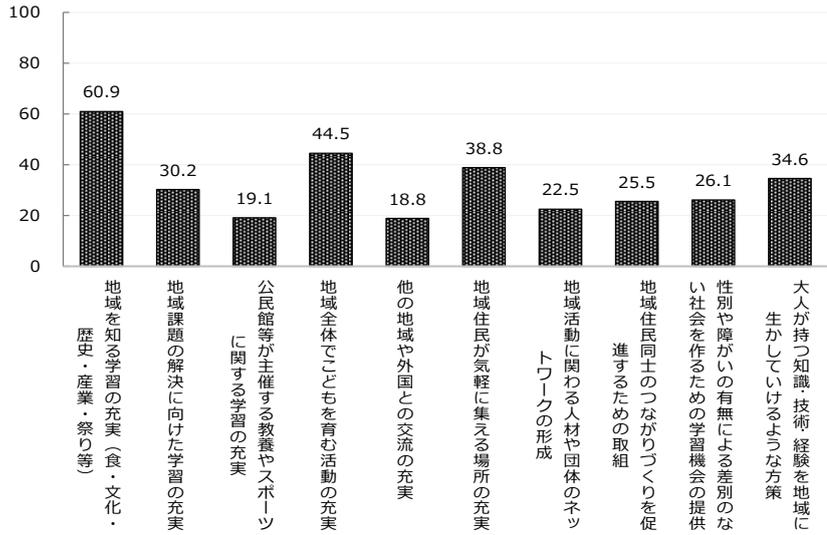
# 11. 県教育委員会に期待する今後の取組

問19 あなたは、県の教育委員会が、県民の皆様のふるさと青森を愛する心を醸成するために、今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（複数回答可）



	一般全体 n=850	60.9	30.2	19.1	44.5	18.8	38.8	22.5	25.5	26.1	34.6
地域	東青 n=203	58.1	30.0	25.1	40.9	17.7	38.9	19.7	26.1	23.2	31.5
	西北 n=91	57.1	19.8	15.4	46.2	13.2	41.8	20.9	33.0	29.7	33.0
	中南 n=189	63.5	30.7	15.9	49.2	21.2	36.5	23.3	22.8	27.0	37.6
	上北 n=128	48.4	31.3	17.2	37.5	16.4	38.3	19.5	19.5	27.3	26.6
	下北 n=50	52.0	38.0	16.0	30.0	14.0	42.0	22.0	24.0	20.0	32.0
	三八 n=187	68.4	29.4	18.2	47.6	21.4	33.7	26.7	26.7	23.0	38.0
	無回答 n=30	40.0	20.0	10.0	26.7	13.3	36.7	6.7	13.3	30.0	26.7
区分	市部 n=666	61.4	30.6	20.0	44.7	20.0	36.8	23.1	24.6	25.4	35.0
	町村部 n=182	53.3	25.8	14.3	39.6	12.6	40.7	19.2	26.9	24.2	29.1
	無回答 n=30	40.0	20.0	10.0	26.7	13.3	36.7	6.7	13.3	30.0	26.7
年齢	20歳～29歳 n=49	59.2	32.7	14.3	30.6	18.4	16.3	14.3	10.2	22.4	32.7
	30歳～39歳 n=75	57.3	33.3	10.7	49.3	21.3	30.7	20.0	17.3	20.0	33.3
	40歳～49歳 n=144	54.9	29.2	18.1	49.3	22.2	30.6	25.7	22.2	23.6	33.3
	50歳～59歳 n=151	55.0	35.1	14.6	41.7	20.5	26.5	23.2	23.2	27.2	34.4
	60歳～69歳 n=211	58.8	27.0	16.6	44.1	18.5	42.7	25.1	28.9	27.0	34.1
	70歳～79歳 n=245	64.9	25.7	26.1	40.0	13.1	50.6	17.1	28.6	26.1	32.7
	無回答 n=3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3
性別	男性 n=373	57.1	30.0	18.2	40.5	20.9	35.1	23.6	26.8	22.8	35.4
	女性 n=485	61.4	29.5	19.0	46.0	16.1	39.8	19.8	23.5	28.2	32.6
	回答しない n=18	33.3	11.1	11.1	16.7	22.2	27.8	33.3	16.7	0.0	22.2
	無回答 n=2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
県内居住年数	3年未満 n=7	71.4	42.9	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3	28.6
	3～10年未満 n=17	52.9	47.1	17.6	35.3	11.8	29.4	17.6	29.4	17.6	29.4
	10～20年未満 n=33	39.4	18.2	24.2	42.4	30.3	27.3	30.3	30.3	12.1	45.5
	20～30年未満 n=103	61.2	28.2	9.7	35.9	21.4	25.2	20.4	14.6	21.4	34.0
	30年以上 n=713	59.6	29.3	19.4	44.6	17.4	40.1	21.5	25.9	26.5	33.0
	無回答 n=5	60.0	40.0	60.0	40.0	20.0	60.0	20.0	20.0	60.0	40.0
県外居住年数	3年未満 n=360	58.3	31.1	19.4	42.2	18.3	36.4	19.4	25.0	27.8	33.9
	3～10年未満 n=197	58.4	28.9	17.8	45.2	17.3	40.1	20.8	21.8	16.2	28.9
	10～20年未満 n=95	60.0	32.6	18.9	48.4	29.5	29.5	32.6	33.7	27.4	38.9
	20～30年未満 n=50	58.0	32.0	14.0	48.0	16.0	32.0	30.0	24.0	24.0	40.0
	30年以上 n=58	60.3	17.2	22.4	48.3	15.5	44.8	20.7	19.0	19.0	29.3
	無回答 n=118	61.0	26.3	16.1	33.1	12.7	42.4	18.6	24.6	34.7	34.7
職業	学生 n=2	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
	自営業（農業・漁業等含む） n=93	62.4	32.3	16.1	45.2	18.3	38.7	21.5	31.2	31.2	38.7
	会社員 n=223	58.3	35.0	16.6	39.9	22.9	28.3	27.4	20.6	24.2	36.8
	公務員 n=72	54.2	26.4	9.7	51.4	13.9	31.9	22.2	22.2	18.1	23.6
	非正規雇用（パート、アルバイト等） n=149	53.7	26.2	18.1	43.0	21.5	43.0	17.4	18.1	24.2	33.6
	無職 n=300	61.3	29.0	22.7	45.0	14.3	42.0	20.7	29.0	26.3	31.7
	その他 n=37	67.6	8.1	18.9	29.7	16.2	48.6	16.2	29.7	27.0	32.4
	無回答 n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

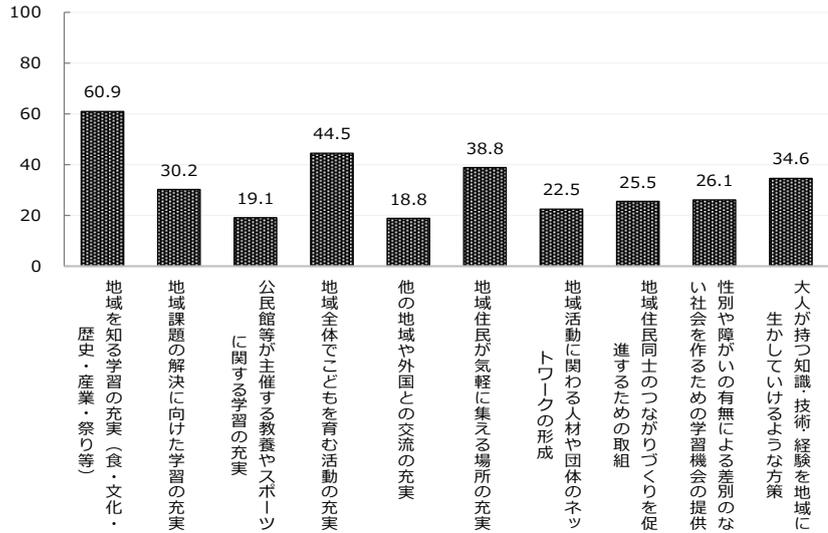
○図31 県教育委員会に期待する今後の取組（1）



※ あてはまる：  
「あてはまる」+「ややあてはまる」  
※ あてはまらない：  
「あてはまらない」+「ややあてはまらない」

問 15	項目	割合 (%)										
		あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない
(1) 暮らしやすい	あてはまる n=575	62.6	30.3	19.1	47.7	19.0	37.7	22.8	25.4	26.4	34.8	
	どちらでもない n=175	57.1	27.4	18.3	37.1	15.4	38.9	18.9	23.4	25.1	32.0	
	あてはまらない n=114	45.6	29.8	15.8	31.6	21.1	36.0	22.8	23.7	21.1	28.9	
(2) 友人や知人に自慢できる	あてはまる n=400	68.3	33.5	21.0	53.0	21.3	40.5	25.3	26.5	28.0	39.5	
	どちらでもない n=298	55.4	27.9	19.5	39.9	17.4	35.6	21.1	26.2	26.2	29.9	
	あてはまらない n=160	44.4	24.4	11.3	25.6	14.4	33.8	16.3	19.4	18.8	26.3	
(3) 自分とのつながりを感じる	あてはまる n=397	68.3	33.2	22.7	50.4	19.6	40.3	24.9	28.5	28.7	37.5	
	どちらでもない n=292	52.7	27.4	15.4	38.0	17.5	36.3	18.5	23.3	25.0	30.5	
	あてはまらない n=166	48.8	26.5	15.1	34.3	18.7	33.1	22.3	20.5	18.1	30.1	
(4) ずっと住み続けたい	あてはまる n=546	63.7	31.0	20.5	47.8	18.9	41.2	24.5	25.5	28.4	37.4	
	どちらでもない n=196	54.6	25.5	18.9	36.2	17.3	32.1	16.3	19.4	20.4	26.5	
	あてはまらない n=117	46.2	29.9	8.5	33.3	17.9	30.8	19.7	30.8	19.7	26.5	
(5) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい	あてはまる n=261	67.8	35.2	28.4	54.8	24.1	49.4	32.2	38.3	30.3	41.8	
	どちらでもない n=317	59.3	31.2	18.9	40.7	14.2	36.9	20.2	23.0	26.2	32.5	
	あてはまらない n=281	52.0	23.1	9.3	35.9	18.5	27.0	14.9	14.2	20.6	27.8	
(6) 地域のお祭りやイベントに参加したい	あてはまる n=350	65.4	35.1	24.3	55.1	24.3	42.3	28.9	31.4	28.0	38.3	
	どちらでもない n=276	62.7	27.2	19.2	37.3	15.9	39.1	19.2	22.5	25.0	31.2	
	あてはまらない n=232	47.0	25.0	9.5	33.2	12.9	28.9	15.1	17.2	22.4	30.2	
(7) 訪れる人を増やしたい	あてはまる n=467	67.0	33.0	22.5	50.5	25.5	38.5	27.6	28.9	27.4	37.0	
	どちらでもない n=266	55.3	28.9	16.9	36.1	11.7	39.5	16.2	22.2	24.8	31.2	
	あてはまらない n=128	40.6	18.8	7.0	31.3	7.8	28.9	13.3	15.6	20.3	25.8	

○図32 県教育委員会に期待する今後の取組 (2)



※ あてはまる：「あてはまる」＋「ややあてはまる」  
 ※ あてはまらない：「あてはまらない」＋「ややあてはまらない」

問16	項目	割合 (%)											
		あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまる	どちらでもない	あてはまらない
		n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	
(1) 地域に関するニュースは興味を持って読む	あてはまる	62.0	32.3	19.2	46.1	19.9	39.7	24.4	27.2	27.5	35.2		
	どちらでもない	47.1	16.3	18.3	35.6	8.7	29.8	11.5	16.3	12.5	26.9		
	あてはまらない	44.0	18.0	8.0	24.0	18.0	24.0	8.0	14.0	18.0	24.0		
(2) 地域を散策・観光することがある	あてはまる	68.7	33.6	20.6	48.3	21.9	42.4	24.6	25.8	26.0	36.6		
	どちらでもない	45.6	25.7	17.5	38.0	12.9	30.4	17.5	25.7	23.4	29.2		
	あてはまらない	44.6	20.5	12.7	33.7	13.3	30.1	18.1	22.3	24.1	28.3		
(3) 地域の文化施設を利用したことがある	あてはまる	64.4	32.5	22.4	49.1	20.8	43.6	25.2	26.5	26.6	34.9		
	どちらでもない	54.6	33.3	16.3	38.3	13.5	29.8	19.9	22.0	29.1	29.1		
	あてはまらない	48.6	17.3	7.5	30.1	15.0	25.4	13.3	23.1	17.9	34.1		
(4) 友人や知人に話すことがある	あてはまる	68.1	34.8	22.9	49.2	20.9	41.8	25.2	27.6	25.4	39.1		
	どちらでもない	56.1	27.4	15.7	44.4	16.1	33.2	21.1	22.0	28.3	29.6		
	あてはまらない	41.9	18.8	10.8	29.6	14.5	31.7	14.0	23.7	18.8	24.7		
(5) 地域のお祭りや催し物に参加したことがある	あてはまる	63.5	33.2	21.7	49.0	20.8	40.4	24.7	26.2	26.3	34.5		
	どちらでもない	61.9	22.9	16.1	40.7	13.6	39.8	20.3	25.4	22.9	32.2		
	あてはまらない	47.3	23.4	10.7	31.2	15.1	29.3	15.6	21.5	24.9	32.2		
(6) 近所付き合いがある	あてはまる	62.4	30.3	20.6	48.1	19.1	42.9	21.7	27.9	27.0	38.0		
	どちらでもない	54.9	29.5	20.7	42.5	16.6	36.8	23.3	26.4	25.9	27.5		
	あてはまらない	55.9	26.7	10.4	33.7	18.8	25.7	19.3	16.8	20.3	28.2		
(7) 地域の住民同士で、近所付き合い以外の交流がある	あてはまる	65.6	31.5	24.1	51.1	20.4	47.8	25.6	33.7	27.4	39.6		
	どちらでもない	54.2	26.9	17.9	43.9	17.5	38.7	18.9	25.0	29.2	35.4		
	あてはまらない	57.4	29.4	14.3	38.1	17.7	29.6	20.9	19.0	21.4	28.0		
(8) 公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある	あてはまる	66.1	33.2	31.8	49.5	20.6	50.2	27.4	34.3	26.4	38.6		
	どちらでもない	57.3	32.8	18.3	51.1	21.4	29.0	22.1	19.8	32.1	32.8		
	あてはまらない	55.9	26.3	10.3	37.7	16.2	32.7	18.4	21.1	22.8	30.9		
(9) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したことがある	あてはまる	59.7	31.5	25.5	50.0	19.1	49.0	29.2	36.6	24.5	39.9		
	どちらでもない	58.4	26.6	19.5	44.2	17.5	37.7	19.5	20.1	29.9	29.2		
	あてはまらない	59.3	29.1	12.8	38.5	18.2	29.5	17.4	18.6	24.2	30.8		
(10) 地域を訪れる人と交流する機会がある(仕事や地域のイベントなどで)	あてはまる	66.1	38.1	27.4	53.0	26.8	46.4	30.4	40.5	30.4	47.6		
	どちらでもない	59.0	27.3	23.5	43.2	20.2	41.5	25.7	26.2	32.2	29.5		
	あてはまらない	57.2	27.4	13.6	40.5	15.0	33.5	17.7	19.6	21.4	30.5		
(11) 地域の風景や自然、お店、催し物などをSNSに投稿することがある	あてはまる	71.6	38.2	24.5	52.9	27.5	32.4	31.4	26.5	24.5	43.1		
	どちらでもない	63.0	26.0	23.3	37.0	20.5	41.1	23.3	26.0	38.4	41.1		
	あてはまらない	57.0	28.4	16.8	42.7	16.7	38.0	20.2	24.7	23.9	31.3		

○図33 県教育委員会に期待する今後の取組 (3)

県教育委員会に期待する今後の取組について、全体では「地域を知る学習の充実（食・文化・歴史・産業・祭り等）」が60.9%と最も多く、次いで「地域全体でこどもを育む活動の充実」が44.5%となっている。

## 12.自由記述

問20 ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実に向けて、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

### 【教育】

- 地域課題の解決に向けた学習ではなく、クラス・学年でのディベートが有効なのではないかと思った。
- 教職員の質の向上。先生方の郷土愛がないと感じるし、高圧的なため、協力したいとは思わない。
- 青森県は育った所だから好き。現在、八戸在住、雪が降らない地域だからありがたいと思うが、子どもを育てる環境がよくない。歩道はガタガタ、ベビーカーを押しての移動が非常に悪環境。バリアフリーを進めていないのが分かる。街中だけ良くても、郊外はガタガタなのを見ていないのかと疑問に思う。子どもを遊ばせる環境がない。わざわざ、遠出して岩手まで行くことが多かった。箱物だけ作らないで、もっと市民の足元を見ていただきたい。
- 公共交通手段の充実、観光客の誘致、将来性がある企業誘致等について、小さい頃から「地元が栄えないと青森県には将来がない」ことを教える。今後、半島と呼ばれるところは、国から切り捨てられる！
- 幼保・小・中の教育の充実ため、教育費の増額と優秀な教師陣の確保(教育現場の働きやすさの改善)が急務であると感じる。早く立て直さないと近い将来もっとダメになると思う。
- 教育指導をする立場の方の指導力不足を改善して欲しい。県外や海外など在住の経験者の知識を活かし、青森の素晴らしさと愛着を今一度教育指導にフィードバックできるよう期待する。
- 医学部の生徒への給付金を増やして、医療を充実させて欲しい。
- 南部と津軽の対立をなくすような教育をしっかりして欲しいと思う。同じ県内でお互いを忌み嫌う時代は終わりにすべきだと思う。お話することはたくさんあるが、誌面が少ないのでこれくらいにします。
- 人と人の交流を。子育ては他人の協力なしには難しい。教育も同じ。インターネットはツールであり、過度に頼れば人との交流が少なくなる。これを子どもたちに伝えて欲しい。
- とにかく人口が減っていて、子どもは私が生きていた(こどもの頃)時代が違いすぎてビックリする。こどもの教育といっても人と接する時が少ないのでは？今の子どもたちはネット中心なのでしょうかね。
- 青森県は全国で所得が2番目に少ないところであるも、全国の大学の授業料を納めるには定額であることに非常に憤りを感じる。所得に応じた授業料にしてもらいたいものである。
- 教育する必要があります、愛着と誇りを持つための。
- 私は大学を出ておりませんがこどもの減少等が大きくなっている現在、なぜ教育施設(私立大学等)を増やすのでしょうか、経営に無理が出てきそうでこわい。確か国からも予算の配布があると思っていましたが。直接身になる教育施設が少ない。
- パソコン教育の充実→ITに強くなる→将来の就活に有利、高等教育には必須→青森の情報発信者になり得る。
- 誰もが偉ぶらず、ダメなものはダメと言える人間形成と誰をも愛する平和の心を持つ教育を、学校教育の場からやり直さなくてはならないと思う。
- 非常勤講師への待遇改善をして欲しい。各地区にもっと文化的な事業を発展できる拠点を作ってもらいたい。情操教育をもっとはぐくむために音美事陶芸などを指導できる教員を採用してもらいたい。
- ふるさと青森の郷土愛を育む、陸奥国の古代、近代の歴史文化の教育が必須。ふるさとを離れていく若者を食い止める。郷土愛教育の充実を！小、中学生から行って！私たちの年代には学ばなかった。そして大半が都会に出て行った経験を踏まえての意見。また、豊かな自然を守っていく教育、ふるさとの文化(農業、漁業)を守っていく教育の充実を！
- 教育の充実を図るには生活能力が必要である。そのためには生活するための費用が充実していなければいけない。子どもたちがこの弘前で生活していきたいと考えるようになるには大人が弘前が良いところだと思えなければならぬ。しかし雪国、高齢化となれば除雪は大きな負担である。特に朝、ブルドーザーの残した雪はとて大変である。こういうところから改善しないと人々は離れてしまう。
- 長い目で見ると、将来性を担うこどもの育ちが、とて大事だと思う。これは、とて長い時間がかかるので、長いスパンで力を入れることが必須だと思う。目先のことばかりに、とらわれがちだが、是非、一考を。
- あいさつの遂行。
- 子どもへの教え込み。
- 学校教育と社会教育の充実。
- 私がこどもの頃は、ふるさとへの愛着とか誇りとか考えたこともないし、興味もなかった。教育もなかったような気がする。こどもの頃からふるさとの文化、産業などに少しでも意識を向かせるためにも、小・中学校でも青森について話し合う時間を定期的に設けることはできないものか？良いことばかりでなく、他に劣るところも知る必要がある。
- 学校をとりまく環境にお金をかける。
- 日々変化する日常に対応できる社会や人材の育成。

- 社会的弱者に対する配慮や対応に関しての、サポート・フォローが必要と思う。チャレンジしたいことが、可能な限りできるような社会になってもらえれば、良い方向に進むのではないかと。押し込む教育ではなく、チャレンジや経験上から学ぶ教育もあるのではないかと。決して今を否定してはいない。
- 若い人たちが都会に流出しないよう働く場所を充実させることで、人口、こどもの数が増えて、より青森に愛着と誇りが持てるのではないかと。このまま人口が減っていくと、教育そのものができなくなるのではないかと。
- 津軽の見栄っ張り、足引っ張りのない、これからの教育が必要と思う。
- 私は自営業なので、土・日は参加できない。でも、教育というものは、やはりこどもであっても、相手から学ぶということが大切だと思う。これからもよろしくお願ひします。乱文で失礼いたします。
- 今は小学生から英語を授業として取り入れているが、私の世代としては国語力もままならないのに、英語を小学生に授業として取り入れるのはどうかとしたりしている。それよりも、青森（地元）を知る授業とかあってもいいかなあと思うのだが。青森を見直して、青森の良さを考えてもらいたい。
- いじめ・ハラスメント防止・性暴力をなくす・こころを大事にする・人生を良い意味で楽しめる・情報との付き合い方（ネットなど含め）・防災（ジェンダー、障害者の視点を入れたもの）・経済について・食育・介護について・気づかい・思いやり等の教育など、いかがでしょうか。
- 教育の充実はもちろんだが、その先を考えた活動。人口減少もあるが、自分たちの地域で育み、働ける場所があることが望ましいと考える。
- 食・文化・歴史・産業・祭り等に重点をおいて欲しい。特にこどもたちに伝えて欲しい。

## 【学習】

- 自慢の大自然や桜祭り、ねぶた祭り、岩木山などについて、もっと学習機会を増やして欲しいし、青森県を弘前市をもっともっと好きになるように知識を持って欲しい。自分も、仕事で地元を2年離れた時に特に実感した。
- DXなど今後需要が増えそうな分野の学習機会と学習場所の提供を、青森県主催で提供して欲しい。
- 他県の取組として、山村留学のような他地域から来た生徒・学生に対する交流事業があったりする。もし、外部の人間に知ってもらって、定住・移住を図るのであれば、そのような取組を行なってもいいかと思う。過疎地域に取り残されていく若者の支援も大事だと思うが、県内企業との関わりを小さいうちから持てるような取組を行なってもいいかと思う。
- こどもが小学生の頃、この地域について学習してさまざまなことを学んだ。自然や食べ物は素晴らしいがこの地域にずっと住みたいという愛着が湧いたということまでには至らなかった。ずっと住みたいと思うには、どんな年齢の人たちもどこから来た人たちも喜んで受け入れて一緒に活動していける地域づくりが必要だと思う。
- 他の国や地域の社会構造や問題、解決への取組などを、総合的に学習し、自分達ならばどうするか考える機会を多く持つ必要があると考えます。これにより、他の地域でもそれぞれに色々な問題があり、それぞれに、その地の人々が問題を解決しながら暮らしていることを知ることにより、逆に自分が暮らす地の良さを知ることができ、自分が暮らす地での問題は自分達が解決していくものだという主体性が生まれるものと思う。この時、例えば、先生以外の大人も学習に混ぜるといったことによって、自分の親や学校の先生以外の大人とこどもが意見を交換しあう機会を作ることは、大人こども双方の社会（社会性）を広げることに有効と考えます。こどもを取り巻く大人が広い知見を持たなければ、こどもが広い知見を持つことはできません。つまり、自分達の土地や環境の良さ感じることもできない。広い知見を持つことは、例えば、不登校児童の問題にもつながることと考える。
- 結局、地域の歴史の学習に行きつくように思われる。（特に、優れた人物についての学習）
- 問19で⑩と表示しましたが、公民館等で自分にできることをこどもたちに教えたり、一緒にできることを楽しんだりそんな社会になったら良いと思う。
- 近ごろ日本史を学び直す大人が増えているそう。理由として、自国のことを知らないで恥ずかしいから、と大人として教育を身につけたいからだそう。郷土の歴史を学び、郷土愛をもっと高めよう。
- 職場に新しく入ってくる子を見てみると「考える力」が足りないと感じる。こどもの頃から「行動に対する結果と責任」について教え、考える習慣を醸成することが大切だと思うので、参考にさせていただけますと幸いです。
- 日本語を話せるような学習が必要だと思う。
- 地域を知る学習をこれまでのように学校で取り組むと共に他地域との交流を進める。
- この地域は縄文文化が現代に至っている。この歴史ある文化、人としての営みをこれからのこどもたちに発進(教育)して欲しい。
- 農業が主の地域なので、仕事で使用で役立つ学習、資格の講座の場を無料、安価で企画していただければと思っている。
- 住んでいる地域の歴史をもっと深く知りたい。
- 青森県全体を知る取組を各自治体や教育機関で行い、自分が住んでいる地域以外にも目を向けてみる機会があればいいと思う。
- 大人がこどもたちに対し、地域の欠点ではなく魅力を伝えていくことが大事だと思うので、地域の人から地域の魅力を学ぶ学習の機会が多くあればいいと思う。
- 学校が地域の人材や団体とつながった学習活動を計画した際に、サポートしてくれる体制や予算。

## 【体験】

○幼稚園や小学校のうちからもっと地元の祭りや、弘前ならリンゴ収穫体験等、文化の体験機会を増やせば良いと思う。実際に体験する方が記憶に残るし、学びにつながると思う。

○県内の観光名所や工場見学などをするバスツアーなどがあると、楽しみながらふるさとの良さを知ることができるのかなと思う。私も実際に中学生の頃、社会科の先生が企画したバスツアーに参加して、身近でありながら知らなかった県内の食べ物の工場見学や、観光名所を巡ることができ、今でもとても強く印象に残っている。

○体験

○青森県外へショートステイしてみる。県外に住んでみて初めて青森の良さに気がつくことがある。逆に青森の不便さ、多地域の良さにも気付ける。多地域のいいところは取り入れて、青森の不便さをなくす。

○子どもたちの郊外活動を増やして地域に対する感性を養うことが大事と思う。例えば、公園・遊び場の整備、スポーツ設備、人材、歴史を知る機会など、ここにいて楽しい・安心だと思える体験をする。大人も子どもに、楽しい・美しい・美味しいという感動や体験・知識を伝えていくことが大切だと思う。大人が愛着を感じないと子どもに伝わらない。

○海や山などの自然の良さを知って欲しい。(身近にあるが、外に出てみないと気がつかないかもしれない) たくさんに伝統芸能や行事にふれる機会を作って欲しい。

○未来を担う子どもたちが、ずっと青森に住みたいと思えるように、自然の素晴らしさや食の大切さを体感してすごせるようにして欲しい。

○青森にもいい所がたくさんあるなあと感じるようになったのは、どちらかというところ「大人になってお酒が飲めたり、自分で好きなところに行ける(車)」ふうになってからの印象がある。(私もそうでした) 小中学生などのうちに、自然や文化などに触れる機会(体験)がたくさんあるといいのかな?と思う。

○青森県はとても素敵なふるさと。しかし、子どもの頃は良さを知り、考える機会が少なく、大人になってから良さを感じた。幼稚園から、高校、大学等まで一貫した体験、学習機会があると良いと思う。また、他県にある「大好きポケモン」等、若い人が興味を持つような話題や機会があると主体的にふるさとを知ろうとするきっかけになりそう。地域ごとに違う良さがたくさんある青森県の良さを、どの地域の人も理解し愛せたらいいと思う。

○さまざまな体験の場を設けて興味を持ってもらう。古い文化に触れて良さを教える(茶道等)

○学校の中だけで学ぶよりも、見学・体験等、実際に肌で感じる事のできる経験をするのが大切だと思う。(遠足、校外学習、ゴミひろい、除雪、売り場等) 五感を使う。(見る、きく、たべる、声を出す、汗をかく、楽しい、苦しい、大変、悲しい、うれしい等)

○子どもたちが体験できることがもっと増えれば、将来につながるのではないかな?と思う。

○小さい頃からいろいろな活動に参加したり、体験をすることが大人になった時ふるさと愛につながっていくと思う。家庭環境も考慮し、貧困世帯の子どもも平等に教育や体験活動ができるように配慮して欲しいと思う。学校では地域の社会見学や出張授業、体験教室などを充実して欲しい。子どもたちに良いアドバイスをしてくれる大人が学校や地域にたくさんいて欲しい。そういう人材を育てて欲しいと思う。

○子どもたちが在学中にこれまで以上にさまざまな体験ができるようなカリキュラムを作っていただきたいと思う。(農作業体験、介護施設や保育施設での体験、観光ガイド体験など)

○親子でいろいろ体験していけば良いと思う。

○小さな頃からの周知は必要だと思う。興味を持たせて持続させる。社会科見学や学習体験など、さまざまな人との交流も必要かと。語学留学やホームステイなど。

○小学校の時に体験した「クリーン大作戦」に参加したことを、今でも誇りに思う。あの時ゴミ拾いをしたことで、ゴミを捨てる(ポイ捨て)をするという気持ちにはならない。道端のゴミを見ると目立つ。捨てる人をなくす、ポイ捨てしない心を教育に入れて欲しい、少しでもきっかけになると思うので。

## 【子育て】

○「子どもたちを育てやすい」について、若い夫婦が県外の知人に自慢できる。そのような環境が必要。例えば、保育園や小学校に通わせてとても安心できる。学費的に安いなど。

○子どもたちを育てていくのはもちろんだが、今、子どもを育てている親世代から上の世代が愛着ある青森の魅力を発信できる人に変わってくると、より促進されると思う。

○職の充実と子育て世代に手厚い環境。

○小学校教育現場の職員の意識を変えることで、子どもたちはもっとのびのび育つことができると思う。

○厳しさも含めて、この地での生活を謳歌することが大事だと考えている。また、そういう人を紹介する機会も設けていただければ。

○子育てのしやすい地域になって欲しい。

○父母の社会的教育の基、子どもはふるさとを愛せる。

○不登校の子どもが、学校以外の場所などで安心して勉強できる環境があったらいい。学校に行けない子どもが年々増えていると感じたため。

○私を含めて津軽弁を使う人が減って、子どもたちは津軽弁を「知らない」ことになるのでは…県外からの先生方はもちろん「知らない」でしょうから、津軽出身の津軽弁達者な方に少しでも多くの津軽弁を子どもたちに…余計なことでしょうか。

○こどもの貧困、ヤングケアラーなど、目に見えづらい子どもたちの現状に目を向けた教育が温かなものであるようお願いしている。

○他人に思いやりのある心を持ち、人の痛みの分かる人間に育つ子どもを育て、ふるさと青森を大切にしたい。大人が持つ知識を使い、子どもに伝えることで青森愛が生まれてくるのではないでか。

○障がいのある子どもを持つ母、各学習会に出席したくても子どもを預ける場がない。受講時間帯預かってくれる場を設けて欲しい。福祉施設に通っているが「日中一時」を行っている事業所が少ないので1ヵ所でも多く行っていただけるよう、各事業所に対して補助金的・人材的支援をお願いしたい。

#### 【まちづくり】

○子どもたちが大人になったとき、地元に戻りたいな、子育てしたいなと思わせてくれるようなまちづくりをして欲しい。

○エネルギーのある町になればいい。いつもなんか頑張ってるね、という活気みたいなものは感じないので先が不安。

○住みやすい環境を整えば、そこからつながりなど広がっていくかなと思う。

○犯罪が多くなり過ぎた。理想は「ジャリン子チエ」の時代のような付き合いや、どんな人でも声を掛けられるような、そんな気さくさが「地元いいなあ」につながるように思う。実際難しいが。

○冬の市道など生活道路が、除雪作業が入らない事が多いので、通学路など子どもたちがとても危険で。安全に通学できるようにして欲しい。

○交通機関を充実させること。医療機関の充実。

○ねぶた期間や冬季期間は県内・外また外国人との交流ができる催し物を、頻繁に行って欲しい。

○若者が地元に戻って力いっぱい頑張れるような豊かで充実した働ける場所作りに尽力していただきたいと思う。地元でUターンできる環境作り。

○若い人が住みたいと思える地域になって欲しい。

○よい町にして下さい。

○今、仕事をしていて感じることは、昔からの学都なのに若い人が歩いていない。県外へ行ってしまふ、私もいずれ運転しなくなったらゾンビ化した老人の1人として街に溢れる一員なのかも…廃れた街を蘇らせるには常に観光客を呼び込めなければ（観光だけでなく、体験も含めて）それに対応するために、若者も一緒に外国語を気軽に安く学べる場所も欲しいし、図書館の移動型もあちらこちらに欲しいと思う。まだまだ学びたいし、動けそうだから。ただ交通の便は全く不便ですが。

○通学路の歩道の除雪をしっかりと、安全にみなさんが歩けるように、気づかいをお願いしたい。

○五所川原に住んでいるが、文化や芸術のイベントとか公演とか、すごく少ない。青森、弘前まで足を運ぶが、公演だけでなく、身近に体験できる場や施設がない。例えば、弘前はヒロロでいろいろな講座があり、青森も駅ビル、サンロードで。あきらめてはいますが、もう少し楽しんで暮らすことにチャレンジしたい。

○人口減少の中、鎧となる子ども（若者）も地元を去る。ますます地域住民同士のつながりが薄くなる。そのような中、地元で愛着や誇りを持つ人はいなくなるだろう。下北地方がいい例である。まずは町づくりを考えた方が良くと思う。

#### 【町内会・各団体での活動】

○夏は町内会の運動会等があるが、冬のイベントがない。近くの公園には通勤族の家族が雪ダルマ等を作りに来るが、除雪した雪を利用したカマクラ造り等のイベントがあれば良いと思う。合浦公園までは遠いから町内会で。

○子どもが小さい頃、町会の子ども会があり、折々の行事（クリスマス会・もちつき・バス遠足etc）や廃品回収など親子で活動していた。現在は少子化でまた子どもをめぐる環境が変わったからか（スポ少や習い事）そのような活動は見られなくなった。懐かしく思い出す。

○弘前の各町内に居住している人が、困ったこと、心配なことなどの相談は、町内会長さんや、民生委員さんがいると思うが、もっと身近に感じる方を配置させるのはどうか。

○町内会は高齢者だけになってきて、意見や考えた方が古い、頑固なことがある。町内イベントも高齢者向けの企画ばかりで、町内会費を無駄遣いしているときがある。青年町内会も作り、若い人たちの意見交換の場や、これから世代交代する前により良い町内を作る話し合いの場を作るべき。

○若い人は生活のために働くことを大事にしなければならず、老人とのつながりが薄くなっていく。少しでも生活が豊かになる方法を老人になれば考えたりする。ただ、住民同志のつながりと言っても、お金をかけたり、難しい勉強を望む人は少ないと思われる。たとえば、集会所に集まっても、昔はストーブを無料で使っていたが、今は有料となった。老若男女、楽しく、少しでも収入につながる作業をしたり、老人の手作り弁当で若い人に会食を呼び掛けたり、生活に役立つチーム作りをすると、続くかもしれない。（たとえば、畑にジャガイモやサツマイモを皆で植えて、イモ掘りイモ煮会とか、イモを皆で分けて持ち帰るとか）。昔のような青年団や婦人会、老人クラブ等をリーダーとして進める人がいなくなってしまった。皆さん生活に追われているように見える。リーダーになった人に研修をしてもらい、少なくとも賃金を支払うべきだ。

○私が現在住んでいる地域は、町内会で独自の行事を開催し、他地域からの参加も受けながら、とても楽しくしている。特に秋祭りでは多くの子どもたち、保護者の方々。  
○うちの町会は地域の小学校や中、高等学校のボランティアに助けをもらい、交流があるのでこれとても良いことだと思う。

#### 【地域】

○自然や観光だけでなく、暮らしやすさ(雪対策や都会の便利さ)が住んでいる人には必要だと思う。  
○どんどんお店などがなくなり、せつかく数年前に定住し始めたのに楽しめるどころ、行くところがなく、冬は除雪も来ないのであまり魅力を感じない。  
○自然・観光・文化・食などたくさんの魅力的なものがあるのに、人との関わりで「??」と思うことやがっかりすることが多く、もったいないと思う。  
○親が子どもに地域の良さを伝えることがほとんどない。私は3人の子どもを土・日になると、海や山に連れて行き、魚つりや山菜採りをしたものだが…。今の親はデパートや遊園地に連れていくことが大事だと思っているようだ。近くに素晴らしい自然があるのに。  
○子どもや孫に青森は(教育・仕事・食・文化・歴史・自然・福祉等の充実)良い所だよと伝え続けたい。  
○地域住民、高齢化が進んでいる。新興住宅が増えて、住民の方々の名前も分からない状態。いろいろな制約、守秘義務がある。どのように行動をとればいいのか分からない。乱筆、乱文お許しくださいませ。  
○楽しいこと、嬉しいと思えることを県や移住地域で感じ取れることを増やしていくと良いのかなと思う。

#### 【地域活動への参画】

○地域社会との連携が大切だと思っている。地元の企業や団体・自治体そして、学校と連携、協働し、地域の課題や魅力について学ぶ機会を意図的につくっていくことが必要ではないか。そうすることにより、実社会での経験を通じて、地域への愛着と誇りが醸成されると考えている。  
○子どもが小中学生のうちに、地域の活動に参画する機会を増やして、地域の魅力的な大人(積極的に地域のために活動している人)に会う機会を増やせばよいのではないかなと思う。例えば、子どもインターンや農業体験、もしくは地元の祭りの運営に携わるなど、何か中長期的な活動を通じて、学校の先生や親以外の地域の色々な大人に会って、経験・体験ができればよいのではないかなと思う。青森が好きで青森のために思って活動している大人から影響を受けたり、地域に関わる活動を通じて面白さや達成感を感じたりできれば、将来青森に愛着や誇りを持って貰えるのではないかなと思う。  
○東京で生まれ育ったため、八戸に来るまでは「青森県=未知の地」でした。実際に住んでみて、食文化や自然、お祭り等、八戸ならではの魅力が満載で大変気に入っている。自分の地元ではご当地と言えるものがなく、八戸で育ったらいろいろな経験ができて、楽しい幼少期を過ごせるだろうとうらやましく思う。地域とのつながりが持ちにくい(持ち方が分からない)から、これから生まれる子どもに、親もハードル低く参加できる方法があればとても嬉しく思う。  
○保育口、小学校時代に地域の行事に、積極的に参加するようなしくみを作る。見学、関連団体の講習会を開催。気軽に参加できるような声掛けが必要と思う。  
○他県出身で、小学生2人の親。私が小学生の頃は住んでいる地区毎に子ども会があって、夏休みや冬休みにお泊り会やレクリエーション会があり、今よりもっと人との関わり合いが多かったが、今は同じクラスでも顔と名前が一致する方がとても少ない。人との関わりが増えることは良い面も悪い面もあり、正解は分からないが、今の子どもたちは私が子どもの時よりさまざまな経験ができにくくなっているんだなと感じてる。  
○いろいろな活動があるが、参加しやすいのが良いと思う。申し込みしないとダメなものもあると思うが、たまたま行った買い物で、たまたま参加できたりとか。観光で来た人など、県外から来た人向けではなく、県内においても地元を知らない人向けとかがあっても楽しいかも。  
○問19の内容を実践することだと思う。8→7→2、1と実行できることが必要だと思う。私自身、そのような活動に参画したいと思う。  
○子育てが終わってしまい、PTA活動も卒業し、何かできることがありましたらお力になりたいと思っているが、なかなか出る場がないのが現状。

#### 【交流】

○住まいの市町村だけでなく、他の市町村との交流も大事かなと思う。  
○県内にいるだけでは気付かないことが県外、海外を見る又は交流することで発見できると思う。  
○私自身は高校生まで岩手で過ごし、大学4年間は東京で、卒業後仙台に就職し仙台で結婚し2010年に主人の仕事で八戸に来て今に至る。田舎・大都会・中核都市住んでみて、八戸に足りないと感じていることは、文化的に楽しんだり、学んだりする場所(コンサート・映画・スポーツ?)が少なく、楽しむためには盛岡や仙台まで出なければならぬところ。他の市や町ともっと交流して、閉鎖的から開放的になると、もっと世界が広がって愛着を持てくるのではないかな。  
○年をとっても人とつながれる公民館などでできるスポーツやレクリエーションを増やして、参加しやすくして欲しい。

- 外国との交流の充実をするために、町内にもっと塾が近くに有ったら良いなあ～と思う。冬に雪があると送り迎えができなくて。
- 若い世代が個人主義で地域活動やボランティアに参加しないこと、やってもらうことがあたり前になっていて、自分が与えることをしないこと、この辺が課題。子育て世代に国や県、市町村が与え過ぎ。やってもらうことがあたり前になっているように思う。ボランティアの精神を学んで欲しい。
- ある程度の常識的なルールは必要であるが、いつでも気軽にくつろぎ、誰でも参加できる「場」があれば良い。そこから青森を愛する取組が生まれれば良い。人の意見を聴き、皆で共有できるようにする。(人を批判する場を作らないこと。)
- 子育ての環境の大切さ、虐待について、プライバシーもあるだろうが未然に防ぐ事は難しいでしょうが、事件が起きてしまえば手遅れだ。地域に住んでいる高齢者の認知症の方がどうしたら良いのか、包括支援センターの利用をPRすべき。地域の方々のつながりを大切にする。
- 地域に暮らす大人たちがつながる場があって、やりがいや生きがいを持って仲間と楽しく暮らしているような、ロールモデルと出会わないから、この場所に生きること閉塞感を感じてしまうのではないかと思う。あと、いくらリンゴの産地、ホタテの産地といっても、親が食べる習慣がないと実感はないし、食べたことがない子も多い。給食で出したり、校外学習でリンゴ園へ行ったり、もっとそういう機会が必要だと思う。
- 少子高齢化で地域の行事、交流などが少なくなってきたので親も子も忙しい中でも参加できるイベント、学習プログラム、興味を引くようなものがあれば良いと思う。
- 年齢、性別を超えた交流を持つことが愛着につながると思う。さまざまな交流を体験する必要があると思うが、収入による体験格差を考慮もしていただきたい。地域の人材を使うことは良いことだが、ボランティアに頼ると先細るのでは？謝礼や給料が出れば応じてくれる方が増えると思う。年齢が上がっても働きたい方、働ける方はいると思う。
- 幼少期から、地域の方々との交流を持つ機会が多い環境が増えると良いと思う。

#### 【少子高齢化】

- 高齢者が多い、高齢者はあちこち身体機能低下している、障がい者と同じ、なのに出かけた先は不便が多い。集まっても集まる手段がない、祭り・イベントも行く手段がない。
- 地域課題、特に少子化の問題。
- 県内も高齢化、少子化する中でとても厳しい問題だが、何とか魅力あるふるさと青森を尽力下さいませ、切にお願いしたい。年寄で何もできませんが、頑張ってください。
- 少子高齢化による廃業、人口減少(若者の流出)これらの問題に対する対策が急務と考える。
- 少子化問題にもっと取組、子育て支援を充実させることにより、地域を盛り上げていけたら、もっと愛着と誇りを持てるようになると思う。
- 年配者にもっと仕事をさせて下さい。地域をきれいにするとか、環境をよくするための活動をさせて下さい。口よりも体を動かす年配者を増やす努力をした方が良いと思う。
- こどもはもちろん大切だけれども、今までの歴史を築いてくれた高齢者に対して優しさが感じられないのが今の政治状況だと思う。もっと人生の先輩方を大切にすべきだ。
- 少子化が進み、小学校の部活も数が減少。地域全体で運動ができるクラブチーム(団体)も少なくなりつつある。人数が少なくなっている小学校のまわりに楽しく活動できる施設をつくるなど、魅力をプラスすることをして欲しい。
- 少子化対策、人口増加を願う。

#### 【観光】

- 青森県内の祭り、自然等もっと海外にPRすべし。
- ねぶた祭り(青森市)の運営の見直し。市民から意見を聞くべきだと思う。実行委員会、コンベンション協会を開かれた会議にし、ねぶたの賞(審査)を市民も参加できるように。
- 青森県の祭りは、本当に他県よりもいい祭りばかりなので、誰でも参加できる(他県の人)機会がもっとあれば、そこに食・産業などが付いていくと思ってる。産業の発展、宿泊施設の充実や地域で働ける環境さえあれば人口も増え、愛着と誇りは、自然に身に付いていくと思う。
- 青森はねぶた祭りという素晴らしい行事がある。県内でもねぶた、三社大祭といろいろある。こどもの時(小学校から高校)までもっと参加させ、大人になってからも、この体験が心に残るようにして欲しいと思う。学校単位で参加するくらいしても良いと思ってる。ねぶた祭りなら、各高校ごとに中型ねぶたを制作してハネットとして参加とか。
- 青森県は温泉の数が多く聞くと、温泉が廃業しないように守って欲しい。酸ヶ湯の湯治文化も海外から注目されているし、温泉は生活に欠かせないものであるので温泉の維持管理に財源を使って欲しい。全世代の宝でもあるし、観光資源。温泉の重要性を教育できるようにして欲しい。

○県内各地にある観光施設の充実に力を入れて欲しい。特に観光地の宣伝やアピール面に欠けている面があるので、これを改善しもっと県内外・外国等にも宣伝・アピールを拡大していく必要があると思う。(私は弘前に住んでいるので、特に弘前城・リンゴ等)まず、青森とはどういうところかを知らなくては、青森を愛する心は育っていかない。豊かな自然、津軽のリンゴ畑、白神山地、津軽平野の稲作(南部の人は知らない)何より祭り、ねぶたは世界に誇る祭り(これも南部、八戸の人はあまり見に行かない)十和田湖、奥入瀬…逆に津軽の人は県南、八戸の漁港のこと、産業を知らないと思う。(三社大祭、えんぶり、美味しい魚、蕪島、白浜…)県外に出て行っても、やはり小さい頃からの学校教育の一環として、郷土を知ることとはとても大切なことと思う。しかし一番の問題は、優秀な人材が青森を出て都会へ出て行く!!「頭脳流出」これが一番問題だ。

○青森県に関して、国内外方々からいただく感想の多くは、圧倒的な自然の景観の美しさと、古い街並みについてのもの。20代の方々にも、この素晴らしさを伝える機会があれば良い。海岸線の複雑さ、車道からすぐのところにある水芭蕉の群落、木組の民家が立ち並ぶ通り、リンゴの花盛りの農道など、誇れるものがたくさんある。

#### 【経済】

○若者の定住を促すため、ある程度高収入の職場の確保。

○高校を卒業しても若者が働ける場所が少ない。雪国でも快適で楽しい環境づくり。

○労働力不足は目に見えて深刻になっています。これからの経済等の活力アップを支えるのは外国人の方々の力にかかっていると思っている。会社・個人単位での外国人との交流や相手国の言語や文化についての勉強会的な物を作って、もっとお互いを深めていった方が良い。

○世界に誇る農林水産業が青森県にはある。しかし、1人当たりの所得が少なすぎるといませんか？貧乏県を脱出することが、愛着と誇りを持つことだと思いませんか？朝から夕方まで休みなく働いて、ボロボロの家と愛車は軽トラック…しかたなく生きているような…それで誇りだのと？あるわけない。

○物づくり(農業も水産業も林業も、伝統工芸などなど)は、尊い仕事だと思ってもらえるようだと続いていくのでは。自信を持って、誇りを持って、収入面を。

○県民の個々の所得が上がっていけば、心豊かになり、こどもにもおのずと愛着と誇りが持てるようになっていくと思う。

○こどもたちが自分に合った特技が見つけれられる、将来それが県内で身になる仕事がある青森県であって欲しい。

#### 【企業】

○高校卒業後、大学卒業後に県内に就職したいと思えるような企業がもっと増えて、給料も安定していれば青森から出て行く若い世代が減るのではないかと思う。青森に愛着と誇りを持っていても、まともな企業、働きたいと思える企業がなければ意味がないと思った。

## 【県】

- 若い人たちが県外に出ていくのは、魅力ある仕事が多く、未来に希望がもてないからだと思う。青森県は好きだし、魅力は充分伝わっていると感じる。青森県をもっと魅力的な場所にしようとする若い人が増えることを願っている。
- 学校教育(青森全地理についての勉強) 青森に(県・市・町・村)。県だけが盛り上がっていて市町村は盛り上がっていない。県政だけが良くても市町村にも力を入れてもらいたい。教育に。
- 青森県の遺跡巡りが好きだ。

## 【市町村】

- 平内町のいいところは、保育料が無料なところ。待機児童がない。感謝。
- 三沢市は他の市町村に比べて何もしてくれない。道路ばかり直して市民のために何もお金を使ってくれない。
- 人口減少の改善策。どのように考えているか。何年後には高齢者だけの市になるのが目に見えて分かる。税収も減ることになるだろうし。むつ市に未来はないと見ている。このままではむつ市は破綻するでしょう。いくらどんなことに力を入れようが無駄金。若い方はこんなところに居る必要なく、どんどん都会で仕事をした方が身のため。大学作っても何の意味もなし。もうあきらめるしかない。こんなむつ市は。暮らすところではない。
- 村対抗の運動会などやって欲しい。
- 私の住んでいる町はついに高校もなくなった。かつて町内に小学校は5校、中学校2校あったが、現在は小学校1、中学校1だけ。スクールバスの運行もあるが、部活などで時間が合わない生徒は、遠い道を暗くなってから歩いて帰るのを見かけると胸が痛む。親が送り迎えしてくれる家庭ばかりではない。たとえ1人であっても自宅まで送り届けてくれるようなことはできないのか。また、高校の統廃合は地域を衰退させるだけだと思う。
- 大きな市でやるようなイベント等を、町、村で小規模な形ででも開催していただけると、嬉しい。地域の活性化にもなるし、こどもや大人のいろいろな経験にもつながると思う。
- 八戸って…田舎だけど、何もないけど、雪も少なく、住みやすく、便利で、と伝えたい。県内外、国外の方が来てみたいって思うにはどうすればいいかなと考えている。何かないかな?考え中。
- 小、中学生の遊ぶ所がない。天気が悪い日や冬など遊び場に困っている。三沢市は、補助金が少ない。他の市町村との差がある。
- 弘前に長年住んでいる。四季がはっきりして自然環境にも恵まれており、文化芸能においても、レベルの高い市民がいるところだと思う。ふるさとを誇れる十分な施設もあり、発表の場もあり、住み込みの良いところあるが、若い人たちの娯楽施設がないような気がする。

## 【地元愛】

- 食べるのも大変な家庭があるかと思うが、地域や各団体等との関わりにて、みんなで支えていけたら、地元愛も高まるのではないかと思う。
- 他県や海外からの評価を知ることによって、改めてふるさとの良いところを知り、再確認ができると思うので、意見を聞く機会があれば郷土愛に気づけるのではないかと思う。
- 近くにスーパーやコンビニもなく、バスもあまり走らない決して便利な地域ではないが、住民同士のつながり、人の温かさが感じられるのがわが故郷の強みだと思う。小学校時代、近所の人々が皆、家族のような距離間で接してくれ可愛がってもらった。昨今なくなりつつある大切なつながりだったと、アンケートを書きながら思い出した。
- 私の町の公園にある馬の像が素晴らしい。もうちょっと木を取り払って見えるようにして欲しい。歴史あるものだ。
- 青森市内から嫁いで35年、住めば都! 青森市内に居るより佐井にいる方が長くなった。もちろん、機会があれば青森のおじさん・おばさん・友達に行きますが、やはり自分が住んでいるところが1番だ。不便な所はあるがね! こどもたちには、青森と下北(佐井)のハーフだと言っているがね! 方言も今だに抜けないくらいに。青森県内で良かった☆
- 何事もやってみて、良ければ続けていけばいいし、ダメなら変えてみればいいと思う。青森が良いふるさとだと皆が思えるように考えるチャンスをどんどん作って下さい。
- 県外に出ないと比べることができないと思う(進学、転勤、観光?など)。親の介護で戻ってきたが、いろいろな面で全国との差を感じる(賃金、教育、物価など)。私が若い頃は青森が嫌だったが、年齢を重ねるにつれて愛着が出てきた。ある程度、経験、年数を積まないと良さは分からないかも・・・。
- 一旦、ふるさとを離れて、外からふるさとを見る機会があれば、見聞が広がるものと推測する。(必ずそうあるべきだとは思いますが・・・)
- 若い時は分からなかったが、年と共に住みやすいと思った。冬は雪で大変だが、あとは生活するのにいい。
- 青森愛に溢れている方々に意見を聞いてみてはどうか。
- 「地元愛」と「誇り」を持った両親で、いつも言葉にして感激・感動していた。こどもの頃から聞いていたせいか、私達姉妹も「地元愛」と「誇り」が強い。言葉にすることの大切さを感じている。

○こどもが「親や地域の人に大切にされた」という体験を沢山することが重要ではないか？自分が大切な存在であることを実感すると、大切にしてくれた人を好きになり、その人の背景のあるものに興味を持ち…と、やがて青森愛につながるような気がする。

○人間関係を築くことが難しい昨今だが、上が、声の大きい少数意見に振り回されることなく、ブレない指針を持ったほうが良いと思う。私は弘前が大好きで、とても誇りを持っている。ちょっとだけ昭和の感覚を取り入れたら全ての機関が良くなると思う。

○青森県は自然が多く食べ物も美味しく、きれいな場所もとても多くある。若い頃はそういう良さがあり分らず興味もなかった。もったいないなあと自分自身で感じることもある。これからの若い人たちには、もっと楽しみながら地域のことを知って欲しい。

○社会人になって、奥入瀬溪流が日本を代表する場所であることが分かった。そのようなことから、青森県の自然環境についてこどもの頃から育むことが大事であると思う。

#### 【移住・定住】

○青森が特別なものでもなく、全国に比べても定住するための材料が少なく現状を変えるのは難しい。

○青森が好きで単身で移住した。その後、こどもも出来、青森の教育環境がより良くなることを願う。

○移住して来る人がもっと増えれば良いと思う。

○青森県内に住み続けられる定住率を上げるためにも、県内にある企業PRイベントを積極的に行うと良いかも知れない。歴史・伝統を引き継いでもらうことにも必要だと考える。

#### 【空き家問題】

○地域に空き家、空き地が目立つ。荒れ放題で放置されているようで実に良くない。いろいろな観点から対策、改善が必要と思う。

#### 【県民性】

○青森県貧乏な人が多く国民性が低いと感じる。自分のことしか考えない県民性。他県に住んだ時、自分や周りがどれだけ意識が低いか思い知らされた。

○青森は土着の地元民つながりの内輪で固まって外様を受け入れない体質が強く、それが発展の邪魔になっている。(私もさんざんやられた) もっと開けた形を作ることが、全ての解決へつながると思う。教育委員会の方々も課題が多くて大変だとは思う。これからも頑張ってください。

#### 【伝統・文化】

○祭りや伝統文化の体験はこどもの頃に体験する機会がたくさんあった方がいいと思う。大人になってからは敷居が高いイメージがある。少しでも体験することで記憶に残ることがあると思う。

○こどもの頃、えんぶり組のある地域に住んでいて「えんぶり休み」があった。また、体育館でえんぶりが見れたり、同級生が組に参加していたりと、地域のことと触れ合う機会が多くあった。大人になってから、(あれはとても貴重な体験だったな~)と思うことが多くあった。現在住んでいる地域は私から見ると閉鎖的で、伝統芸能を地域に広めるという気持ちは見られない。こどもたちを巻き込まない限り、大半の伝統芸能が消えると思う。ぜひ、こどもたちを巻き込んだ伝統芸能の活動をして欲しいと思う。

○「伝統」がテーマの1つと考え、芸能とか工芸品、食、など次の世代へ継承していく取組。

○黒石市では市長が「黒石よされ」に力を入れており、公民館・地区協議会でもその方針を基に協力しようとしている。学校の校長先生、教頭先生にもお願いし、よされの練習も行うようになった。学校によってやや温度差があり、実施するところと実施しないところもあったので、県の教育委員会が力を入れ、各教育委員会や学校にも早急に伝わるといい。参加に関しても先生方の協力があれば保護者・こどもも参加が増えると思われる。小さい頃から自然と慣れ親しみ、それが青森を愛する心の醸成につながると思う。

○将来を担うこどもたちへ伝えたいことは、青森の言葉、祭り、雪国の知恵など。今後、ますますAIが発達していく中で、うまくそこと付き合っていければ、青森の色がうまく残せるのではと思った。県内、各地域に住んでみて思う事は、やはり「祭り」は人と人との絆を深めてくれるので、住んでいる地域の祭りに携われるような経験を、こどものうちに積んでおくことは、重要なかなと感じる。ふるさとへの愛着が強まる気がする。

○方言が分からない人が多いと思うので、方言を大事にして欲しい。知事が標準語なので方言でもいいと思う。食文化も若者に大事にして欲しい。(もつ、じゃっば汁等)

○県内の市町村には昔から代々伝わる大小のお祭りがあるようだが、社会人になってから知った獅子舞の迫力に魅了されたこと、なぜか思い出した。獅子舞には特に、愛着を誇りを感じる。

#### 【公共施設】

○教育(文化)で、囲碁・将棋のできる、公共施設を作ってもらえれば幸いだ。年寄りも若者、こども達と一緒に参加できる場所。

○冬にこどもたちが遊べる施設が少ない。結果、自宅にいてインターネットやゲームを多くしていると思う。

○駐車場を避け、天気、曜日に関わらずに、誰でも遊んだり、お茶を飲んだり、ちょっと寄れる場所が欲しい。市街地までバスを通す（小さなワンボックスカーで乗り合いが良いと思う）便数を多くする。コミュニティセンターを開放して年寄りの方でも語らいができるところが欲しい。そこへこどもたちが帰って来て、笑いが聞こえるような場所が理想。

○青森県における生涯学習をなお一層振興する観点で、県立博物館の設立を提案する。本県の魅力の源泉は県名も表す豊かな自然です。それが縄文遺跡群などを源流とする本県の歴史・伝統・文化を培い、一部は世界自然遺産にも登録されている。その独特な自然について学べる場は、学校教育を終えた県民でもよく探せば県内各地に点在している。しかし、県全体を俯瞰して総合的に且つ深くとなると、どうか。この自然豊かな青森県にこそ大学院と同等レベルの県立自然（史）系博物館があればと願う。立郷土館を発展改組しても良い。県内の貴重な自然系データベースを扱える国内外の高度人材（教員・研究員・学芸員らの交流・連携が鍵）が集う県独自の拠点があれば、生学習者への啓蒙を通して青森愛の醸成を大いに助けることが期待される。また、波及効果として、発信される動植物等の自然情報を活かして、本県の農林水産業をはじめとする各産業の育成環境と自然との調和のとれた発展・持続性にも貢献することだろう。したがって、県立博物館の設立は、青森県が未来も自然豊かであるための有意義な教育投資になると考える。

○こどもたちや若い人たちが使用する遊具やスポーツ施設がないに等しい。冬に特にない。弘前の運動公園、それから地域の公園にも遊具がほとんどない。

○こどもたちが遊ぶ施設がなさ過ぎる。

○（こどもと遊びの施設、コミュニケーションを取れる施設）が欲しい。

○スポーツセンター（体育館）を増やして欲しい。

○地元民がもっと地元の施設を使いやすくする取組を増やして欲しい。※市民だと格安、無料、こどもがいると格安など。

#### 【情報発信】

○青森県は、太平洋・大西洋・陸奥湾と海に囲まれている特異な県。県挙げて、県外へアピールをしていく必要がある。また、食べ物も美味しいし、特徴のある居酒屋もある。そういったことを、発信していく必要があると思う。

○青森は、山も海も食！全てある！春桜、夏海、秋紅葉、冬スキー、食最高！空気も良い！夏過ごしやすい！それを活かした活動をするとうまいのではないかと。県外の親戚のこどもにマグロを食べさせた所、神奈川に帰ってからマグロ違う！と食べなくなったと聞きました。それぐらい青森は、食べ物も美味しい。

○県外からの視点を生かすこと。

○各市町村の良い所（季節のイベント、産物等）テレビ、広報紙を活用、発信することが、青森の良さを伝えるに大事だと思う。それが全国に広がっていくと思う。

#### 【SNS、Webサイト】

○X(旧Twitter)で青森のイベントや季節の情報をまとめてくれている方がいて、いつもその方の投稿から情報を得ている。そういう情報をもっとたくさんの方に見てもらえれば興味を持つ人が増えると思う。青森の情報をまとめるアカウントなど作ってはどうか。

○「はちのヘヒストリア」のようなWebサイトの活用。

○海外の方たちが青森県内の旅行先は日本人と選ぶ場所が違って、こういうところを魅力として感じるんだなと思うことがある。インスタなどを使って、こういう情報発信されたいかと思う。

○スマホでのSNS使用は、満18才未満は使用禁止にした方が良く考える。こどもたちの教育のため。

○以前、手話講座を受けたことがある（市で開催している？）が、更に学びたい人、スキルアップしたい人がいるのに学ぶ情報源が少なすぎる。ソーシャルネットワークを活用して発信するべき。

○小・中学校の頃、東北町（旧上北町）に住んでいたが、その地域では町全体の運動会やマラソン大会、卓球大会、レクリエーション大会（球技：ドッチボールやバッドで打つのではなく、サッカーボールを蹴って行うベースボールなど）お祭りのほかにさまざまなイベントがあった。更に（前記は地域ごとに競い合う）その地域内でも運動会があったり、こどもから大人まで交流する機会がたくさんあった。その中で、大人たちが大切にしている町のことを、こどもながらに学んでいき、更に学校では青森県のことも学んでいくため、自分たちが住んでいる県が好きになっていく土台となったと感じる。また、自然を守るため、県を育てるため、清掃活動やゴミ拾いなどのボランティア活動も結果的に、自分たちも県や自然のために何かできることをすることで青森県を大事にしたいという気持ちを育てることにつながると思う。大人の場合は今はSNS、ネット時代なので、今の紙情報にプラスして、検索に引っ掛かるように発信することが大事だと思う。県のSNSで小さな話やどうでも良い話などでも良いので、常に投稿を募ってみたりして、そのSNSがじわじわ話題になれば県内外にじわじわ伝わっていくのでやってみては？

## 【アンケート調査】

- 私は現在19歳だ。この調査は20歳代～の県民を無作為に選んで行っていると伺っている。私は今年度、20歳になるので抽出されたのかも知れないが、仮にそうだとしたら問2に19歳が存在しないのはいいかなものかと思う。そういった選択肢がないからどうこう言いたいわけではない。こういった公が行っている調査がこうも適当でいいのか？と言いたい。こうした細かいところも綿密にやっていけるかは青森県の発展を目指す上で非常に大切だと思う。もう少ししっかりとやっていただきたい。
- 純粹に青森に愛着と誇りを持って人が方向性を決めれば良いと感じる。決定権者が実施したいことに対して意思がないからアンケートを取って県民に聞いてそれを実施するなら誰がやってもいいと思う、青森独自の施策を実施して欲しい。
- 各地域の人たちとの交流しながらそれぞれの課題について考えたり、話し合ったりした方がいいのではないか？こういうアンケートを書くたびに思う。現場に行くことが大事だと思う。
- 全国に青森の良さを広める。このアンケートで何を求めているのか不明。こんなことを外部に委託して税金の無駄遣いだ。

## 【その他】

- 良いところは誰でも言えると思う。他県と違う所で足りない所や他所を認める、受け入れることも頭がないとつながりが希薄で固定観念だけが強く残りいろいろなことが狭く感じる。
- 今まで以上に、魅力ある故郷になるようにして欲しい。
- やるだけやってくれていると思うので、あと皆さんの評価なので焦って違う方向に、向かわないことを祈る。が、どうしても邪魔ものが、出現する世の中、それがイメージダウン!大きい、なかなか消えない。良いことは、忘れる。人間の気質あるかも、信望強く継続は力なり、パーツと桜を咲かせましよう。
- 宮下知事の政策に理解のある方に、市町村の首長になってもらいたい。
- 何も期待していない。
- こどもが「いなかだから」と嫌いにならないように、古くさい考えより新しい意見をどんどん取り入れて欲しい！（前例がないから…等にとらわれすぎだと思う）
- 意見は違いますが。朝ゴミ出し時、中学生に会ってもこちらから挨拶の声掛けしなければ、返す生徒もいれば無視の生徒も。本当にいつからなのか寂しく思っている。
- 教育委員会の皆様の思考、対策での行動がすごく強く、心に感じた。私の場合、こどもも孫も成長してしまった。けど、これからの充実した生活、環境に誰もが関わって行く上、気持ちと心で協力して行きたい…そう思っている。余計な言葉、申し訳ありませんでした。
- 太陽光発電の害について、正しく発信して欲しい。景観が悪くなるのもだが、パネル作るために出されている二酸化炭素量など問題しかない。20年後には、ゴミになり、放置されているのが見えている。
- 地元に限らず県内の事を知る機会が少なく感じる。小さな町ほど大変なのではないか。市内での催しが多く、出かけるには時間もかかり難しいのが現状だと思う。それらのことがもっと便利になればと思っている。
- 頑張ってください。
- good
- 県内であまり知られていない重要な歴史が多くあることを知ることがあった。そこで興味が出て、もっともっと知りたいと思った。
- 美しく感じられる環境を増やして欲しいと思う。道路を整備され、他県の方が気軽に訪れて、美しい海や山々、住んでいる方の居住地が花などで飾られ、清潔な所であれば心安らぐ自然な庭園に魅了されるのではないか。
- 予算がなく、やりたくてもできないということにはがっかりだ。（聞くところによれば）
- 委員会、講事内容を、公開すべき。運営予算は貰うが口出しするなはおかしい。運営予算の原資は、われわれの税金だ。
- 生業一ふるさと青森に愛着と誇りを持つため。
- 他の活動を教えて欲しい。情報など。
- 一次産業の重要性をもっと推し進めるべき。AIとか使って進めるべきだと考える。
- 藤崎のリンゴのアピールをして欲しい。
- 集会に参加したくても、交通手段がないのでなかなか参加できないこと。
- 行政のトップである役所自身が「閉鎖的」に感じらる。何も無いことが良いこと？全てのことが「お金」がないで終わってしまう。トップの能力次第で変化ができるのでは？議会も同様と思う。
- 孫のことだが、はっきりした理由がある訳ではないが、たまに、学校に行きたくない！と休んだりする。本が大好きで、ゆったりと好きな本を読んでいる。そんな時、学校の一部屋で自由に静かに読書できたらいいなあ…と思う。図書館大好きだ。
- 生活に余裕がないと、愛着とか誇りとか考えることもないのではないか？だから人口が減るのでは？理想ばかりの政策では結果が出ないことは、過去の実績を見れば分かるはずだと思う。
- ・ブルーインパルスならぬ、ホワイトインパルスはとても興味深く、雪国ならではのもの。カッコいいと若者も思っているはず。何かヒントになればいいが… ・青森出身のタレントさんの活躍とか…。
- 教育委員会の活動内容など、よく私は分からない。どんな活動、どの範囲での内容など分かればよいと思う。民間と市が、もっとスムーズにいけば良いと思っている。教育に限らないけれど。文章がうまくないので、すみません。

- 青森がいい！なぜ？一落ち着く・楽しい・和める・いやされる・美味しい・きれい・温かい・優しい・幸せ・充実・リラックス（安定）・満足。何が？一人・自然・食・生活環境・時間・利便・治安・保護・公共・理解・敬愛・工夫・整備、求められるものをいかに充実させるか。
- 社協のケアマネが私の妻に手を出した。（私の妻はうつ病だった、軽い）それを全員で隠した。（2人の人は味方をしてくれた）近所の人も知っている。名前はF。
- （お米大使イラスト）
- 「対象者死亡によりアンケート調査へ参加できません」の記入あり

【なし】

- 特にない（4）
- なし（2）
- 親の介護で帰ってきたため、特にない。

## IV 考察

### 1 調査結果から見る「地域への愛着と地域活動」に関する考察

八戸学院大学 地域経営学部 准教授 井上 丹

#### はじめに

2024年、まち・ひと・しごと創生法が施行され、地方創生の取組が本格的に始まってから10年の節目を迎えた。内閣官房の「地方創生 10 年の取組と今後の推進方向」では、人口減少に歯止めをかけ、東京圏への過度な一極集中を是正する目標の実現に向け、我が国全体で戦略的に挑戦するとともに、人口減少下においても、希望を持って住み続けることができる持続可能な地域づくりを進めるため、従来の取組を超える新たな発想に基づく施策を検討・実行していくことで、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現する社会を目指すことが重要であると言われている。

コロナ禍以降、テレワークが普及し、東京圏から地方への移住も増えてきており、各地方自治体でも移住・定住政策に力を入れており、青森県においても、特に若者の地元定着を目的とした政策が進められている。都市部から地方への移住は期待したいが、移住したいと思える地域になるには、まず地元県民が住み続けたいと思えるような地域にしていかなければならない。前段のように多様な生き方が求められる地域社会においては、学校教育や仕事だけでなく、自分自身がどのように地域と関わっていくべきか、つまり地域に対してどのような意識でどのような行動を取っていくべきかを考えていく必要があり、地方自治体としても行政サービスとして、その考える機会をいかに創っていけるかが持続可能な地域づくりにつながる。

本稿では、青森県教育委員会が実施した青森県への意識と行動に関する調査結果と、地域活動がどのように結びついているのかに焦点をあて、青森に愛着と誇りを持つ教育の充実に向けた施策の方向性について考察する。

#### 1 いつどのように愛着をもつのか

##### (1) 「愛着」とは何か

まずは「地域への愛着」とは何かを定義したい。愛着には大事に思う、大切に思う、守りたいと思うという意味があるが、問11の設問では「好き」という表現を使っている。好きとは個人的な感情であり、特に具体的なことがなくても持てる郷土愛だと言えよう。ちなみに問9では「気に入っている」または「大事にしたい（誇りだ）」と思うものという表現を使っている。これはその後の選択項目にあるような、住んでみて知ったことやわかったことがあって感じるもので、近年ではシビックプライドという言葉があるように、自分自身だけでなく地域の具体的なことやものと一緒に感じることで考える。今回の調査では多様な回答項目があるため、人によって感じ方は異なるという前提ではあるが、住民が地域を構成する要素（具体的でも抽象的でも）に対して「好き」という感情を持てば、それが地域への愛着と言えて、多くの人と同じように感じられれば地域の良さや魅力につながっていくものと定義する。

問9で「豊かな自然」(56.5%)の次に多いのが「伝統的な祭りや伝統芸能」(51.0%)となっている点に注目したい。属性別にみると、「中南」と「三八」地区では最も多くなっている。年代で見ると「20歳～39歳」「50歳～59歳」が最も多い回答である。この点については次章から述べ

る考察においてもポイントになる「地域のお祭りやイベント」に関係する要素であり、詳細な回答は得られていないが、同地域を代表する祭りと言えば、弘前ねぶた祭と八戸三社大祭があげられる。問 10 において、誇りに思うときに多いのは「自分自身が見たり、体験したりしたとき」とあるため、祭りに参加している人は、誇りに感じる割合が高いと推察される。

問 11 の愛着度については、「好き」と「どちらかと言えば好き」が合計して 87.1%となることから、愛着を感じている県民が多いことがわかるが、「どちらかと言えば好き」の方が若干多いため、強い愛着とは言えない。人によっては微妙な差かもしれないが、この違いには人の意識に大きな差があると感じたため、次章にて詳しく分析する。

## (2)愛着を持った時期と理由

まず回答者の属性について、住んでいる地域や性別は偏りが無いが、年齢については 60 歳～69 歳 (24.0%) と 70 歳～79 歳 (27.9%) の合計が 51.9%と過半数になっており、居住年数も 30 年以上が 81.2%と圧倒的多数となっている。青森県の少子高齢化の現状を踏まえるとこのような結果になることはやむを得ないが、問 13 で最も多い理由が「住み慣れているから」(52.1%) で次が「育った地域だから」(30.3%) という結果論になっているような、ある程度の偏りが発生することに留意したい。

問 12 の愛着を持った時期については「社会人になってから」と「いつの間にか何となく」が合わせて 69.6%となっており、学生時代の割合が低い。同様に問 13 の愛着を持った理由でも「家族からこの地域の良さを教わってきたから」(5.6%) 「学校でこの地域の良さを学んできたから」(4.7%) が低い。今回は 60 歳以上が過半数を超えており、学生時代の記憶がどこまであるのか定かではないが、その世代が身近な人たちから良さを伝えられていない、学生時代に地域に愛着を持てるような機会がなかったとなれば、結果として愛着を持たずに県外へ流出した層が一定数いたと考えられる。これは、青森県内の社会流出結果 (図 1) を見ても、2024 年から 46 年前の 1978 年から 1990 年頃まで社会流出が多く、ちょうど 60 歳～79 歳が 20 歳代 30 歳代の頃であるため、時代背景の影響はありつつも、地域への愛着が低かった可能性は高い。

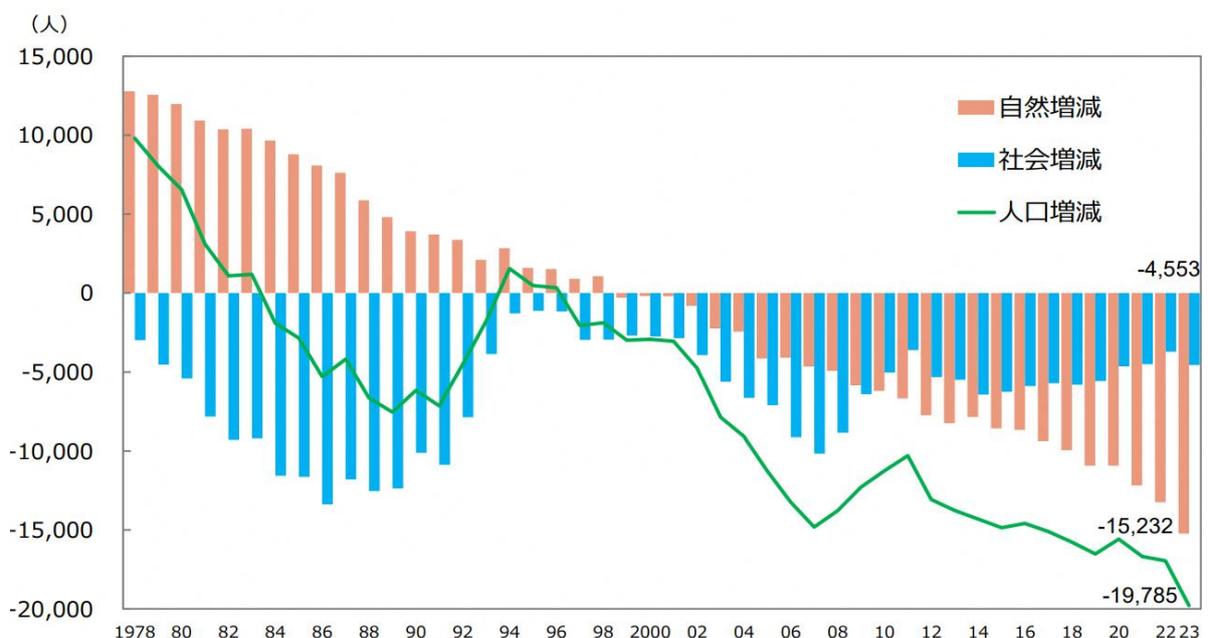


図 1 青森県「人口移動統計調査」

一方で回答数は49人と多くはないが、問12の「20歳～29歳」では「小学校の頃」が14.3%、「高校生の頃」が10.2%と多世代に比べて高い結果となっている。また、問13の「20歳～29歳」の属性は、「学校でこの地域の良さを学んできたから」が12.2%と高い数値になっている。約20年前から始まった学校での「総合的な学習の時間」の導入により、学校教育の中で社会や地域と関わる機会が増えたことから一定の成果が表れ始めている可能性が考えられる。その後も2017年度から学校運営協議会制度が始まり、地域と学校の連携が強化されたり、青森県教育庁では2022年度から県立高等学校において総合的な探究の時間に「あおり創造学<sup>1</sup>」の導入を進めたりと、現在の子どもたちは地域に関わる機会が増えてきており、地域への愛着については今後の成果が期待できる。

## 2 地域活動と愛着の関連性

### (1) 地域に対する意識と行動について

まず、問15の「(5)地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい」「(6)地域のお祭りやイベントに参加したい」と問16「(2)地域を散策・観光することがある」「(3)地域の文化施設を利用したことがある」「(5)地域のお祭りや催し物に参加したことがある」にはクロス集計結果から相関関係があり、意識があるから行動しているし、意識がなければ行動もしていないという二極化状態だと言える。

しかし、問16の(7)～(11)については、意識があっても行動しているとは限らない。問15「(3)自分とのつながりを感じる」が「あてはまる」層は「(3)地域の文化施設を利用したことがある」「(5)地域のお祭りや催し物に参加したことがある」が70%を超えるが、「(8)公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある」は「あてはまらない」割合の方が高い。問15「(6)地域のお祭りやイベントに参加したい」群であっても、「(10)地域を訪れる人と交流する機会がある(仕事や地域のイベントなどで)」は33.4%や「(11)地域の風景や自然、お店、催し物などをSNSに投稿することがある」は23.1%と「あてはまる」より「あてはまらない」方が多く行動に至っている人は少ない。

この結果から、今後に向けて2段階の対策が必要だと考える。一つは地域に対して意識が低い(問15,16で「あてはまらない」と回答)層が地域活動に参加したいとなるための対策、二つ目は地域に対して意識が高い(問15,16で「あてはまる」と回答)層がさらに活発に行動するための対策である。

### (2) 意識が低い層への対策

現状、地域に対して前向きな意識がない層に対して、急に地域活動に参加を呼び掛けても参加する可能性は低い。そこでまず着目したのは、問16「(4)友人や知人に話すことがある」があるが、問15「(5)地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい」の「あてはまらない」が33.5%であることと、問16「(6)近所付き合いがある」が問15「(6)地域のお祭りやイベントに参加したい」の「あてはまらない」が36.2%とある点である。この層は、地域活動に限らずとも身近な人との日常の交流があると言えるので、地域に対して意識が高い層と

---

<sup>1</sup> あおり創造学とは、生徒一人一人の「ふるさとあおり」への愛着や誇り、夢を抱き未来に向かって挑戦する意欲を醸成するために、地域資源や人材を活用して、高校の所在地及び自身の居住地域等について理解を深める学習(青森県庁ホームページより)。地域の自治体や企業・団体と連携して実施する高校も増えてきている。

の会話があれば、地域活動について話題が出て「参加したい」と思える可能性が考えられる。その根拠には、問 16「(6)近所付き合いがある」層は問 15「(5)地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい」が 76.6%と全体の 57.6%より 19 ポイント高い結果となっている。身近で熱心に地域活動に参加している友人・知人がいて、活動の話や誘いを受けたら、意識が低い層であっても自分も参加しようという意識になる可能性はある。

具体的な対策として例えば、問 16「(3)地域の文化施設を利用したことがある」群で、問 15「(5)地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい」は「あてはまらない」49.1%や問 15「(6)地域のお祭りやイベントに参加したい」は「あてはまらない」43.5%という層がいる。文化施設は不特定多数の住民が利用するため、意識が低い層の利用も考えられることから、まずは意識が高い層と会話や交流ができる機会をつくり、さらに地域活動について理解できる時間、そして参加したいと思えるような広報活動が必要である。

次に、年齢層別について検討する。問 16「(8) 公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある」は 20 歳～29 歳の 18.4%から 70 歳～79 歳の 37.6%まで年代で大きな差がみられる。同様に「(9) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したことがある」も 20 歳～29 歳の 12.2%から 70 歳～79 歳の 43.3%と大きな違いがある。この背景として考えられるのは、問 16「(6)近所付き合いがある」は 20 歳～59 歳までが 40%台だが、60 歳以上になると 60%台になっていることや、職業別でも「会社員」と「公務員」が 40%台と他の職業に比べて低いことがあげられる。働いている世代は、近所付き合いする時間が取れず、結果として地域活動のことを知らないまま生活している可能性が高い。この層へアプローチするには、日常生活での情報入手や広報展開がポイントになりそうだ。後述するが、子育て世代であれば、学校を通じた広報が可能であるため、まずは親子で参加できるイベントなどの企画提案が考えられる。

### (3)意識が高い層への対策

問 15,16 と愛着度のクロス集計が表 1 である。愛着度で「好き」と「どちらかと言えば好き」の差を一番右の列に追加している。前章で述べた通り、愛着度の「好き」と「どちらかと言えば好き」には大きな差が出ている。例えば、問 15「(2)友人や知人に自慢できる」では 31.8 ポイントの差があり、問 16「(11)地域の風景や自然、お店、催し物などを SNS に投稿することがある」でも 31.4 ポイントの差がある。これだけ行動に違いが出ることをみても、「好き」と「どちらかと言えば好き」では愛着や地域への意識、行動の度合いが異なると言える。次に差が出ている項目としては問 15「(6)地域のお祭りやイベントに参加したい」が 26.3 ポイント、問 15「(5)地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい」と問 16「(4)友人や知人に話すことがある」が同率の 23.8 ポイントとなっている。この結果から、青森県としては「どちらかと言えば好き」ではなく「好き」の割合を増やした方が、地域活動への参加や県民自らによる地域の情報発信につながると考えられる。

ではどうすれば意識が高い層が地域をより「好き」になり積極的に行動するようになるのか。対策として広報活動と何度か述べているが、その手段を検討するには「情報入手」が参考になる。まず問 17 の地域に関する情報の入手方法をみると、年齢で違いがわかる。20 歳～59 歳はテレビが最も多く、インターネットが 2 番目に高い。一方で 60 歳～69 歳広報誌が最も多く次いで新聞、70 歳～79 歳は新聞が最も多く次いでテレビとなっている。このように、年代によって広報媒体は変える必要があり、59 歳以下の対策を検討するのであれば、テレビやインターネットの効果的な

使用が求められる。

問18のインターネットの活用方法については、20歳～49歳はSNSが最も高くなっているため、広報活動においては、個人が発信する地域の情報についても愛着につながる効果が期待できる。表1の通り「好き」の割合が高くなれば、人に自慢する一つ的手段としてSNSで発信する可能性が高くなる。問16「(11)地域の風景や自然、お店、催し物などをSNSに投稿することがある」で「あてはまる」割合が最も高かったのは問15「(6)地域のお祭りやイベントに参加したい」群23.1%であったことから、今後は自ら参加して楽しかったことを積極的にSNSで発信してもらえよう仕掛けを検討していきたい。

表1 愛着度と問15、問16のクロス集計および愛着度の差 (単位：%)

	好き	どちらか と言え ば好き	どちらか と言え ば好き ではない	好きでは ない	無回答	愛着があ る計	「好き」と 「どちらか と言え ば好き」の差
一般全体 n=878	42.8	44.0	10.1	2.7	0.3	86.8	-2.2
(1) 暮らしやすい	57.0	40.3	2.4	0.2	0.0	97.4	16.7
(2) 友人や知人に自慢できる	65.0	33.3	1.5	0.3	0.0	98.3	31.8
(3) 自分とのつながりを感じる	60.7	37.8	1.5	0.0	0.0	98.5	22.9
(4) ずっと住み続けたい	60.3	38.5	1.3	0.0	0.0	98.7	21.8
(5) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい	59.0	35.2	4.2	1.5	0.0	94.3	23.8
(6) 地域のお祭りやイベントに参加したい	60.0	33.7	4.6	1.7	0.0	93.7	26.3
(7) 訪れる人を増やしたい	55.0	38.3	5.4	1.3	0.0	93.4	16.7
(1) 地域に関わるニュースは興味を持って読む	47.7	42.7	8.5	1.1	0.0	90.4	5.1
(2) 地域を散策・観光することがある	51.7	41.0	6.1	1.1	0.0	92.7	10.7
(3) 地域の文化施設を利用したことがある	48.4	42.9	7.3	1.5	0.0	91.2	5.5
(4) 友人や知人に話すことがある	59.1	35.3	4.3	1.3	0.0	94.4	23.8
(5) 地域のお祭りや催し物に参加したことがある	49.4	41.9	6.9	1.5	0.4	91.3	7.4
(6) 近所付き合いがある	49.8	42.7	6.4	0.9	0.2	92.5	7.1
(7) 地域の住民同士で、近所付き合い以外の交流がある	50.7	43.3	4.4	1.5	0.0	94.1	7.4
(8) 公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある	49.8	42.2	6.5	1.4	0.0	92.1	7.6
(9) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したことがある	51.3	40.9	5.7	2.0	0.0	92.3	10.4

(10) 地域を訪れる人と交流する機会がある(仕事や地域のイベントなどで)	57.7	35.7	4.2	1.8	0.6	93.5	22.0
(11) 地域の風景や自然、お店、催し物などをSNSに投稿することがある	62.7	31.4	3.9	2.0	0.0	94.1	31.4

なお今回の調査では、問 17 の情報入手の媒体として「家族や知人、学校」という項目はなく、同様の項目は問 13 で質問しているため、情報入手という認識ではないと考えられるが、問 13 で下北地域 50 人は「家族からこの地域の良さを教わってきたから」が 14.0%と他地域に比べてかなり高くなっているため、詳細を確認することができれば今後の対策につながるかもしれない。ちなみに子ども世代は今回の調査対象ではないが、八戸市のまちの魅力創生ネットワーク会議で 2023 年度に実施した「若者意識調査」では、図 2 にある通り子どもが地域の情報を得るのは家族（親、祖父母）という回答が多い。先述した学校での総合的な学習の時間での取組だけでは足りず、親や祖父母世代（今回の調査対象）が地域の情報を子どもたちに伝えていかなければならない。例えば、問 16 「(8)公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある」は「あてはまらない」が 50%を超えている。学習活動と聞けば対象は子どもや学生という偏った認識があるのかもしれないため、社会人であっても参加できることを伝えていかなければならないし、親子や家族で参加できるような取り組みが求められる。そして家族や学校はもちろん、住民同士の会話の中で、地域について話題が出て、地域の良いところを称え合うような文化を醸成していれば、問 13 の「家族からこの地域の良さを教わってきたから」や「学校でこの地域の良さを学んできたから」の回答率が高くなっていくと考える。

最後に問 19 の県教育委員会に期待する今後の取組について、問 15(5)と(6)の「あてはまる」群は、「地域全体で子どもを育む活動の充実」が全体より 10 ポイント高いのは、活動や祭りを次の世代に伝えていきたいという思いがあるからではないだろうか。既に活動している団体は広報活動を行っているだろうが、活動しながら広報活動するには限界があるうえ、SNS の発信をしても、SNS は同分野の興味関心がある層しか見ない可能性があり、新規の参加者を募るには、別の場所や機会での広報が必要である。知ってもらい、興味を持ってもらうためにも、教育委員会は取組内容の議論だけではなく、同時に効果的な広報手段についても検討すべきである。

問 18-1 あなたは、「地元のこと」について、誰から情報を入手しますか。また、メディア等から入手する場合、どの情報源から入手しますか。(〇は3つまで可)(人からの場合)

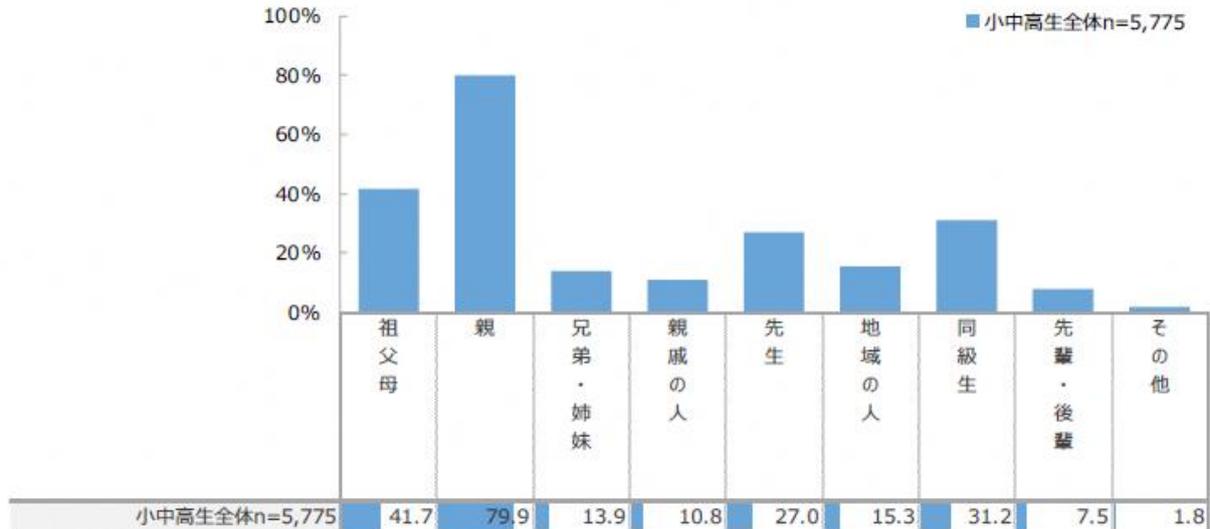


図2 八戸市令和5年度八戸市「若者意識調査」アンケート結果より  
 ※小学生は八戸市内4校の5,6年生が対象、中高生は市内の全生徒が対象

おわりに

問20の自由記述では教育や学習に対する意見が多く寄せられていた。今回は世帯構成を聞かなかったため、子育て世帯とそうではない世帯では教育に対する意識は異なることが考えられるものの、地域を理解し愛着を持てるような学校教育や学習機会を青森県民は求めているようである。また調査結果から、地域活動やお祭り、イベントへの参加は、愛着を高めるうえで有効な手段だと言える。青森県には青森ねぶた祭のような世界に誇れる祭りが多くあるにもかかわらず、近年では参加者の減少や運営の担い手不足が課題となっている。地域の関係団体からの広報だけでなく、学校や家族の間でも、気軽に地域活動に参加できるような広報や仕掛けが必要である。教育と言えば以前は、学校だけとか親から子へという概念だったかもしれないが、いまや学校は地域と連携して子どもたちを育てていく方向性になっていて、親も子どもと共に学ぶ時代であることから、生涯学習の機会は今後ますます重要であると言える。

## 2 「ふるさと青森」に対する県民の意識と県教育委員会への期待

弘前大学教育学部 准教授 越村康英

### はじめに

2024年に青森県教育委員会が実施した「ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識調査」に対し、県内6地区（東青・西北・中南・上北・下北・三八）に暮らす計878人の県民から回答が寄せられた。本稿では、調査結果<sup>(1)</sup>から見えてきた「ふるさと青森」に対する県民の意識について考察を行うとともに、「ふるさと青森」への愛着や誇りを醸成するための青森県教育委員会の取り組みについて、県民からの期待もふまえつつ、いくつかの提起を行いたい。

### 1 「ふるさと青森」に対する県民の意識

#### (1) 「誇りを感じる地域資源」に対する世代間ギャップー方言 ※「問9」関連

「誇りを感じる地域資源」として、全体の半数以上が挙げているのが「豊かな自然」の56.5%、「伝統的な祭りや伝統芸能」の51.0%の2項目である。ただし年齢別に見るとややギャップも見られる。

「豊かな自然」に関しては、「60歳～79歳」の方の回答割合が高く、若い世代、とりわけ「20歳～29歳」では38.8%とそれほど高くない。一方、誇れる地域資源が「特にない」という人の割合は、全体的にそれほど高くないものの、「20歳～29歳」では18.4%に上る。

「方言」に関しても同様の傾向が見られる。「20歳～59歳」では、どの年代でも、20%強の人が「誇りを感じる地域資源」として方言を挙げている。しかし、「60歳～79歳」では約10%低い。ここには、かつて（昭和30年頃）、青森県を含む東北地方の学校で行われた「方言札による標準語指導」<sup>(2)</sup>の影響が表われているように思われる。方言とは、その土地で培われてきた暮らしの知恵を豊かに内包している大切な「ことば」であり、「文化」でもある。しかし、それを否定するような「教育」により、上の世代ほど、方言を「恥ずかしいもの」や「地方の『後進性』を象徴するもの」として否定的に受け止めているのではないか。地元への愛着を醸成していく上で、方言の扱い方（扱われ方）についてもあらためて見つめ直していく必要があると考える。

#### (2) 直接的な「体験」が地域への誇りを育む ※問10 関連

「地域資源を誇りに思うとき」としては、「自分自身が見たり、体験したりしたとき」が70.3%であり、メディアやSNSなどを通じて他者から評価されたときよりも、高い割合となっている。このことは、地域への愛着や誇りを育んでいく上で、直接的な「体験」が重要な意味を持っていることを示唆している。自由記述欄にも、「実際に肌で感じる事のできる経験をすることが大切」など、「体験」の重要性を指摘する意見が多く寄せられている。

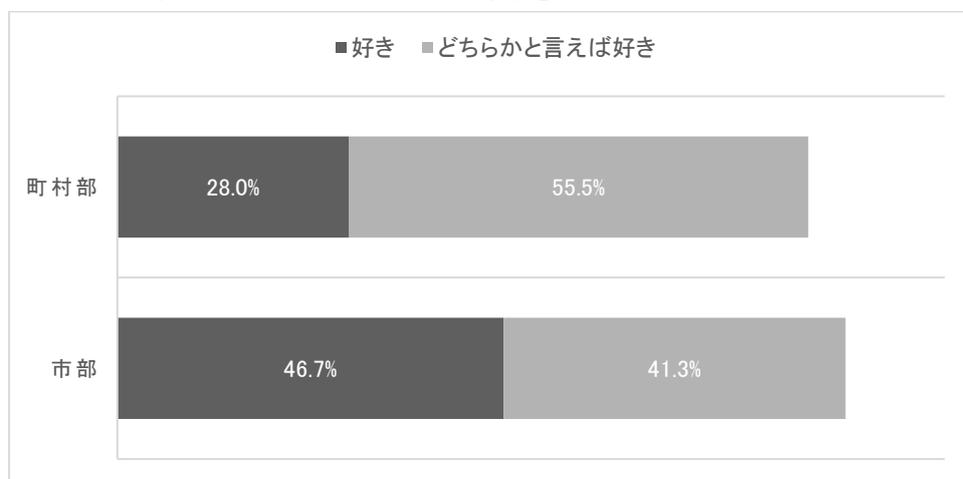
他方、年齢別に見れば、「20歳～49歳」では「インターネット上で有名になったとき」を挙げている人の割合も少なくない。テレビや新聞等の既存のメディアに加えて、SNS等を効果的に活用した情報発信などにも、より積極的に取り組んでいく必要があるだろう。

#### (3) 「地域への愛着度」に影響する要因ー生活上の利便性／居住年数 ※問11 関連

「地域への愛着度」について、全体では「どちらかと言えば好き」が最も高く44.1%、「好き」が43.0%である。このように、地域への愛着をもっている人は87.1%に上る。

ただし、図1に示したように、「町村部」より「市部」の方が地域への愛着をもっている人の割合は高い。

（図1）市部・町村別の「地域への愛着度」

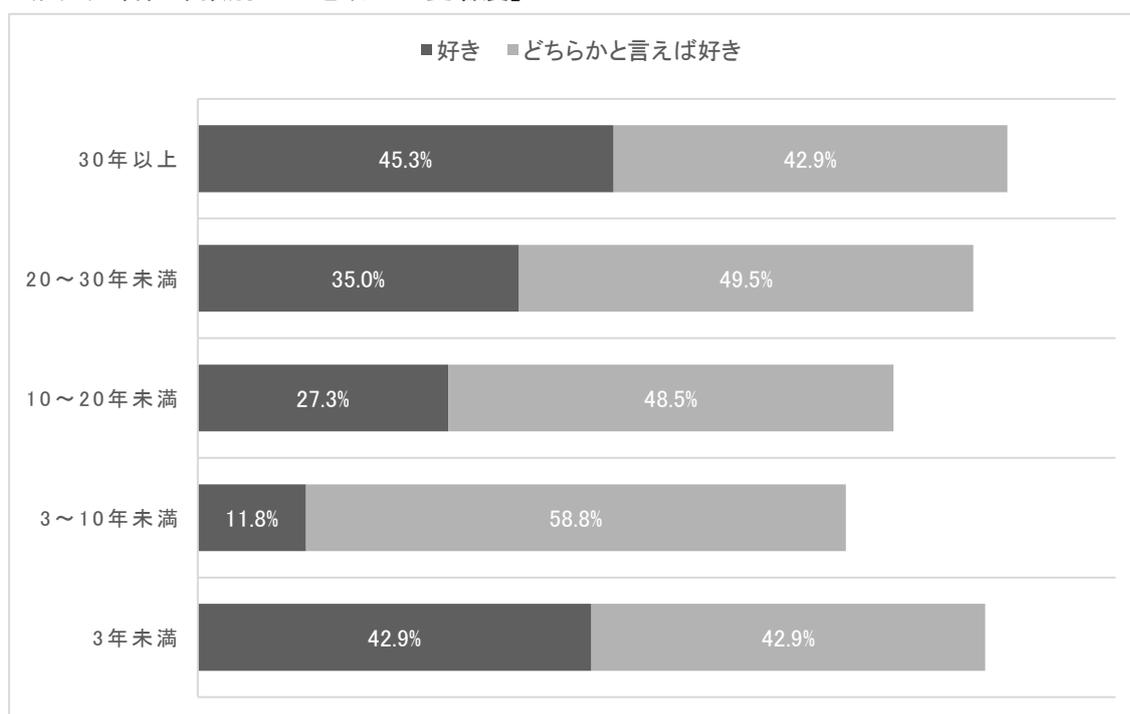


「好き」と「どちらかと言えば好き」を合わせると、「市部」では88.0%、「町村部」では83.5%であり、両者にあまり大きな差は見られない。しかし、「好き」の回答比率は大きく異なっており、「町村部」では28.0%なのに対し、「市部」では46.7%と約19%のひらきが見られる。地域別でも、住んでいる地域が「好き」「どちらかと言えば好き」という割合は、弘前市を含む「中南」で91.0%、八戸市を含む「三八」で88.8%、青森市を含む「東青」で87.2%となり、「西北」の83.5%、「上北」の82.8%、下北の82.0%よりもやや高い。

こうした結果からも、生活上の利便性（学校や病院へのアクセス、買い物など）が「地域への愛着度」にも一定の影響を及ぼしているものと思われる。

また、図2に示したように、「居住年数」が長いほど、愛着をもっている人の割合が高い。

（図2）居住年数別の「地域への愛着度」



(4)「地域への愛着」と「地域に対する意識」「地域での行動」の関連 ※問 11、問 15、問 16 関連

表 1 は「地域に対する意識」(問 15) と「地域への愛着度」(問 11) の結果を、表 2 は「地域での行動」(問 16) と「地域への愛着度」(問 11) の結果をクロス集計したものである。

(表 1)「地域に対する意識」と「地域への愛着度」の関連

地域に対する意識 ※【問15】	愛着をもっている人の割合		差
	該当	非該当	
(1) 暮らしやすい	97.4%	43.0%	54.4%
(2) 友人や知人に自慢できる	98.3%	50.0%	48.3%
(3) 自分とのつながりを感じる	98.5%	52.4%	46.1%
(4) ずっと住み続けたい	98.7%	44.4%	54.3%
(5) 地域の役に立つ活動に参加したい	94.3%	74.4%	19.9%
(6) 地域のお祭りやイベントに参加したい	93.7%	74.1%	19.6%
(7) 訪れる人を増やしたい	93.4%	65.6%	27.8%
※該当 = 「あてはまる」 + 「ややあてはまる」			
※非該当 = 「ややあてはまらない」 + 「あてはまらない」			
※差 = 「該当」 - 「非該当」			

(表 2)「地域での意識」と「地域への愛着度」の関連

地域での行動 ※【問16】	愛着をもっている人の割合		差
	該当	非該当	
(1) 地域に関わるニュースに興味を持って読む	90.4%	50.0%	40.4%
(2) 地域を散策・観光することがある	92.7%	69.9%	22.8%
(3) 地域の文化施設を利用したことがある	91.2%	75.7%	15.5%
(4) 友人や知人に話すことがある	94.4%	71.0%	23.4%
(5) 地域のお祭りや催し物に参加したことがある	91.3%	75.6%	15.7%
(6) 近所付き合いがある	92.5%	72.8%	19.7%
(7) 地域の住民同士で、近所付き合い以外の交流がある	94.1%	80.2%	13.9%
(8) 公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある	92.1%	81.8%	10.3%
(9) 地域の役に立つ活動に参加したことがある	92.3%	81.8%	10.5%
(10) 地域に訪れる人と交流する機会がある	93.5%	81.7%	11.8%
(11) 地域の風景や自然、お店、催し物などを SNS に投稿することがある	94.1%	85.2%	8.9%
※該当 = 「あてはまる」 + 「ややあてはまる」			
※非該当 = 「ややあてはまらない」 + 「あてはまらない」			
※差 = 「該当」 - 「非該当」			

これらの結果が示すように、「地域に対する意識」「地域での行動」に関するいずれの項目においても、意識・行動がポジティブ（前向き・積極的）な人の方が「地域への愛着度」は高い。特に「暮らしやすい」「ずっと住み続けたい」「友人や知人に自慢できる」「自分とのつながりを感じる」という意識、「地域に関わるニュースに興味を持って読む」という行動においては、「地域への愛着度」に 40%以上の差が見られる。

#### (5)「地域への愛着」は年齢をかさねながら形成されていく ※問 12 関連

「地域への愛着を持った時期」については、「社会人になってから」が最も高く 37.3%、次いで「いつの間にか何となく」が 32.3%である。多くの人にとって、地域への愛着とは、年齢をかさねていくなかで、自然と形成されていくものであると言える。

#### (6)学校での学習も「地域への愛着」をもつ契機となる ※問 13 関連

「地域への愛着をもった理由」としては、「住み慣れているから」が最も高く 52.1%、次いで「育った地域だから」が 30.3%である。先述の『「居住年数」が長いほど、愛着をもっている人の割合が高い』ということとも関わって、「生まれ育ち、長く暮らしてきた土地である」ということがアイデンティティの構成要素のひとつでもあり、地域への愛着を感じる主要な理由になっていると考えられる。

一方、「学校でこの地域の良さを学んできたから」という理由を挙げているのは、「40 歳以上」では 1~2%程度であるのに対し、「20 歳~29 歳」では 12.2%、「30 歳~39 歳」では 9.3%と一定の割合を示している点にも注目したい。若い世代の回答数が多くないことから断定はできないが、学校での「特別活動」や 2000 年に新設された「総合的な学習（探究）の時間」などを通じて多様に実践されてきた地域学習の成果が表われているとも言えよう。逆に言えば、学校での地域学習をさらに充実・発展させていくことが、地域への愛着を醸成していく上でも重要な契機ともなり得る。そのためにも、地域学校協働の仕組みを活かし、豊かな地域学習の機会を地域学校協働活動として展開していくことが大切である。

また、「こどもの頃からこの地域の祭りや行事に参加してきたから」という理由を挙げる人も 24.6%と少なくない。特に「20 歳~39 歳」では約 30%の人が理由に挙げており、「住み慣れているから」に次いで 2 番目に高い。このように若い世代にとっては、地域の祭りや行事への参加体験が、地域への愛着を形成する重要な契機ともなっている。しかし、担い手の不足・高齢化などから、地域の祭りや行事の継続が困難なところも多く、コロナ禍を経て、状況はさらに厳しくなっている。こうした状況にあって、地域の祭りや行事を継承していく手立てを模索していくことも重要な課題である。

#### (7)暮らしにくさの内実を具体的に把握する必要性 ※問 14 関連

「地域に愛着がない理由」として最も回答割合が高いのは、「この地域が暮らしにくいから」の 47.7%である。とりわけ「20 歳~59 歳」では、この理由を挙げている割合が高い。この年代の一般的なライフイベントとしては、「就職・仕事」「結婚」「出産・子育て」「親の介護」などが考えられるが、それらの「どこに」「どのような」な悩みや不安を感じているのかを具体的に把握していくことが必要である。内閣府「国民生活に関する世論調査」（令和 6 年 8 月調査）では、生活のなかで悩みや不安を感じている人の割合は 78.2%に達し、1981 年の調査開始以降で最多となっている。全国的にもこうした状況にあるなかで、住民の悩みや不安の背後に存在している地域の課題を明らかにし、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていく必要がある。

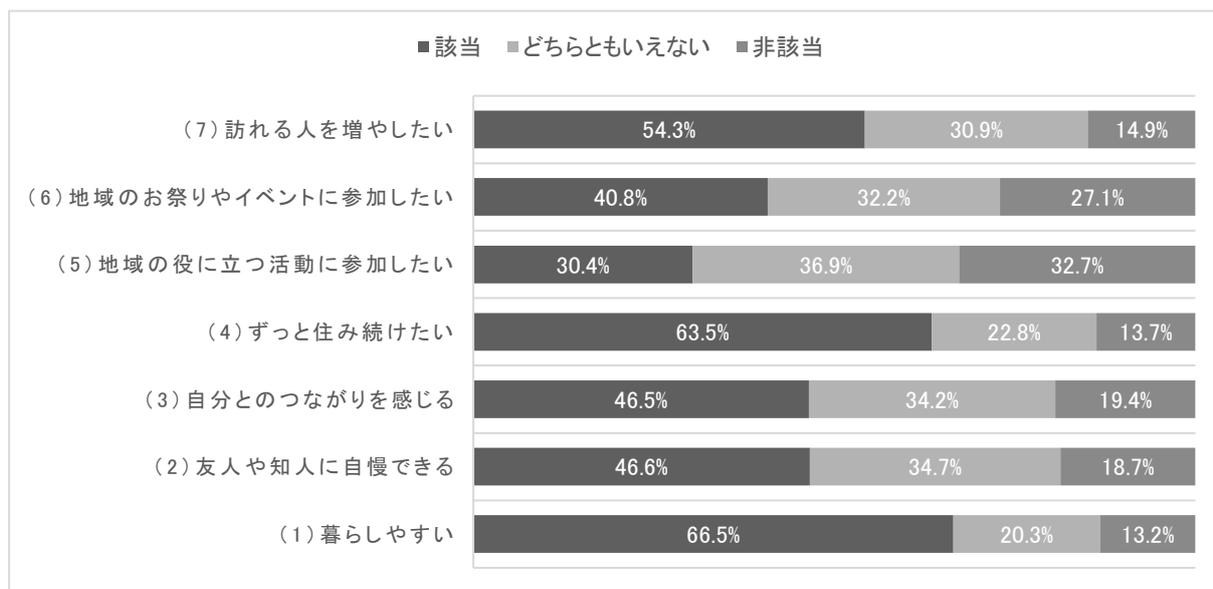
また他の理由としては、「この地域は魅力がないから」が 29.7%、「閉鎖的な雰囲気があるから」が 27.9%であり、比較的、割合が高い。これらについても、他の地域への人口流出、移住や関係人口・交流人口の増減にも関係することであり、その実態を把握しつつ、住民とともに必要な対策を講じていくことが必要である。

### (8)自治の土壌を耕す社会教育実践の必要性 ※問 15 関連

図3に示したように、「住んでいる地域に対する意識」に関する7項目のなかで最も回答割合が低いのは、「地域の役に立つ活動（町会・自治会の活動や地域づくりの活動など）に参加したい」の30.4%である。「参加したくない」と思っている人は32.7%、「どちらともいえない」という人は36.9%である。また、若い世代ほど地域活動を敬遠している傾向も見られ、「20歳～29歳」では51.0%が地域活動に対して後ろ向きの回答をしている。

この項目は、住民の自治意識を表しているとも言える。少子高齢化・人口減少が進行し、地域コミュニティの機能が低下しつつあるなかで、「地域みんなの幸せ（Well-being）を、地域みんなで創り出す」という自治の土壌を耕していくことが重要であると考えられる。そのためのカギとなるのが、「社会教育」ではないか。社会教育とは、学校以外での趣味的な学習活動を支援することだけを指すのではない。その本質は、住民のリアルな生活要求（「こうありたい」という願い）や生活課題（悩み・不安）を起点に、協同性（つながり）を紡ぎ出し、生活要求や生活課題の実現・解決に向けた相互主体的な学習活動を組織・支援していくところにある。身近な地域における社会教育活動の拠点である「公民館」の機能強化を図り、暮らしと地域に根ざした社会教育実践を積み重ねながら、自治の意識や力量を培っていくことが重要である。

(図3) 住んでいる地域に対する意識



### (9)地域活動と地域コミュニティへの帰属意識 ※問 16 関連

「住んでいる地域での行動」については、当然、「地域に対する意識」を反映した結果となっている。

「地域の役に立つ活動に参加したことがある」という人は34.5%であり、「ほぼ参加経験はない」という人が半数を占めている。また、地域活動への参加経験がある人は「60歳～79歳」で40%を超えているのに対し、「20歳～29歳」では12.2%、「30歳～39歳」では18.7%に留まっている。こうした結果からも、地域活動が年配の世代を中心に担われていることが分かる。少子高齢化・人口減少が進行していくなかで、地域における相互扶助機能の重要性は増している。町会・自治会への若い世代の参加をはじめ、地域コミュニティの維持・活性化に向けた活動に、より多くの住民が（強制ではなく）主体的に関わっていけるような手立てを講じていく必要があるだろう。

「近所付き合いがある」という人は54.1%と半数は超えているが、「近所付き合い以上の交流がある」という人は31.4%に留まっている。他方、「近所付き合いがない」という人は23.5%、「近所付き合い以上の交流がない」という人は44.0%に上る。年齢別では、若い世代ほど地域コミュニティとの関わりが希薄であるという傾向があり、「20歳～29歳」では、「近所付き合いがない」という人が42.9%、「近所付き合い以上の交流がない」という人が59.2%に上る。こうした状況にあるなかで、まずは孤立した人を減らすことを意識し、地域のつながりを紡ぎ直していくことが重要である。前に述べた地域コミュニティの維持・活性化に向けた活動とも関連づけながら、ねばり強く取り組みを進めていくことが求められる。

## 2 県教育委員会に期待する取組

「ふるさと青森を愛する心を醸成する」ために県教育委員会に期待する取組として、属性別に、回答割合が高い上位3項目を整理したものが表3である。この結果も踏まえながら、今後の取り組みに関して3つのことを提起したい。

(表3) 県教育委員会に期待する今後の取り組み

		1位	2位	3位
全体		<b>地域を知る学習の充実 (60.9%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (44.5%)	地域住民が気軽に集える場所の充実 (38.8%)
年齢	20歳～29歳	<b>地域を知る学習の充実 (59.2%)</b>	地域課題の解決に向けた学習の充実 (32.7%)	大人が持つ知識等を地域に生かしていける方策 (32.7%)
	30歳～39歳	<b>地域を知る学習の充実 (57.3%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (49.3%)	地域課題の解決に向けた学習の充実 (33.3%)
	40歳～49歳	<b>地域を知る学習の充実 (54.9%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (49.3%)	大人が持つ知識等を地域に生かしていける方策 (33.3%)
	50歳～59歳	<b>地域を知る学習の充実 (55.0%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (41.7%)	地域課題の解決に向けた学習の充実 (35.1%)
	60歳～69歳	<b>地域を知る学習の充実 (58.8%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (44.1%)	地域住民が気軽に集える場所の充実 (42.7%)
	70歳～79歳	<b>地域を知る学習の充実 (64.9%)</b>	地域住民が気軽に集える場所の充実 (50.6%)	地域全体で子どもを育む活動の充実 (40.0%)
地域	東青	<b>地域を知る学習の充実 (58.1%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (40.9%)	地域住民が気軽に集える場所の充実 (38.9%)
	西北	<b>地域を知る学習の充実 (57.1%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (46.2%)	地域住民が気軽に集える場所の充実 (41.8%)
	中南	<b>地域を知る学習の充実 (63.5%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (49.2%)	大人が持つ知識等を地域に生かしていける方策 (37.6%)
	上北	<b>地域を知る学習の充実 (48.4%)</b>	地域住民が気軽に集える場所の充実 (38.3%)	地域全体で子どもを育む活動の充実 (37.5%)
	下北	<b>地域を知る学習の充実 (52.0%)</b>	地域住民が気軽に集える場所の充実 (42.0%)	地域課題の解決に向けた学習の充実 (38.0%)
	三八	<b>地域を知る学習の充実 (68.4%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (47.6%)	大人が持つ知識等を地域に生かしていける方策 (38.0%)
市部 町村部	市部	<b>地域を知る学習の充実 (61.4%)</b>	地域全体で子どもを育む活動の充実 (44.7%)	地域住民が気軽に集える場所の充実 (36.8%)
	町村部	<b>地域を知る学習の充実 (53.3%)</b>	地域住民が気軽に集える場所の充実 (40.7%)	地域全体で子どもを育む活動の充実 (39.6%)

### (1) 様々な視点から地域の姿を捉えられる地域学習の機会を

いずれの属性においても最も回答割合が高く、半数以上の人々が挙げている項目は、「地域を知る学習の充実」である。地域への愛着や誇りを醸成していく上で、「地域学習の充実がカギとなる」

と考えている人が多いということである。こうした期待に応えていくためにも、学校教育と社会教育（家庭教育への支援を含む）の両面から、既存の地域学習の在り方（目的・内容・方法など）を問い直し、質・量ともに発展・拡充させていくことが求められる。

その際、調査の選択肢にも括弧書きで「食・文化・歴史・産業・祭り等」と例示されていたように、地域について様々な視点から学習することができるよう、多様な学習機会を創出したい。例示された視点の他にも、「政治」「行財政」「人口動態」「教育」「福祉」「環境」などからのアプローチも必要である。地域学習を通じて「地域の魅力や素晴らしさ」を知ることはもちろん大切であるが、同時に、地域の現実を（根拠をもって）科学的に理解することも重要である。そして、そこから住民自身が地域課題を発見・共有し、解決の糸口を探り出す学習へと発展させていくことが期待される。こうした課題解決型の地域学習は、主権者（若者を含めた大人）にとって極めて重要である。県教育委員会として、高等学校での「総合的な探究の時間」やサービス・ラーニング<sup>(3)</sup>、公民館などの社会教育施設における地域課題解決学習のさらなる充実に向けた支援が求められるのではないか。

## (2)各地域の状況等に応じたオーダーメイド型の取組を

表3を確認すると、2位以下の項目にある程度の共通性は見られるものの、順位は様々である。たとえば「20歳～29歳」では、「地域課題の解決に向けた学習の充実」「大人が持つ知識等を地域に行かしていける方策」がいずれも32.7%で、2位である。一方、「30歳～69歳」では「地域全体で子どもを育む活動の充実」が2位であり、子育て世代の「30歳～49歳」においては約半数が同項目を挙げている。「70歳～79歳」では「地域住民が気軽に集える場所の充実」が2位となっている。このように、「年齢」によって上位の項目は変わってくる。「地域」や「市部・町村部」によっても2位以下の順位に違いが見られることから、ライフステージや地域の状況をふまえてターゲットを明確化し、オーダーメイド型の取り組みを構想していくことも必要ではないか。

また、「30歳～69歳」で2位に挙げられている「地域全体で子どもを育む活動の充実」は、未来を担う子どもへのアプローチとして重要である。地域学校協働の仕組みを活かし、学校支援にとどまらない多彩な地域学校協働活動が創り出されていくように、必要な働きかけを行っていくことが期待される。

## (3)各項目を構造的・複合的に捉えた取組を

問19の選択肢に挙げられた10項目は、いずれも「ふるさと青森を愛する心を醸成する」ために重要な取り組みである。しかし、個別バラバラに取り組んでいては十分な効果は得られないだろう。また、県民からの期待が高い項目ばかりを優先し、その他の項目を軽視することも避けなければならない。

これらの10項目は、次のように相互に関連している。

たとえば、県民からの期待が最も高い「地域を知る学習の充実」を図っていくためには、「他の地域や外国との交流」も有効な方法のひとつとなるだろう。また、「地域課題の解決に向けた学習の充実」を図っていくためには、「地域住民同士のつながりづくり」が土台となり、地域課題の発見・共有に向けた「地域を知る学習」の機会も必要となる。

「地域全体で子どもを育む活動の充実」を図るためにも、「地域住民同士のつながりづくり」は不可欠であり、「大人が持つ知識・技術・経験を地域に生かしていけるような方策」（＝地域の子どもたちに伝えていく方策）を講じる必要も出てくる。また、「地域住民同士のつながり」を豊か

にしていくためには、「地域住民が気軽に集える場所」が必要であり、公民館等で「性別や障がいの有無による差別のない社会を作るための学習」機会を提供することや、「〇〇カフェ」のような住民の居場所づくりを進めていくことも期待される。

このように、各項目を結び合せてこそ効果が期待される。(2)でも述べたように、ライフステージや地域の状況に応じて「いま、求められていること」を具体的に把握し、そのために必要な複数の項目を関連付け、「ひとつのパッケージ」として一体的に推進していくことが肝心である。

## おわりにー「ふるさとを育てる教育」への模索

本調査とも関わって、宮下宗一郎知事のコラム「ふるさとを育てる教育へ」<sup>(4)</sup>が目にとまった。コラムには、ご自身の子ども時代を思い返しながらかのように綴られている。

それでも自分がこうして青森に戻って来られたのは、「ふるさとを育てる教育」を受けていたからだと思います。先生方が地域に根ざして一人一人の個性を育み、地域の人々は目や手や足となって学校を支え、親はPTAとしてそうした活動をつなぎました。運動会ともなればもはやお祭りのようで、酔っ払ってヤジを飛ばす人、親や近所の人たちの大声援を受けながらグラウンドを駆け回りました。

人々の心にこうした「あたたかな原風景」が息づくことによって、「ふるさと」への愛着や誇りが醸成されていくことが伝わってくる。

地域の多様なアクターが協同し、子どもも大人も豊かに育ち合える地域・学校を主体的につくっていく。そのプロセスや、その延長線上に、「ふるさとを育てる教育」の内実があるのではないだろうか。第17期青森県生涯学習審議会委員として、本調査から見てきたこともふまえつつ、「ふるさとを育てる教育」の今日的な在り方について模索していきたい。

### 【補注】

(1) 調査結果（全体集計の結果）を見る上で、回答者の年齢構成にも留意が必要である。

本調査の回答総数 878 件の内訳は、「20 歳～59 歳」が 47.7%、「60 歳～79 歳」が 51.9%、「無回答」が 0.3%となっている。しかし、青森県における実際の年齢構成比は、「20 歳～59 歳」が 58.5%、「60 歳～79 歳」が 41.5%である。このように、全体集計の結果には、60 歳以上の回答傾向がやや強く反映されているものと思われる。

なお、実際の年齢構成比については、「青森県の推計人口－年報－2023 年（令和 5 年）」（<https://opendata.pref.aomori.lg.jp/dataset/2156.html> 最終閲覧：2025 年 3 月 8 日）をもとに算出した。

(2) 「方言札」とは、学校で方言を使った際に、子どもの首に下げられた札のことである。標準語を身に付けさせるために、方言を使った罰として用いられた。

(3) サービス・ラーニングとは、授業などで学んだ知識・スキルを、地域課題を解決するための具体的な活動に活かすことを通じて、市民性（市民的な責任・役割）を学び取ることを意図した教育方法のひとつである。

(4) 連載 宮下宗一郎知事の青森新時代（vol.05）「ふるさとを育てる教育へ」 ※「AOMORI MAG 05」2025 年 2 月号に掲載

## V 資料

### ○単純集計結果表

◎結果数値（パーセント＝％）は、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで表示しています。  
標準の有効回答数はn=878となります。複数回答ならびに質問で分岐する際はn値が変動します。

#### 問1 あなたが居住している市町村

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.青森市	184	21.0%	21.7%	21.7%
	2.平内町	12	1.4%	1.4%	23.1%
	3.今別町	2	0.2%	0.2%	23.3%
	4.蓬田村	2	0.2%	0.2%	23.6%
	5.外ヶ浜町	3	0.3%	0.4%	23.9%
	6.五所川原市	37	4.2%	4.4%	28.3%
	7.つがる市	24	2.7%	2.8%	31.1%
	8.鱒ヶ沢町	6	0.7%	0.7%	31.8%
	9.深浦町	7	0.8%	0.8%	32.7%
	10.板柳町	7	0.8%	0.8%	33.5%
	11.鶴田町	3	0.3%	0.4%	33.8%
	12.中泊町	7	0.8%	0.8%	34.7%
	13.弘前市	125	14.2%	14.7%	49.4%
	14.黒石市	18	2.1%	2.1%	51.5%
	15.平川市	22	2.5%	2.6%	54.1%
	16.西目屋村	1	0.1%	0.1%	54.2%
	17.藤崎町	13	1.5%	1.5%	55.8%
	18.大鰐町	5	0.6%	0.6%	56.4%
	19.田舎館村	5	0.6%	0.6%	57.0%
	20.十和田市	39	4.4%	4.6%	61.6%
	21.三沢市	31	3.5%	3.7%	65.2%
	22.野辺地町	7	0.8%	0.8%	66.0%
	23.七戸町	8	0.9%	0.9%	67.0%
	24.六戸町	7	0.8%	0.8%	67.8%
	25.横浜町	4	0.5%	0.5%	68.3%
	26.東北町	9	1.0%	1.1%	69.3%
	27.六ヶ所村	4	0.5%	0.5%	69.8%
	28.おいらせ町	19	2.2%	2.2%	72.1%
	29.むつ市	37	4.2%	4.4%	76.4%
	30.大間町	3	0.3%	0.4%	76.8%
	31.東通村	4	0.5%	0.5%	77.2%
	32.風間浦村	2	0.2%	0.2%	77.5%
	33.佐井村	4	0.5%	0.5%	77.9%
	34.八戸市	149	17.0%	17.6%	95.5%
	35.三戸町	5	0.6%	0.6%	96.1%
	36.五戸町	13	1.5%	1.5%	97.6%
	37.田子町	3	0.3%	0.4%	98.0%
	38.南部町	7	0.8%	0.8%	98.8%
	39.階上町	8	0.9%	0.9%	99.8%
	40.新郷村	2	0.2%	0.2%	100.0%
	合計	848	96.6%	100.0%	
欠損値	未記入	30	3.4%		
合計		878	100.0%		

**問2 年齢**

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.20歳代	49	5.6%	5.6%	5.6%
	2.30歳代	75	8.5%	8.6%	14.2%
	3.40歳代	144	16.4%	16.5%	30.6%
	4.50歳代	151	17.2%	17.3%	47.9%
	5.60歳代	211	24.0%	24.1%	72.0%
	6.70歳代	245	27.9%	28.0%	100.0%
	合計	875	99.7%	100.0%	
欠損値	未記入	3	0.3%		
合計		878	100.0%		

**問3 性別**

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1 男性	373	42.5%	42.6%	42.6%
	2 女性	485	55.2%	55.4%	97.9%
	3 回答しない	18	2.1%	2.1%	100.0%
	合計	876	99.8%	100.0%	
欠損値	未記入	2	0.2%		
合計		878	100.0%		

**問4 青森県内居住年数（通算で）**

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.3年未満	7	0.8%	0.8%	0.8%
	2.3～10年未満	17	1.9%	1.9%	2.7%
	3.10～20年未満	33	3.8%	3.8%	6.5%
	4.20～30年未満	103	11.7%	11.8%	18.3%
	5.30年以上	713	81.2%	81.7%	100.0%
	合計	873	99.4%	100.0%	
欠損値	未記入	5	0.6%		
合計		878	100.0%		

**問5 県外居住年数（通算で）**

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.3年未満	360	41.0%	47.4%	47.4%
	2.3～10年未満	197	22.4%	25.9%	73.3%
	3.10～20年未満	95	10.8%	12.5%	85.8%
	4.20～30年未満	50	5.7%	6.6%	92.4%
	5.30年以上	58	6.6%	7.6%	100.0%
	合計	760	86.6%	100.0%	
欠損値	未記入	118	13.4%		
合計		878	100.0%		

**問6 最終学歴**

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.小学校	100	11.4%	11.4%	11.4%
	2.中学校	120	13.7%	13.7%	25.1%
	3.高等学校、旧制中学校	375	42.7%	42.8%	67.9%
	4.専修学校、各種学校	82	9.3%	9.4%	77.3%
	5.短期大学、高等専門学校（高専）	79	9.0%	9.0%	86.3%
	6.大学、大学院	116	13.2%	13.2%	99.5%
	7.その他	4	0.5%	0.5%	100.0%
	合計	876	99.8%	100.0%	
欠損値	未記入	2	0.2%		
合計		878	100.0%		

**問7 あなたの仕事の状況**

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.学生	2	0.2%	0.2%	0.2%
	2.自営業（農業・漁業等含む）	93	10.6%	10.6%	10.8%
	3.会社員	223	25.4%	25.5%	36.3%
	4.公務員	72	8.2%	8.2%	44.5%
	5.非正規雇用（パート、アルバイト等）	149	17.0%	17.0%	61.5%
	6.無職	300	34.2%	34.2%	95.8%
	7.その他	37	4.2%	4.2%	100.0%
	合計	876	99.8%	100.0%	
欠損値	未記入	2	0.2%		
合計		878	100.0%		

**問8 あなたがふるさとだと考えているところ（県内または県外の市町村）**

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.県内の市町村	772	87.9%	89.1%	89.1%
	2.県外の市町村	55	6.3%	6.4%	95.5%
	3.わからない	39	4.4%	4.5%	100.0%
	合計	866	98.6%	100.0%	
欠損値	未記入	12	1.4%		
合計		878	100.0%		

県内の市町村

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.青森市	143	18.5%	18.7%	18.7%
	2.平内町	11	1.4%	1.4%	20.2%
	3.今別町	3	0.4%	0.4%	20.6%
	4.蓬田村	0	0.0%	0.0%	20.6%
	5.外ヶ浜町	4	0.5%	0.5%	21.1%
	6.五所川原市	34	4.4%	4.5%	25.6%
	7.つがる市	24	3.1%	3.1%	28.7%
	8.鱒ヶ沢町	10	1.3%	1.3%	30.0%
	9.深浦町	12	1.6%	1.6%	31.6%
	10.板柳町	10	1.3%	1.3%	32.9%
	11.鶴田町	6	0.8%	0.8%	33.7%
	12.中泊町	12	1.6%	1.6%	35.3%
	13.弘前市	111	14.4%	14.5%	49.8%
	14.黒石市	16	2.1%	2.1%	51.9%
	15.平川市	20	2.6%	2.6%	54.5%
	16.西目屋村	1	0.1%	0.1%	54.7%
	17.藤崎町	13	1.7%	1.7%	56.4%
	18.大鰐町	11	1.4%	1.4%	57.8%
	19.田舎館村	6	0.8%	0.8%	58.6%
	20.十和田市	34	4.4%	4.5%	63.0%
	21.三沢市	27	3.5%	3.5%	66.6%
	22.野辺地町	6	0.8%	0.8%	67.4%
	23.七戸町	13	1.7%	1.7%	69.1%
	24.六戸町	10	1.3%	1.3%	70.4%
	25.横浜町	2	0.3%	0.3%	70.6%
	26.東北町	12	1.6%	1.6%	72.2%
	27.六ヶ所村	4	0.5%	0.5%	72.7%
	28.おいらせ町	9	1.2%	1.2%	73.9%
	29.むつ市	31	4.0%	4.1%	78.0%
	30.大間町	3	0.4%	0.4%	78.4%
	31.東通村	5	0.6%	0.7%	79.0%
	32.風間浦村	2	0.3%	0.3%	79.3%
	33.佐井村	5	0.6%	0.7%	79.9%
	34.八戸市	113	14.6%	14.8%	94.8%
	35.三戸町	4	0.5%	0.5%	95.3%
	36.五戸町	15	1.9%	2.0%	97.2%
	37.田子町	5	0.6%	0.7%	97.9%
	38.南部町	7	0.9%	0.9%	98.8%
	39.階上町	5	0.6%	0.7%	99.5%
	40.新郷村	4	0.5%	0.5%	100.0%
	合計	763	98.8%	100.0%	
欠損値	未記入	9	1.2%		
合計		772	100.0%		

**問9** 次の項目のうち、あなたがいま住んでいる地域(市町村)で「気に入っている」  
または「大事にしたい(誇りだ)」と思うものをお選びください。(複数回答可)

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.豊かな自然	494	56.3%		
	2.おいしい食	418	47.6%		
	3.きれいな水	287	32.7%		
	4.温泉	275	31.3%		
	5.伝統的な祭りや伝統芸能	446	50.8%		
	6.歴史・文化	195	22.2%		
	7.方言	173	19.7%		
	8.地域の産業	128	14.6%		
	9.地域の人の気質・気風	115	13.1%		
	10.特にない	93	10.6%		
	11.その他	16	1.8%		
	合計	2640	300.7%		
欠損値	未記入	3	0.3%		
合計		2643	301.0%		

**問10** 「問9」について、あなたが「気に入っている」  
または「大事にしたい(誇りだ)」と思うのはどんな時ですか。(複数回答可)

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.自分自身が見たり、体験したりしたとき	593	67.5%		
	2.当事者や関係者と交流したり、話を聞いたりしたとき	251	28.6%		
	3.県外の友人・知人からほめられたとき	270	30.8%		
	4.テレビ・新聞等のメディアで取り上げられたとき	336	38.3%		
	5.インターネット上で有名になったとき	95	10.8%		
	6.特に思わない	77	8.8%		
	7.その他	13	1.5%		
	合計	1635	186.2%		
欠損値	未記入	34	3.9%		
合計		1669	190.1%		

**問11** あなたはいま住んでいる地域(市町村)が好きですか。(回答は1つだけ)

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.好き	376	42.8%	43.0%	43.0%
	2.どちらかと言えば好き	386	44.0%	44.1%	87.1%
	3.どちらかと言えば好きではない	89	10.1%	10.2%	97.3%
	4.好きではない	24	2.7%	2.7%	100.0%
	合計	875	99.7%	100.0%	
欠損値	未記入	3	0.3%		
合計		878	100.0%		

**問12** 【「問11」で「1 好き」または「2 どちらかと言えば好き」と答えた方にうかがいます。  
それはいつ頃からだと思いますか。（回答は1つだけ）

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.小学校就学前	25	3.3%	3.4%	3.4%
	2.小学生の頃	59	7.7%	8.1%	11.5%
	3.中学生の頃	27	3.5%	3.7%	15.2%
	4.高校生の頃	31	4.1%	4.3%	19.5%
	5.大学生の頃	27	3.5%	3.7%	23.2%
	6.社会人になってから	271	35.5%	37.2%	60.4%
	7.いつの間にか何となく	235	30.8%	32.3%	92.7%
	8.わからない	14	1.8%	1.9%	94.6%
	9.その他	39	5.1%	5.4%	100.0%
	合計	728	95.4%	100.0%	
欠損値	未記入	35	4.6%		
合計		763	100.0%		

**問13** 【「問11」で「1 好き」または「2 どちらかと言えば好き」と答えた方にうかがいます。  
振り返ってみて、あなたはなぜこの地域が好きと感じるようになったと思われますか。（複数回答可）

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.こどもの頃からこの地域の祭りや行事に参加してきたから	179	23.5%		
	2.家族からこの地域の良さを教わってきたから	41	5.4%		
	3.学校でこの地域の良さを学んできたから	34	4.5%		
	4.他の地域に住んでみて違いに気づいたから	195	25.6%		
	5.自分の仕事とこの地域につながりを感じるから	115	15.1%		
	6.住み慣れているから	379	49.7%		
	7.生活するのに便利だから	145	19.0%		
	8.人と人とのつながりを感じるから	131	17.2%		
	9.この地域の自然や食などが自分に合っていると思うから	200	26.2%		
	10.育った地域だから	220	28.9%		
	11.思い出があるから	134	17.6%		
	12.家族や親戚がいるから	191	25.1%		
	13.その他	12	1.6%		
合計	1976	259.3%			
欠損値	未記入	19	2.5%		
合計		1995	261.8%		

**問14** 【「問11」で「3 どちらかと言えば好きではない」または「4 好きではない」と答えた方にうかがいます。  
それはなぜだと思いますか。あてはまると思うものをお選びください。（複数回答可）

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.他地域の出身者だから	14	12.4%		
	2.この地域は暮らしにくいから	53	46.9%		
	3.この地域に住んでからまだ間もないから	2	1.8%		
	4.この地域は魅力がないから	33	29.2%		
	5.人との関わり・交流が少ないから	8	7.1%		
	6.閉鎖的な雰囲気があるから	31	27.4%		
	7.特に理由はない	8	7.1%		
	8.その他	19	16.8%		
合計	168	148.7%			
欠損値	未記入	2	1.8%		
合計		170	150.4%		

**問15** あなたがいま住んでいる地域(市町村)に対する意識についてお聞きます。

以下のことは、どの程度あてはまりますか。それぞれの項目について○をつけてください。(回答はそれぞれ1つ)

(1) 暮らしやすい

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	36	4.1%	4.2%	4.2%
	2.あまりあてはまらない	78	8.9%	9.0%	13.2%
	3.どちらともいえない	175	19.9%	20.3%	33.4%
	4.ややあてはまる	363	41.3%	42.0%	75.5%
	5.あてはまる	212	24.1%	24.5%	100.0%
	合計	864	98.4%	100.0%	
欠損値	未記入	14	1.6%		
合計		878	100.0%		

(2) 友人や知人に自慢できる

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	58	6.6%	6.8%	6.8%
	2.あまりあてはまらない	102	11.6%	11.9%	18.6%
	3.どちらともいえない	298	33.9%	34.7%	53.4%
	4.ややあてはまる	305	34.7%	35.5%	88.9%
	5.あてはまる	95	10.8%	11.1%	100.0%
	合計	858	97.7%	100.0%	
欠損値	未記入	20	2.3%		
合計		878	100.0%		

(3) 自分とのつながりを感じる

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	59	6.7%	6.9%	6.9%
	2.あまりあてはまらない	107	12.2%	12.5%	19.4%
	3.どちらともいえない	292	33.3%	34.2%	53.6%
	4.ややあてはまる	293	33.4%	34.3%	87.8%
	5.あてはまる	104	11.8%	12.2%	100.0%
	合計	855	97.4%	100.0%	
欠損値	未記入	23	2.6%		
合計		878	100.0%		

(4) ずっと住み続けたい

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	46	5.2%	5.4%	5.4%
	2.あまりあてはまらない	71	8.1%	8.3%	13.6%
	3.どちらともいえない	196	22.3%	22.8%	36.4%
	4.ややあてはまる	277	31.5%	32.2%	68.7%
	5.あてはまる	269	30.6%	31.3%	100.0%
	合計	859	97.8%	100.0%	
欠損値	未記入	19	2.2%		
合計		878	100.0%		

## (5) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したい

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	123	14.0%	14.3%	14.3%
	2.あまりあてはまらない	158	18.0%	18.4%	32.7%
	3.どちらともいえない	317	36.1%	36.9%	69.6%
	4.ややあてはまる	175	19.9%	20.4%	90.0%
	5.あてはまる	86	9.8%	10.0%	100.0%
	合計	859	97.8%	100.0%	
欠損値	未記入	19	2.2%		
合計		878	100.0%		

## (6) 地域のお祭りやイベントに参加したい

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	108	12.3%	12.6%	12.6%
	2.あまりあてはまらない	124	14.1%	14.5%	27.0%
	3.どちらともいえない	276	31.4%	32.2%	59.2%
	4.ややあてはまる	232	26.4%	27.0%	86.2%
	5.あてはまる	118	13.4%	13.8%	100.0%
	合計	858	97.7%	100.0%	
欠損値	未記入	20	2.3%		
合計		878	100.0%		

## (7) 訪れる人を増やしたい

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	66	7.5%	7.7%	7.7%
	2.あまりあてはまらない	62	7.1%	7.2%	14.9%
	3.どちらともいえない	266	30.3%	30.9%	45.8%
	4.ややあてはまる	253	28.8%	29.4%	75.1%
	5.あてはまる	214	24.4%	24.9%	100.0%
	合計	861	98.1%	100.0%	
欠損値	未記入	17	1.9%		
合計		878	100.0%		

**問16** あなたがいま住んでいる地域(市町村)での行動についてお聞きます。

以下のことは、どの程度あてはまりますか。それぞれの項目について○をつけてください。(回答はそれぞれ1つ)

## (1) 地域に関わるニュースは興味を持って読む

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	24	2.7%	2.8%	2.8%
	2.あまりあてはまらない	26	3.0%	3.0%	5.8%
	3.どちらともいえない	104	11.8%	12.0%	17.8%
	4.ややあてはまる	340	38.7%	39.4%	57.2%
	5.あてはまる	370	42.1%	42.8%	100.0%
	合計	864	98.4%	100.0%	
欠損値	未記入	14	1.6%		
合計		878	100.0%		

## (2) 地域を散策・観光することがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	51	5.8%	5.9%	5.9%
	2.あまりあてはまらない	115	13.1%	13.4%	19.3%
	3.どちらともいえない	171	19.5%	19.9%	39.1%
	4.ややあてはまる	331	37.7%	38.4%	77.6%
	5.あてはまる	193	22.0%	22.4%	100.0%
	合計	861	98.1%	100.0%	
欠損値	未記入	17	1.9%		
合計		878	100.0%		

## (3) 地域の文化施設を利用したことがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	64	7.3%	7.4%	7.4%
	2.あまりあてはまらない	109	12.4%	12.6%	20.1%
	3.どちらともいえない	141	16.1%	16.4%	36.4%
	4.ややあてはまる	345	39.3%	40.0%	76.5%
	5.あてはまる	203	23.1%	23.5%	100.0%
	合計	862	98.2%	100.0%	
欠損値	未記入	16	1.8%		
合計		878	100.0%		

## (4) 友人や知人に話すことがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	66	7.5%	7.7%	7.7%
	2.あまりあてはまらない	120	13.7%	14.1%	21.8%
	3.どちらともいえない	223	25.4%	26.1%	47.9%
	4.ややあてはまる	313	35.6%	36.7%	84.5%
	5.あてはまる	132	15.0%	15.5%	100.0%
	合計	854	97.3%	100.0%	
欠損値	未記入	24	2.7%		
合計		878	100.0%		

## (5) 地域のお祭りや催し物に参加したことがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	97	11.0%	11.3%	11.3%
	2.あまりあてはまらない	108	12.3%	12.5%	23.8%
	3.どちらともいえない	118	13.4%	13.7%	37.5%
	4.ややあてはまる	271	30.9%	31.4%	68.9%
	5.あてはまる	268	30.5%	31.1%	100.0%
	合計	862	98.2%	100.0%	
欠損値	未記入	16	1.8%		
合計		878	100.0%		

## (6) 近所付き合いがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	81	9.2%	9.4%	9.4%
	2.あまりあてはまらない	121	13.8%	14.1%	23.5%
	3.どちらともいえない	193	22.0%	22.4%	45.9%
	4.ややあてはまる	274	31.2%	31.8%	77.7%
	5.あてはまる	192	21.9%	22.3%	100.0%
	合計	861	98.1%	100.0%	
欠損値	未記入	17	1.9%		
合計		878	100.0%		

## (7) 地域の住民同士で、近所付き合い以外の交流がある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	175	19.9%	20.3%	20.3%
	2.あまりあてはまらない	203	23.1%	23.6%	44.0%
	3.どちらともいえない	212	24.1%	24.7%	68.6%
	4.ややあてはまる	156	17.8%	18.1%	86.7%
	5.あてはまる	114	13.0%	13.3%	100.0%
	合計	860	97.9%	100.0%	
欠損値	未記入	18	2.1%		
合計		878	100.0%		

## (8) 公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	288	32.8%	33.3%	33.3%
	2.あまりあてはまらない	168	19.1%	19.4%	52.8%
	3.どちらともいえない	131	14.9%	15.2%	67.9%
	4.ややあてはまる	164	18.7%	19.0%	86.9%
	5.あてはまる	113	12.9%	13.1%	100.0%
	合計	864	98.4%	100.0%	
欠損値	未記入	14	1.6%		
合計		878	100.0%		

## (9) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したことがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	242	27.6%	28.0%	28.0%
	2.あまりあてはまらない	171	19.5%	19.8%	47.7%
	3.どちらともいえない	154	17.5%	17.8%	65.5%
	4.ややあてはまる	164	18.7%	19.0%	84.5%
	5.あてはまる	134	15.3%	15.5%	100.0%
	合計	865	98.5%	100.0%	
欠損値	未記入	13	1.5%		
合計		878	100.0%		

## (10) 地域を訪れる人と交流する機会がある(仕事や地域のイベントなどで)

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	305	34.7%	35.3%	35.3%
	2.あまりあてはまらない	209	23.8%	24.2%	59.4%
	3.どちらともいえない	183	20.8%	21.2%	80.6%
	4.ややあてはまる	113	12.9%	13.1%	93.6%
	5.あてはまる	55	6.3%	6.4%	100.0%
	合計	865	98.5%	100.0%	
欠損値	未記入	13	1.5%		
合計		878	100.0%		

## (11) 地域の風景や自然、お店、催し物などをSNSに投稿することがある

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.あてはまらない	546	62.2%	63.2%	63.2%
	2.あまりあてはまらない	143	16.3%	16.6%	79.7%
	3.どちらともいえない	73	8.3%	8.4%	88.2%
	4.ややあてはまる	58	6.6%	6.7%	94.9%
	5.あてはまる	44	5.0%	5.1%	100.0%
	合計	864	98.4%	100.0%	
欠損値	未記入	14	1.6%		
合計		878	100.0%		

**問17** あなたはいま住んでいる地域(市町村)の話題や新しい情報を、  
普段どんな媒体から得ることが多いと感じますか。(複数回答可)

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.テレビ	587	66.9%		
	2.ラジオ	159	18.1%		
	3.新聞	468	53.3%		
	4.雑誌	40	4.6%		
	5.ちらし、ポスター	273	31.1%		
	6.市販のガイドブック	29	3.3%		
	7.インターネット	360	41.0%		
	8.県や市町村の広報紙	480	54.7%		
	9.タウン誌	66	7.5%		
	10.フリーペーパー	64	7.3%		
	11.県や市町村の発行するパンフレット	175	19.9%		
	12.クチコミ	183	20.8%		
	13.その他	23	2.6%		
	合計	2907	331.1%		
欠損値	未記入	9	1.0%		
合計		2916	332.1%		

**問18** 【「問17」で「7 インターネット」と答えた方にうかがいます。】

あなたが地域の新しい情報等をインターネットで得る場合、どれが役に立っていると思いますか。(複数回答可)

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.はじめにテレビ、雑誌、クチコミ等で得た情報をインターネット	213	61.7%		
	2.ホームページ	116	33.6%		
	3.個人や団体のブログ	67	19.4%		
	4.メールマガジン	12	3.5%		
	5.フェイスブック、インスタグラム等のソーシャルメディア	176	51.0%		
	6.その他	12	3.5%		
	合計	596	172.8%		
欠損値	未記入	15	4.3%		
合計		611	177.1%		

**問19** あなたは、県の教育委員会が、県民の皆様のふるさと青森を愛する心を醸成するために、  
今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(複数回答可)

		度数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	1.地域を知る学習の充実(食・文化・歴史・産業・祭り等)	518	59.0%		
	2.地域課題の解決に向けた学習の充実	257	29.3%		
	3.公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習の充実	162	18.5%		
	4.地域全体で子どもを育む活動の充実	378	43.1%		
	5.他の地域や外国との交流の充実	160	18.2%		
	6.地域住民が気軽に集える場所の充実	330	37.6%		
	7.地域活動に関わる人材や団体のネットワークの形成	191	21.8%		
	8.地域住民同士のつながりづくりを促進するための取組	217	24.7%		
	9.性別や障がいの有無による差別のない社会を作るため	222	25.3%		
	10.大人が持つ知識・技術・経験を地域に生かしていける	294	33.5%		
	合計	2729	310.8%		
欠損値	未記入	28	3.2%		
合計		2757	314.0%		

# ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識調査

青森県教育委員会

## 【アンケート調査へご協力をお願い】

本調査は、ふるさと青森を愛する心と行動に関する県民の意識及びそれと地域活動がどのように結びついているのかなどをとらえ、ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実に向けた生涯学習振興関連施策の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的として実施するものです。

本調査の対象者は、住民基本台帳法第11条及び公職選挙法第28条に基づき、みなさまがお住まいの市町村の許可を得て、20歳から79歳までの県民の中から無作為に選ばせていただきました。個人情報の取り扱いについては、青森県個人情報の保護に関する条例を遵守しておりますので、ご安心ください。

調査は、一人一人の回答がとても重要です。ご協力をお願い申し上げます。

## 【ご記入・ご返送にあたって】

- 1 この調査は**無記名**です。(あなたのお名前を書くところはありません)
- 2 回答は、この**調査用紙に、直接**、記入してください。
- 3 同封の返信用封筒にこの調査用紙を入れて、**令和6年12月20日(金)**までに返送くださるようお願いいたします。

## 【インターネットでの回答について】

本調査はインターネットでの回答も実施しております。インターネットで回答する場合は、下記二次元コードより入力フォームにアクセスし、回答くださるようお願いいたします。  
(令和6年12月20日(金)まで)



### 【本調査に関するお問い合わせ先】

青森県教育庁生涯学習課

〒030-8540 青森市長島一丁目1番1号 電話 017-734-9889 受付：平日 8:30～17:15

※ 本調査は、青森県教育委員会が実施していますが、アンケートの送付・回収等の業務を「BREST」に委託して実施しております。

あなたのことについてお聞きします。

**問1 あなたが居住している市町村**

市・町・村

**問2 年齢**

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代  
6 70歳代

**問3 性別**

- 1 男性 2 女性 3 回答しない

**問4 青森県内居住年数（通算で）**

- 1 3年未満 2 3～10年未満 3 10～20年未満 4 20～30年未満  
5 30年以上

**問5 県外居住年数（通算で）**

- 1 3年未満 2 3～10年未満 3 10～20年未満 4 20～30年未満  
5 30年以上

**問6 最終学歴**

- 1 小学校 2 中学校 3 高等学校、旧制中学校 4 専修学校、各種学校  
5 短期大学、高等専門学校（高専） 6 大学、大学院  
7 その他（ ）

**問7 あなたの仕事の状況**

- 1 学生 2 自営業（農業・漁業等含む） 3 会社員 4 公務員  
5 非正規雇用（パート、アルバイト等） 6 無職 7 その他（ ）

**問8 あなたがふるさとだと考えているところ（県内または県外の市町村）**

- 1 県内の市町村（ ）市・町・村  
2 県外の市町村  
3 わからない

あなたがいま住んでいる地域(市町村)についてお聞きします。

問9 次の項目のうち、あなたがいま住んでいる地域(市町村)で「気に入っている」または「大事にしたい(誇りだ)」と思うものをお選びください。(複数回答可)

- 1 豊かな自然                      2 おいしい食    3 きれいな水    4 温泉  
5 伝統的な祭りや伝統芸能   6 歴史・文化    7 方言    8 地域の産業  
9 地域の人々の気質・気風    10 特になし    11 その他 (                      )

問10 「問9」について、あなたが「気に入っている」または「大事にしたい(誇りだ)」と思うのはどんな時ですか。(複数回答可)

- 1 自分自身が見たり、体験したりしたとき  
2 当事者や関係者と交流したり、話を聞いたりしたとき  
3 県外の友人・知人からほめられたとき  
4 テレビ・新聞等のメディアで取り上げられたとき  
5 インターネット上で有名になったとき  
6 特に思わない  
7 その他 (                      )

問11 あなたはいま住んでいる地域(市町村)が好きですか。(○は1つだけ)

- 1 好き            2 どちらかと言えば好き  
3 どちらかと言えば好きではない            4 好きではない

※「問11」で「3 どちらかと言えば好きではない」または「4 好きではない」と答えた方は、「問14」に進んでください。

問12 【「問11」で「1 好き」または「2 どちらかと言えば好き」と答えた方にうかがいます。】それはいつ頃からだと思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 小学校就学前    2 小学生の頃    3 中学生の頃    4 高校生の頃
- 5 大学生の頃    6 社会人になってから    7 いつの間にか何となく
- 8 わからない    9 その他 (                          )

問13 【「問11」で「1 好き」または「2 どちらかと言えば好き」と答えた方にうかがいます。】振り返ってみて、あなたはなぜこの地域が好きと感じるようになったと思われ  
ますか。(複数回答可)

- 1 こどもの頃からこの地域の祭りや行事に参加してきたから
- 2 家族からこの地域の良さを教わってきたから
- 3 学校でこの地域の良さを学んできたから
- 4 他の地域に住んでみて違いに気づいたから
- 5 自分の仕事とこの地域につながりを感じるから
- 6 住み慣れているから
- 7 生活するのに便利だから
- 8 人と人とのつながりを感じるから
- 9 この地域の自然や食などが自分に合っていると思うから
- 10 育った地域だから
- 11 思い出があるから
- 12 家族や親戚がいるから
- 13 その他 (    )

※「問12」・「問13」を回答した方は、「問15」に進んでください。



問16 あなたがいま住んでいる地域(市町村)での行動についてお聞きします。以下のことは、どの程度あてはまりますか。それぞれの項目について○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) 地域に関わるニュースは興味を持って読む	5	4	3	2	1
(2) 地域を散策・観光することがある	5	4	3	2	1
(3) 地域の文化施設を利用したことがある	5	4	3	2	1
(4) 友人や知人に話すことがある	5	4	3	2	1
(5) 地域のお祭りや催し物に参加したことがある	5	4	3	2	1
(6) 近所付き合いがある	5	4	3	2	1
(7) 地域の住民同士で、近所付き合い以外の交流がある	5	4	3	2	1
(8) 公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習活動に参加したことがある	5	4	3	2	1
(9) 地域の役に立つ活動(町会・自治会の活動や地域づくり活動など)に参加したことがある	5	4	3	2	1
(10) 地域を訪れる人と交流する機会がある(仕事や地域のイベントなどで)	5	4	3	2	1
(11) 地域の風景や自然、お店、催し物などをSNSに投稿することがある	5	4	3	2	1

問17 あなたはいま住んでいる地域(市町村)の話題や新しい情報を、普段どんな媒体から得ることが多いと感じますか。(複数回答可)

- 1 テレビ
- 2 ラジオ
- 3 新聞
- 4 雑誌
- 5 ちらし、ポスター
- 6 市販のガイドブック
- 7 インターネット
- 8 県や市町村の広報紙
- 9 タウン誌
- 10 フリーペーパー
- 11 県や市町村の発行するパンフレット
- 12 クチコミ
- 13 その他 ( )

※「問17」で「7 インターネット」と回答していない方は、「問19」に進んでください。

問18 【「問17」で「7 インターネット」と答えた方にかがいます。】あなたが地域の新しい情報等をインターネットで得る場合、どれが役に立っていると思いますか。(複数回答可)

- 1 はじめにテレビ、雑誌、クチコミ等で得た情報をインターネットで詳しく検索
- 2 ホームページ
- 3 個人や団体のブログ
- 4 メールマガジン
- 5 フェイスブック、インスタグラム等のソーシャルメディア
- 6 その他 ( )

問19 あなたは、県の教育委員会が、県民の皆様のふるさと青森を愛する心を醸成するために、今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(複数回答可)

- 1 地域を知る学習の充実(食・文化・歴史・産業・祭り等)
- 2 地域課題の解決に向けた学習の充実
- 3 公民館等が主催する教養やスポーツに関する学習の充実
- 4 地域全体でこどもを育む活動の充実
- 5 他の地域や外国との交流の充実
- 6 地域住民が気軽に集える場所の充実
- 7 地域活動に関わる人材や団体のネットワークの形成
- 8 地域住民同士のつながりづくりを促進するための取組
- 9 性別や障がいの有無による差別のない社会を作るための学習機会の提供
- 10 大人が持つ知識・技術・経験を地域に生かしていけるような方策

※ 順位をつけた場合、1位になるものの番号 ( )

問20 ふるさと青森に愛着と誇りを持つ教育の充実に向けて、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

大変お疲れ様でした。調査はこれで終了です。

お手数をおかけいたしますが、記入の終わった調査用紙は同封の返信用封筒に入れ、**12月20日(金)まで**にポストへ投かんしていただくようお願いいたします。(切手は不要です)

御協力いただき、誠にありがとうございました。

令和6年度 生涯学習・社会教育総合調査研究事業  
ふるさと青森を愛する心と行動に関する  
県民の意識調査報告書

発行年月日 令和7年3月

編集・発行 青森県教育庁生涯学習課

〒030-8540 青森市長島一丁目1番1号

TEL 017-734-9889 (内 3138) FAX 017-734-8272

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/>

[e-shogai/aomorimanabi-e\\_shogai.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shogai/aomorimanabi-e_shogai.html)

調査・集計委託先 B R E S T

〒030-0803 青森市安方2丁目12-14-703号

TEL 017-752-0217 FAX 017-752-0218